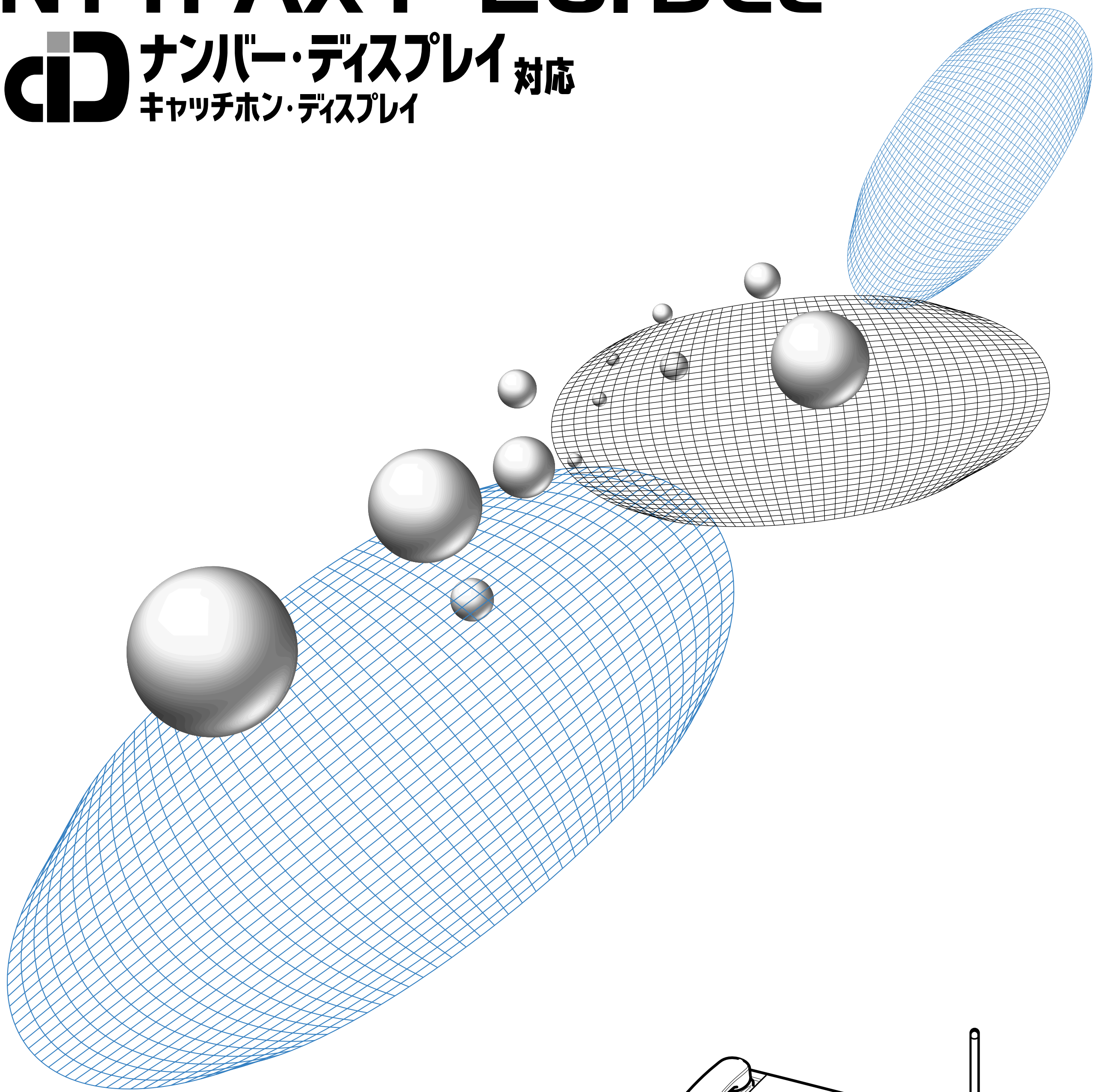
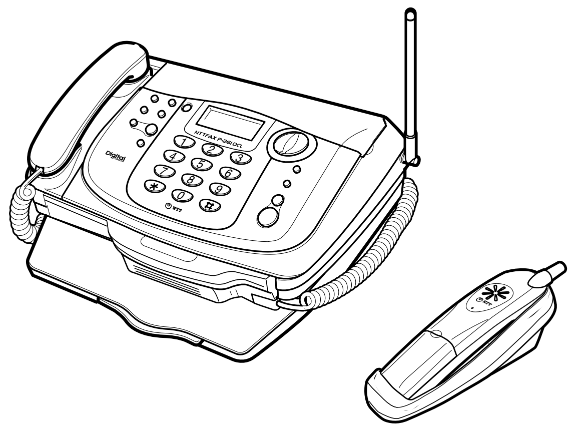
取扱説明書

NTTFAX P-261 DCL

ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン・ディスプレイ
対応





技術基準適合認証品

このたびは、**NTTFAX P-261 DCL**をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

NTT

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このたびはNTTFAX P-261DCLをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

⚠ **危険**：**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。**

⚠ **警告**：**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠ **注意**：**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

STOP **お願い**：**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。**

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
●操作早わかりガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
●本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部、または、一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
●本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
●本商品を設置する場所が当社の支店・営業所から遠距離の場合は、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所にご相談ください。

●この取扱説明書は、本商品の利用のしかたを説明したものです。
●この取扱説明書をお手元に置き、常に本商品を最良の状態でご使用いただくための手引書としてご利用ください。
●本書を紛失または損傷したときは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。
●「NTT通信機器お取扱相談センタ」のシールは、本商品または本商品そばの見やすいところに貼ってください。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。
本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、お買い求めいただいたときには、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。
海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所にご相談ください。

⚠ 危険

●充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
●電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機やハンドスキャナに接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
●電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
●専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
●電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 直接はんだ付けしない。
- 赤（プラス）・黒（マイナス）のコードおよびその端子を針金などの金属類で接触しない。

●電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
●電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●本商品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
●本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

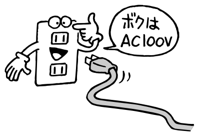


⚠ 警告

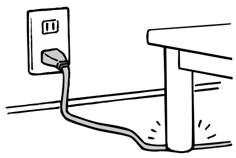
●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
アース線が取り付けられるところは次の部分です。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（第3種）が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口

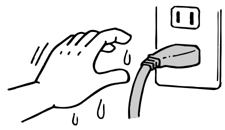
●ＡＣ100 Ｖの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。



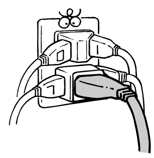
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●本商品は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。
●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



⚠ 警告

●本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。
- 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
- 使用を制限された場所では使用しないでください。
  例：医療用電子機器など

●コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。
電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。

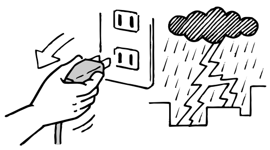
●コードレス電話機は、郵政省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くすることなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

●充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。

●コードレス電話機をねじったり、重いものを載せたり、(ポケットに入れたままイスなどに) 強く押しつけたりして、圧迫しないでください。本商品が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

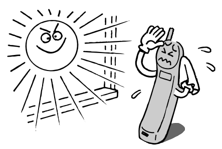
●近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜き、また、電話機コードを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



●本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●記録紙交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



⚠ 注意

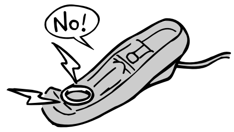
●漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

●本商品の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に放置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

●本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●コードレス電話機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

●充電器の上に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。



●ハンドスキャナをコードレスで使用する場合、ハンドスキャナ用コードを強く引っ張った状態でのプラグの抜き差しは危険な場合がありますのでご注意ください。

STOP お願い

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。本商品の破損、故障の原因となります。

●通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本商品のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

●青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

●記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。

●本商品は、ディジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

●コードレス電話機を本体から離しすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できるのは、本体とコードレス電話機の間に何もさえぎるものがない広い場所で、100 m程度です。

●建物の中などでは、本体とコードレス電話機の間に何もさえぎるものがなくても電波の届く範囲が狭くなります。

●使用範囲外では、電話がかかってきたときコードレス電話機の呼出ベルが鳴りません。またコードレス電話機では受話口から「ツーツー…」という音が聞こえ電話をかけることができません。あらかじめ内線通話等により、使用できる範囲をお確かめください。

●アンテナはまっすぐ立ててお使いください。電波の届く範囲が狭くなったり、雑音が入ることがあります。

●本体との間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシ等の障害物がある場合は、電波が届きません。

●次のような場合は、電波の届く距離が短くなります。
- マンションなど鉄筋コンクリートの壁で仕切られていたり金属製のドアの内と外のように障害物があるとき
- 金属製家具の近くなど

●次のような機器の近くで使用しないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
- ビジネスホン、モデム、パソコン、ワープロ、コピー機、他のコードレス電話機
- テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤ、電子レンジ、ステレオ、電気こたつ
- 自動車、オートバイ、ネオンサイン

お願い

●極端に寒いところで使用しないでください。
●車のダッシュボードなど、直接日光の当たるところに放置しないでください。
●ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
●自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。
●製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
●テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
●冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本商品の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。
●いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。
- 温度　5～35 ℃
- 湿度　45～85 %

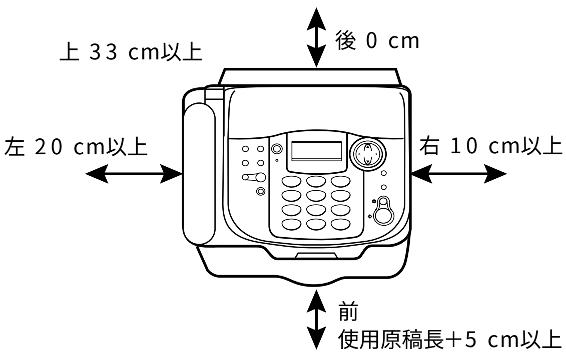
●温度が35 ℃のときは湿度70 %以下、湿度が85 %のときは温度30 ℃以下で使用してください。
●以下のようなところには置かないでください。
- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所

●本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本商品の影響によると思われましたら、本商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
- 本商品をテレビ等から遠ざける
- 本商品またはテレビ等の向きを変える

●本商品は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

●本商品の操作、消耗品類の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し性能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。

本商品は後背面を壁に付けて使用することができます。ただし、記録紙送り用ローラを清掃する場合や、つまった記録紙を取り除く場合など、リアカバーを開ける際には、十分なスペースがある場所に移動してください。

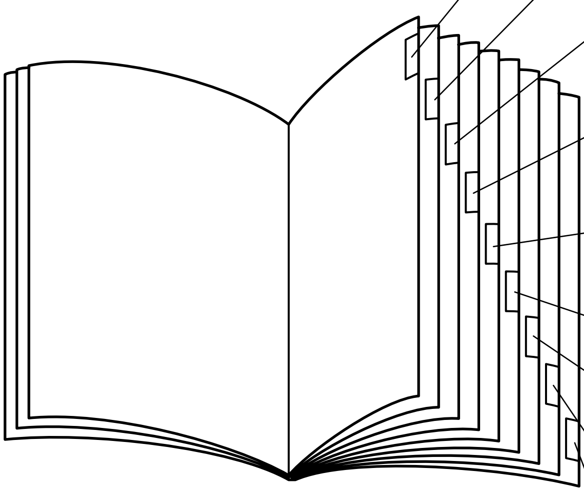


お願い

●本体を壁に掛けて使用しないでください。
●本商品は水平な場所に設置してください。
●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、郵政省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 ファクス／コピーを使う
ファクスの送信、受信、コピーなどについて説明しています。

4 ハンドスキャナを使う
ハンドスキャナを使ったコピーやファクスの送信、受信などについて説明しています。

5 留守番電話として使う
留守番電話、外出先への転送、外出先からのリモコン操作を説明しています。

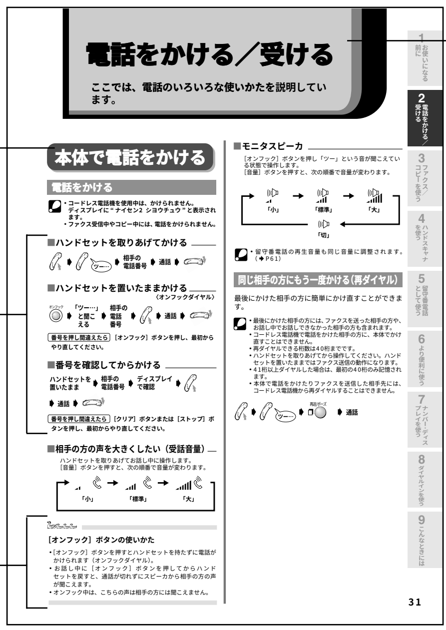
6 より便利に使う
利用できる便利な機能について説明しています。

7 ナンバー・ディスプレイを使う
ナンバー・ディスプレイを利用する方法について説明しています。

8 ダイヤルインを使う
ダイヤルインを利用する方法について説明しています。

9 こんなときには
付属品の使いかた、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明ページの構成



章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明します。

関連する操作について説明します。

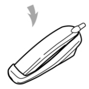
この取扱説明書で使われているマーク

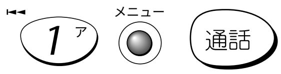
••••••• 気をつけていただきたいことが書かれています
この注意を守らないと、操作がうまくできなかったり、思うように進まないことがあります。注意は必ず守ってご使用ください。


•••••••• 本体のハンドセットを取りあげる操作を表しています。


••••••• 充電器からコードレス電話機を取りあげる操作を表しています。


••••• 本体のハンドセットを置く操作を表しています。


••••••• 充電器にコードレス電話機を置く操作を表しています。

操作手順中にある 

などのボタンの絵は、そのボタンを押す操作を表しています。

文章中にある［<］［>］は、本体の［電話帳］ボタンの左右を押す操作を表しています。

文章中にある［▲］［▼］は、本体の［電話帳］ボタンの上下を押す操作を表しています。

目　次

3 ファクス／コピーを使う

4 ハンドスキャナを使う

5 留守番電話として使う

6 より便利に使う

7 ナンバー・ディスプレイを使う

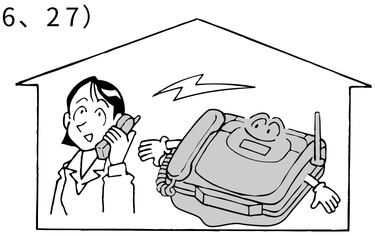
8 ダイヤルインを使う

9 こんなときには

こんなことができます

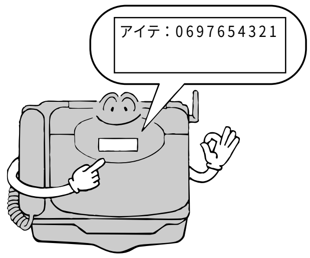
コードレス電話機

本体から離れたところで外線通話をしたり（➔P34、38）、本体とコードレス電話機の間で内線通話をしたり（➔P40）、コードレス電話機を増設すれば（➔P103）コードレス電話機どうしでトランシーバ通話をしたりする（➔P75）ことができます。
また、ディスプレイで電池残量を確認したり、電波の強さを確認したりすることもできます。（➔P26、27）



ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイをご契約になると、電話に出る前に相手の方を確認することができます。（➔P76）また、かけてきた方によって着信ベルを変えたり、かけてきた方にもう一度かけ直すなど、便利な機能を利用することができます。（➔P78、81）キャッチホン・ディスプレイをご契約になると、電話でお話しをしているとき、別の方からかかってきた電話番号などをディスプレイで確認してから電話に出ることができます。（➔P82）



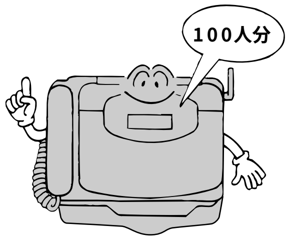
ハンズフリー通話

コードレス電話機を置いたまま、お話しをすることができます。（➔P35）
※ 本体でのハンズフリー通話はできません。



電話帳ダイヤル

本体で100件、コードレス電話機で30件の電話帳ダイヤルを登録することができます。（➔P32、36）



コードレスハンドスキャナ

本体の近くでコピーできない場合でも、ハンドスキャナのコードを外してコードレスハンドスキャナとして使うことができます。（➔P55）ハンドスキャナを使えば、本や厚い原稿でも、コピーしたりファクスで送ったりすることができます。（➔P52）



留守番電話

留守中にかかってきた相手の方のメッセージを録音します。（➔P60）留守中に録音された用件は、外出先の電話機で聞くことができます。（➔P64）



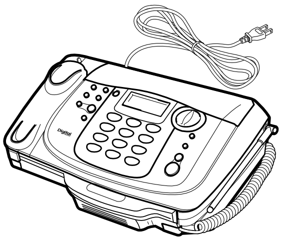
お使いになる前に

ここでは、本商品の各部の名前や組み立てかたなどを説明しています。

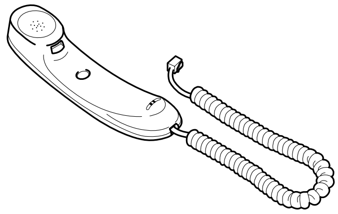
セットを確認してください

❑ 欄にチェック“ ✓ ”し、確認してください。

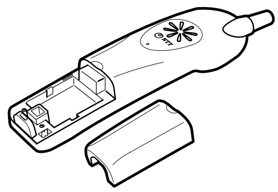
❑ **ファクス本体（1台）**



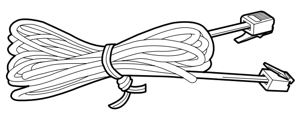
❑ **ハンドセット（1個）**



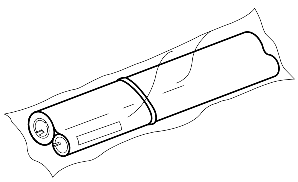
❑ **コードレス電話機（1台）（電池カバー付き）**



❑ **電話機コード（1本）（約2 m）**



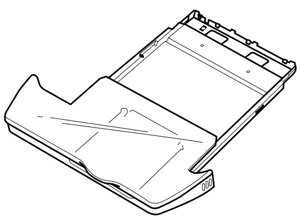
❑ **インクリボン（1本）（約10 m）**



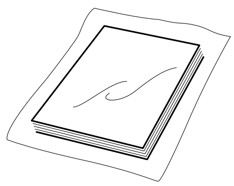
❑ **充電器（1台）（壁掛け用ネジ2本付き）**



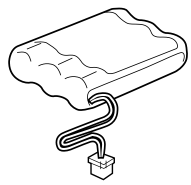
❑ **記録紙カセット（1個）**



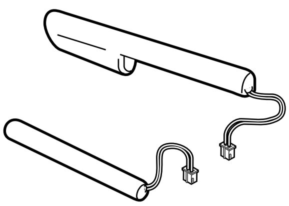
❑ **記録紙（A4サイズ10枚）**



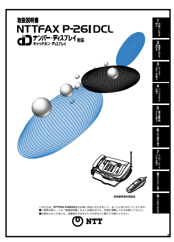
❑ **電池パック（1個）（コードレス電話機用）**



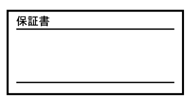
❑ **電池パック（1セット）（ハンドスキャナ用）**



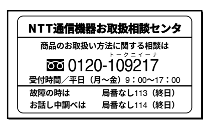
❑ **取扱説明書（一部）**



❑ **保証書（1枚）**



❑ **お取扱相談センタシール（1枚）**

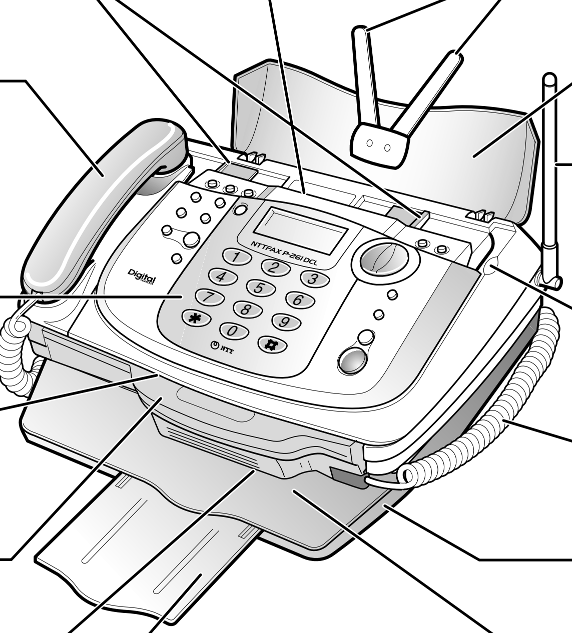


●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

本商品を組み立てたあとの各部の名前です。

本体の前面



原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

ハンドセット
補聴器対応（ヒヤリンググエイド対応）で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方にもお話しが聞き取りやすい構造になっています。

操作パネル
表示部に保護用のシートがついています。

原稿排出口

ハンドスキャナ
手前に引き出すと外れます。
戻すときは押し込みます。

記録紙排出口
ここから記録紙が出ます。

原稿挿入口

記録紙スタッカ
ファクスを受けるときや、コピーするときに引き出します。

原稿セットアーム

ダストカバー
原稿をセットするときに開けます。

アンテナ
通常は立てて使用してください。後ろには途中で止まり倒せません。無理に倒さないでください。

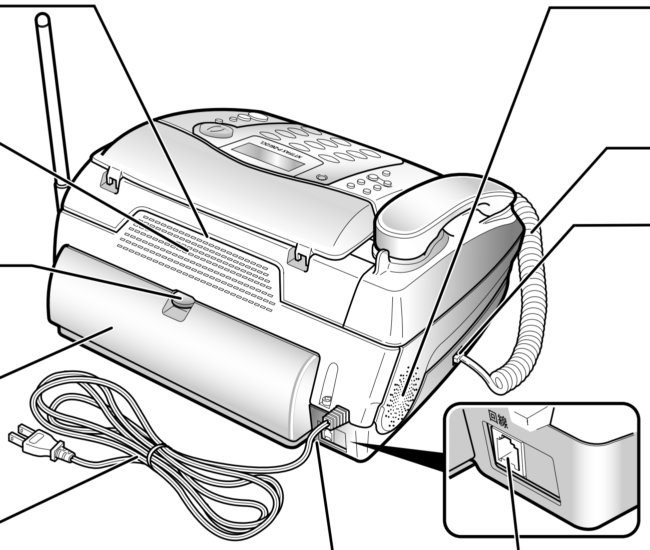
ダストカバーを開けるとき、このへこみに指をかけます。

ハンドスキャナ用コード

記録紙カセット
Ａ４サイズの記録紙を約３０枚までセットできます。

記録紙カセットのカバー

本体の背面／側面



カバー開取っ手
カバーを開けるときに、ここを引っ張ります。

通風孔
放熱用の穴です。
ふさがないようにしてください。

リアカバー開レバー
リアカバーを開けるときに押します。

リアカバー
記録紙がつまったときなどに開けます。

電源コード

アース端子
底面にアース端子（銀色のネジ）があります。

モニタスピーカ
用件を再生すると、ここから聞こえます。

ハンドセット用コード

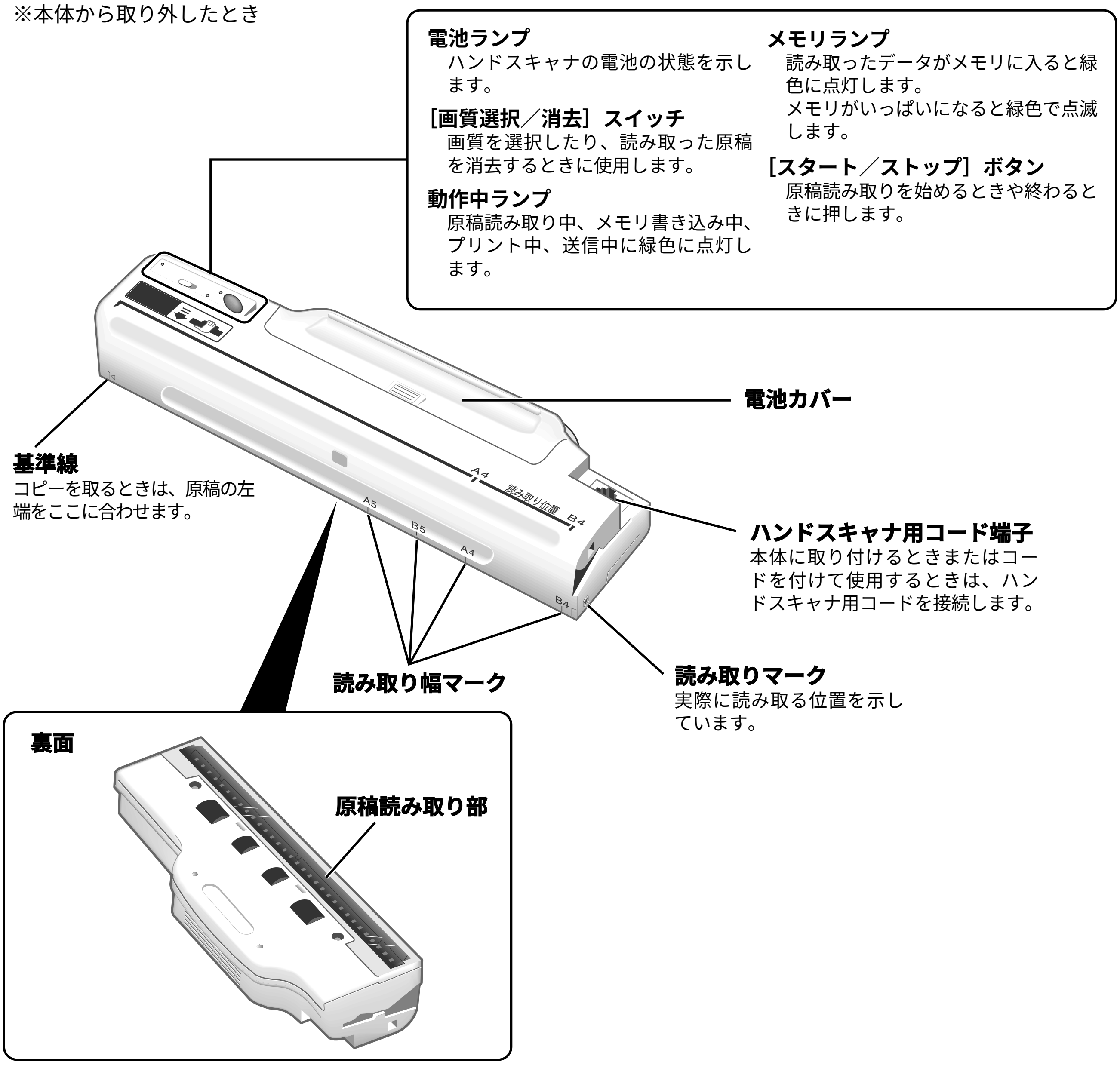
ハンドセット端子

回線端子
電話機コードを接続します。

※本商品のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

ハンドスキャナ

※本体から取り外したとき



電池ランプについて

●電池ランプはハンドスキャナの電池の状態を示します。

	電池ランプの状態	ハンドスキャナの状態
コードレス時	点灯	電池が十分にあります
	点滅	電池が少なくなってきています。ハンドスキャナ用コードを接続し充電してください
	消灯	電池が切れています。ハンドスキャナ用コードを接続し充電してください
コード接続時	点灯	ハンドスキャナが使用できます
	点滅	急速充電中です

メモリランプについて

●メモリランプはハンドスキャナのメモリの状態を示します。

メモリランプの状態	メモリの状態
消灯	メモリになにも記憶されていません
点灯	メモリに記憶されている原稿があります
点滅	メモリがいっぱいです

本体のボタンとランプの名前と使いかた（操作パネル）

各種ボタンの使いかたを簡単に説明しています。

操作するときは、ダストカバーを開けてください。

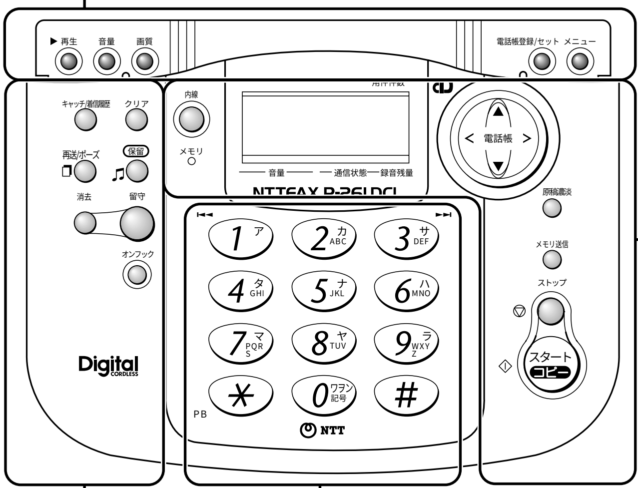
［再生］ボタン
…用件の再生に使います。

［音量］ボタン
…各種音量を調整するときに使います。

［画質］ボタン
…画質モードを設定するときに使います。

［電話帳登録／セット］ボタン
…電話帳ダイヤルの登録や各種設定のときに使います。

［メニュー］ボタン
…各種登録、各種設定のときに使います。



［内線］ボタン
…内線電話をかけるときに使います。

メモリランプ
…保存原稿があるときや、原稿を蓄積中のときに緑色に点灯します。

［電話帳］ボタン
…電話帳ダイヤルに登録されている相手先を選ぶときや、カーソルを左右に移動させるときに使います。

［原稿濃淡］ボタン
…原稿の読み取り濃度を調節するときに使います。

［メモリ送信］ボタン
…メモリ送信するときに使います。

［ストップ］ボタン
…送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使います。セットした原稿を排出するときに使います。

［スタート／コピー］ボタン
…ファクスの送受信や、コピーなどに使います。

ディスプレイ表示について（➔ P18）

［キャッチ／着信履歴］ボタン
…キャッチホンが入ったときや、かかってきた相手の電話番号を表示させたり、電話をかけるときに使います（ナンバー・ディスプレイ契約時）。

［クリア］ボタン
…各種登録時、入力内容を消去するときに使います。

［再送／ポーズ］ボタン
…電話をかけた相手の方にもう一度かけるとき（最後にかけた相手の方）や、ポーズを入力するときに使います。

［保留］ボタン
…電話を保留するときに使います。

［消去］ボタン
…用件を消去するときに使います。

［留守］ボタン
…留守設定するときなどに使います。

［オンフック］ボタン
…ハンドセットを置いたまま電話をかけるときに使います。

1 2 ・・・・・・・・・ 0

ダイヤルボタン
…ダイヤルするときや文字入力などに使います。

1 …再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使います。

3 …再生中の次の用件を聞くときに使います。

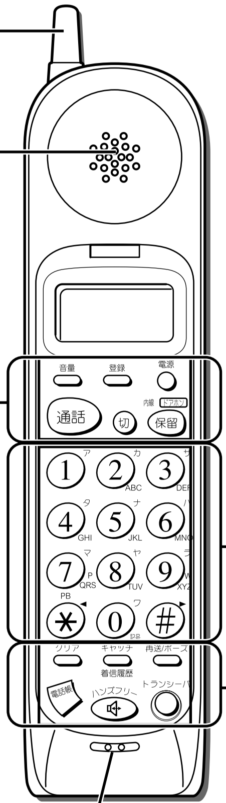
＊ …ダイヤル回線をご使用の場合で、プッシュ信号を利用するときに使います。

コードレス電話機のボタンの名前と使いかた

＜前面＞

アンテナ

受話口



送話口（マイク）

［音量］ボタン
…受話音量やモニタスピーカ音量、着信ベルの音量を調節するときに使います。

［登録］ボタン
…いろいろな機能を登録／設定するときに使います。

［電源］ボタン
…電源を入れたり切ったりするときに使います。

［通話］ボタン
…クイック通話を設定していないとき、充電器に置いていないとき、電話をかけたり受けたりするときに使います。

［切］ボタン
…電話を切るときに使います。

［内線／保留］ボタン
…お話し中に相手の方に待ってもらうとき、内線電話をかけるときなどに使います。
なお、本商品にドアホン機能はありません。

ディスプレイ表示について（➧P18）

ダイヤルボタン
…ダイヤルするときに使います。

（＊）…ダイヤル回線をご使用の場合で、プッシュ信号を利用するとき、電話帳ダイヤルを検索するとき、ディスプレイに表示されるカーソルを左に移動するときに使います。

（＃）…電話帳ダイヤルを検索するとき、ディスプレイに表示されるカーソルを右に移動するときや文字を確定するときに使います。

［クリア］ボタン
…入力した文字を削除するときに使います。

［キャッチ／着信履歴］ボタン
…キャッチホンを利用するとき、かけてきた方にかけ直すときに使います。

［再送／ポーズ］ボタン
…同じ相手の方にもう一度かけるとき、ポーズを入力するときに使います。

［電話帳］ボタン
…電話帳ダイヤルで電話をかけるとき、電話帳ダイヤルを登録するときに使います。

［ハンズフリー］ボタン
…ハンズフリー通話をするときに使います。

［トランシーバ］ボタン
…トランシーバモードに切り替えるときに使います。

待ち受け中の状態について

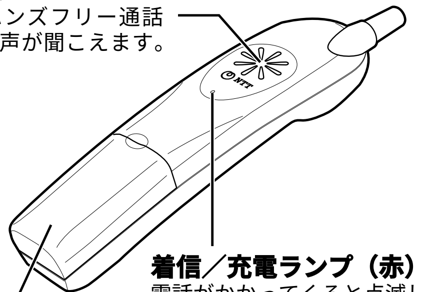
コードレス電話機を充電器から取りあげたあと、以下の操作をして［通話］ボタンが消灯している状態を「待ち受け中」といいます。


➧ **［通話］ボタンが点灯していることを確認** ➧ （切） ➧ **［通話］ボタンが消灯することを確認**

コードレス電話機の背面と充電器

＜背面＞

モニタスピーカ
着信ベルや、ハンズフリー通話中に相手の方の声が聞こえます。

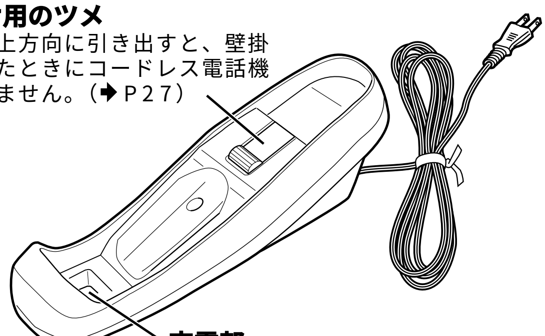


着信／充電ランプ（赤）
電話がかかってくると点滅します。
充電を開始すると点灯します。
（➧P25）

電池カバー

＜充電器＞

壁掛け用のツメ
ツメを上方向に引き出すと、壁掛けにしたときにコードレス電話機が落ちません。（➧P27）



充電部
お手入れが簡単な非接触充電方式を採用しています。

ディスプレイ表示について

本文中にあるディスプレイ画面は、操作上必要と思われるものだけを表記しています。絵表示（ピクト）や各操作中の画面については省略されていますので、ご了承ください。

<本体>

ピクトは全点灯時を表しています



16桁×2行で文字を表示します。なにも操作をしていないときは、日時と留守録の件数が表示されています。

録音残量表示

多い ⟷ 少ない

…録音時間の残り時間を示しています。

（点滅）…用件が30件または残りの録音時間が20秒以内となり、録音できないことを示しています。

メモリ代行受信（➔P50）した文書が残っていると録音できる時間は短くなります。

- バックライトは、機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。
- バックライトの点灯が約5時間続いたときは、ディスプレイ保護のため消灯します。

音量表示

小さい ⟷ 大きい

…留守録の再生音量などのスピーカ音量を示します。

…通話時の受話音量を示します。

…ベル音量を示します。

…ハンズフリー機能のない本体では点灯しません。

通信状態

…待機中や機能選択時に表示されます。

（交互）…お話し中は、1羽ずつ交互に表示されます。

（点滅）…ファクスの自動ダイヤル中やオートリダイヤル待ちのときに点滅します。

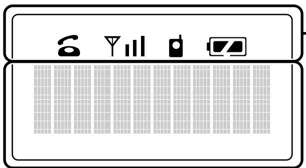
（交互）…ファクス通信中に、1羽ずつ交互に表示されます。

（点滅）…原稿をメモリに読み込んでいるときに点滅します。

…ファクス通信が正常終了後、約5秒間点滅します。そのあと、外線通話、通信、コピーをするまで点灯し続けます。

…
- ファクス通信が異常終了時、約5秒間点滅します。そのあと、外線通話、通信、コピーをするまで点灯し続けます。
- 原稿をメモリに読み込み中、メモリがいっぱいになったとき約10秒間点滅します。そのあと、外線通話、通信、コピーをするまで点灯し続けます。

<コードレス電話機>



12桁×2行で文字を表示します。なにも操作していないときは、内線番号が表示されています。

…接続中またはお話し中のとき、本体や増設したコードレス電話機が外線使用中のとき

…電波が届いている場所（圏内）にいるとき

…受けている電波の強さ

…トランシーバモードに切り替えているとき

…電池の残量（3段階）

（文字や数字）…相手の電話番号／メッセージなど

通話時間表示について

お話し中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される通話時間はあくまでも目安としてご利用ください。

本体	ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　0'05"
コードレス電話機	00:05

…… ダイヤル後、約10秒たつと表示され、相手の方が出ると再度0秒から表示し直されます。

- **ハンドセットやコードレス電話機を置いたあとも約5秒間、通話時間が表示されます。**
- **通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。**

記録紙について

■記録紙

ファクシミリ用P形A4記録紙（1）
A4サイズ（100枚1組）

記録紙は、記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。
当社指定の記録紙については、NTT-ME/DOパーツサービスセンタ（☎0120ー86ー8289）またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■感熱カット紙

FUJIFILM Economyリボン不要のワープロ用紙
EC　A4×100 C

- 表面がオーバコートされた記録紙や厚い記録紙は、使わないでください。記録紙給紙不良の原因となります。
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良や紙づまりの原因となります。
- 表面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。
- 記録紙は、セットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると、記録紙給紙不良、紙づまりの原因となります。
- 記録紙の品質はメーカにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合があります。記録紙を大量に購入される前に、一度テストプリントすることをお勧めします。
- 感熱紙を高温で湿度が高い場所で使用することは避けてください。記録紙給紙不良の原因となります。

“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示された （➜P87）

記録紙の保管について

記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化して先端が波打った状態になります。
日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
- 0～35 ℃で保管する
- 結露した場合は、乾燥後に使用する

- 品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

インクリボンの保管について

インクリボンカートリッジにセットする前のインクリボンは、袋に入った状態（お買い求め時の状態）で保管してください。インクリボンカートリッジにセットしたインクリボンは、インクリボンカートリッジにセットしたまま乾いたビニール袋などに入れて保管してください。
どちらの場合も、以下のことに注意して保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管する
- 0～35 ℃で保管する
- 結露した場合は、乾燥後に使用する

作業の流れ

本商品を組み立てて、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。

作業前の確認

↓
確認1.　設置スペース　（➜P20）
確認2.　電話用コンセント（➜P20）

本体の組み立て

↓
- インクリボンのセット　（➜P21）
- ハンドセットの取り付け（➜P23）
- 記録紙のセット　（➜P23）
- 電源の接続　（➜P24）
- 日付、時刻のセット　（➜P24）
- 組み立ての確認をする　（➜P24）

コードレス電話機の準備

↓
- 本体のアンテナを立てる　（➜ P25）
- コードレス電話機を充電する　（➜ P25）
- コードレス電話機の電源を入れる　（➜ P26）
- コードレス電話機のモードを設定する（➜ P26）
- 電池残量を確認する　（➜ P26）
- 電波の状態を確認する　（➜ P27）

ハンドスキャナの準備

↓
- ハンドスキャナに電池を取り付ける（➜ P28）
- ハンドスキャナを充電する　（➜ P29）

電話回線への接続

↓
- 電話機コードの接続（➜ P29）

回線種別の設定

↓
- 回線種別の手動設定（➜ P29）

契約しているサービスの確認

↓
- ナンバー・ディスプレイ（➜P76）
- ダイヤルイン　（➜P83）

目的に応じた設定

↓
- 自分の電話番号の登録　（➜ P66）
- 自分の名前（発信元）の登録（➜ P67）

作業完了

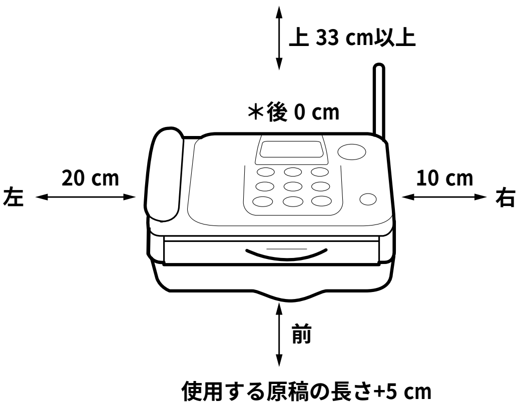
本商品をご活用ください。

確認1　設置スペース

本体を置く場所には十分なスペースがありますか?
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、必要なスペースを確保してください。

- 本体は壁に掛けての使用はできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。

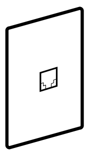
＊本体は後背面を壁に付けて使用することができます。ただし、記録紙送り用ローラを清掃する場合や、つまった記録紙を取り除く場合など、リアカバーを開ける際には、十分なスペースがある場所に移動してください。



確認2　電話用コンセント

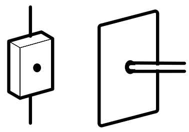
電話用コンセントは、どのタイプですか?
コンセントのタイプによっては、そのままでは接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

モジュラジャック式



そのまま接続できます。
上下の向きに気をつけて「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

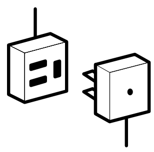
直接配線（ネジ止め式）



このままでは本体を接続できません。
局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

- 接続工事には、工事担任者資格が必要です。

3ピンプラグ式



このままでは本体を接続できません。
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

INSネット64を利用するには （➔ P86）

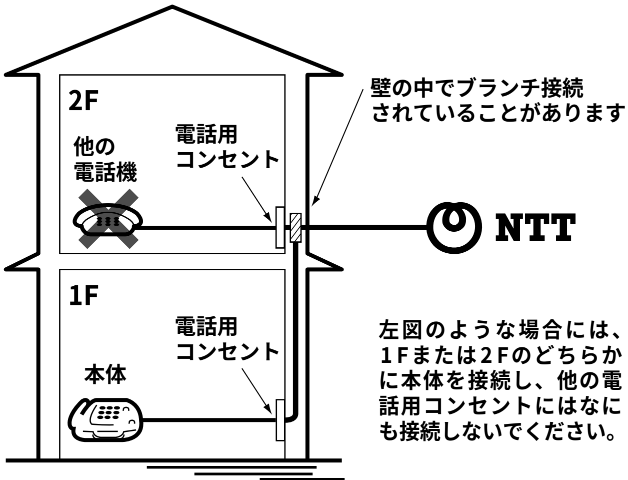
パソコンやモデムにつなぐには （➔ P86）

- 他の電話機と本商品をブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- 家の中に2つ以上電話用コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります（右図）。局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ブランチ接続をすると、こんなことが起こります。

ー電話がかかってきたとき、ブランチ接続されている電話機の呼出音が途中で鳴り止むことがあります。
ーファクスを送受信しているときに、ブランチ接続されている電話機のハンドセットを取りあげると、ファクスの画像に異常が起きます。
ー相手先がファクスを送信したとき、ファクスが受信できないことがあります。
ーダイヤルインやナンバー・ディスプレイが利用できません。

ブランチ接続（並列接続）



左図のような場合には、1Fまたは2Fのどちらかに本体を接続し、他の電話用コンセントにはなにも接続しないでください。

本体を組み立てる

感熱紙を使用する場合には、インクリボンのセットは行わないでください。次の「ハンドセットの取り付け」（➔ P23）に進んでください。

インクリボンのセット

インクリボン1本でプリントできる枚数の目安

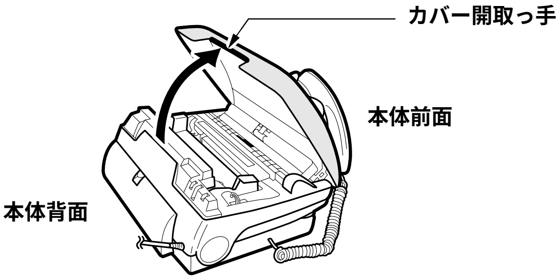
・お買い求め時に付属のインクリボン　　：約　30枚
・消耗品（➔ P103）のインクリボン　　：約130枚

■ インクリボンカートリッジ（以降カートリッジと略す）の取り外し

1　カバーを開ける。

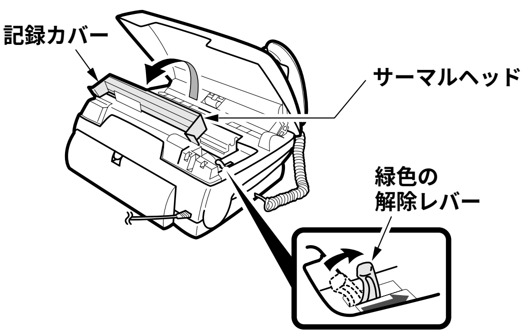
本体後部のカバー開取っ手を上げて開きます。

• ハンドセットが本体に付いている場合は、ハンドセットを手で支えてからカバーを開けてください。そのまま勢いよくカバーを開けると、ハンドセットが落ちる場合があります。

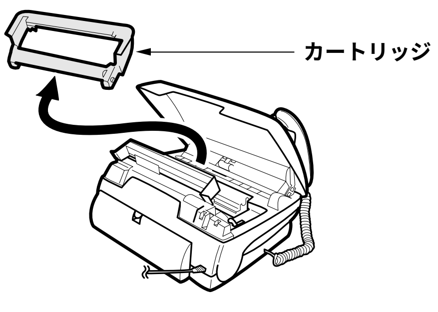


2　緑色の解除レバーを矢印の方向に倒し、記録カバーを開く。

• サーマルヘッドに貼られている黒いフィルムは、絶対にはがさないでください。記録紙づまりの原因になります。



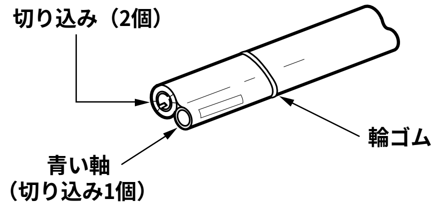
3　カートリッジを取り外す。



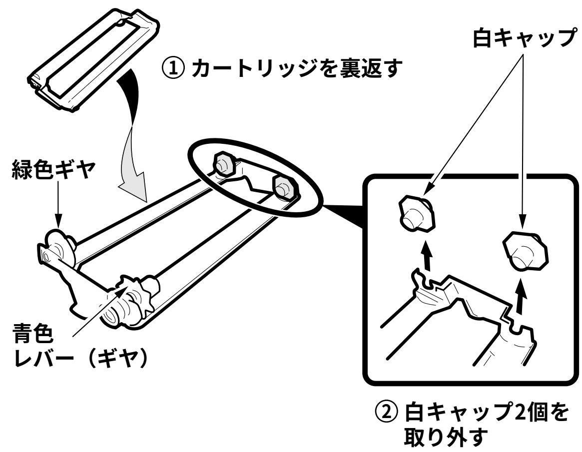
■ インクリボンの取り付け

1　新しいインクリボンを用意する。

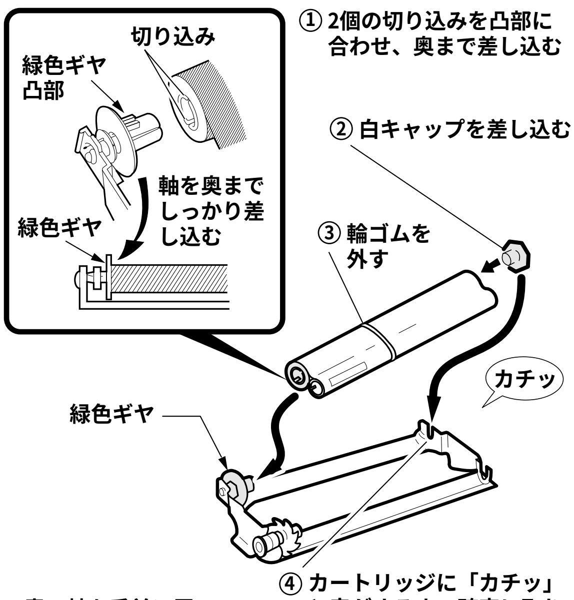
袋から取り出します。
輪ゴムは、まだ外さないでください。

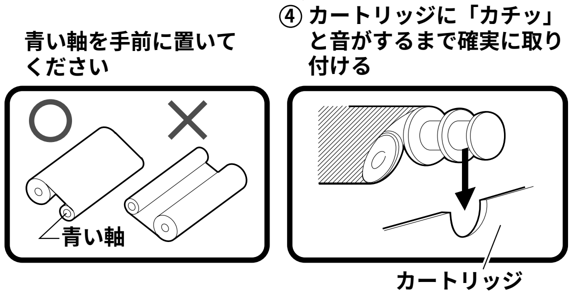


2　カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取り外す。



3　インクリボンの軸（2個の切り込みのある側）をカートリッジ（緑色ギヤ）の凸部に合わせ、奥まで差し込む。

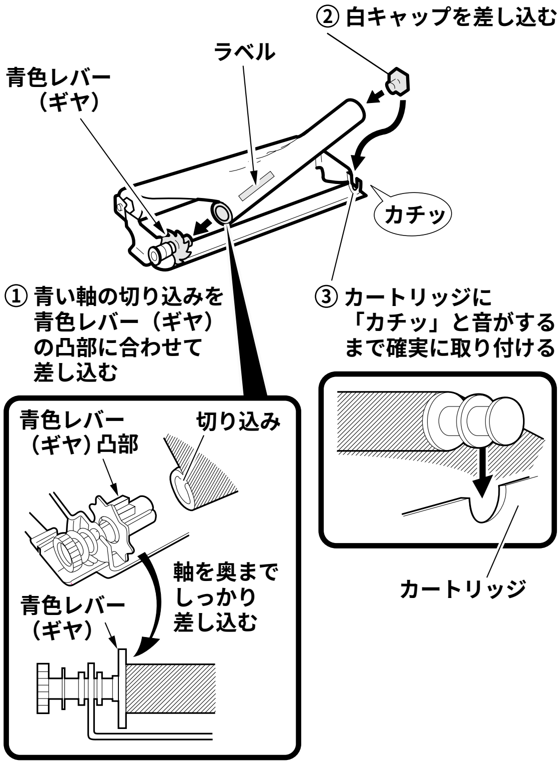




（次ページへ続く）

4 青い軸の切り込みをカートリッジ（青色レバー）の凸部に合わせ、奥まで差し込む。

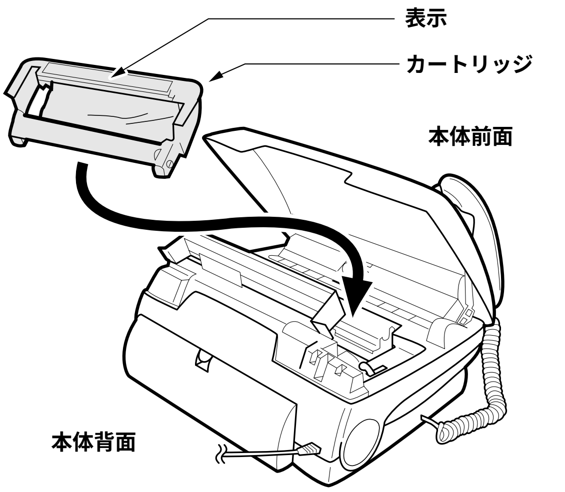
- インクリボンが奥まで差し込まれたことを確認してください。奥まで差し込まれていない場合、取り付け不良や破損の原因となります。



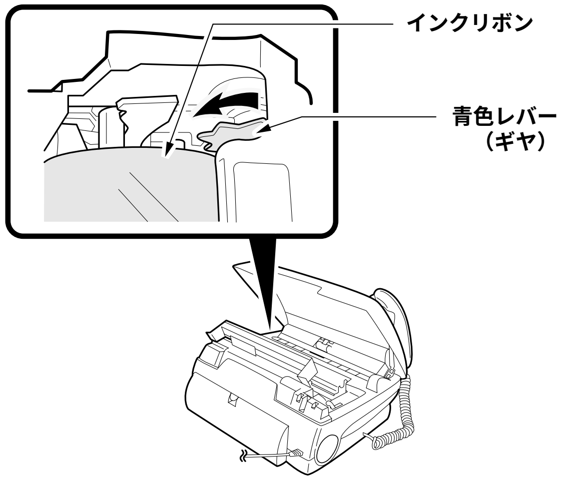
■ カートリッジの取り付け

1 カートリッジを取り付ける。

フィルム面が下側になるようにカートリッジを裏返し、表示側を本体の前面側に向け、後方から先に取り付けます。



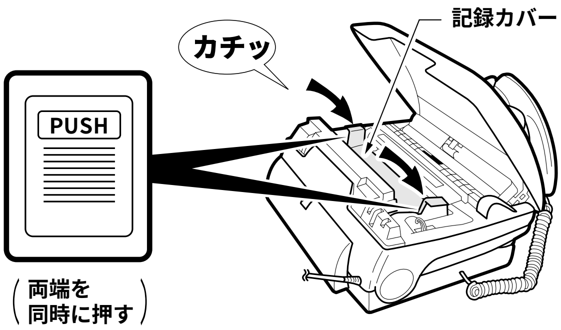
2 青色レバーを回し、インクリボンのたるみを取る。



3 記録カバーを閉じる。

記録カバーの両端（PUSH 部）を同時に押し、「カチッ」と音がするまでしっかり押し込みます。

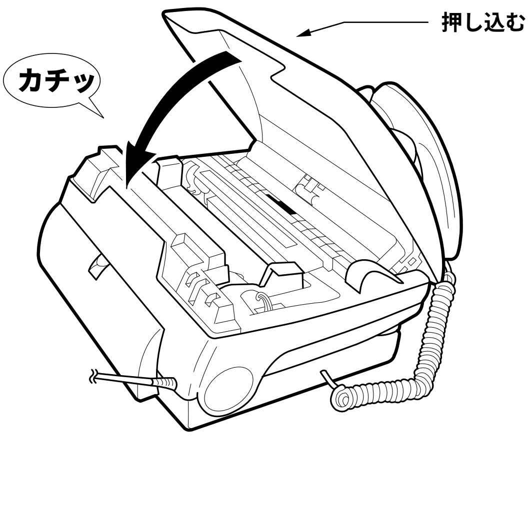
- 記録カバーは確実に閉じてください。記録カバーを確実に閉じていないと、電源が入っているときはディスプレイに“ インジモード　1：カンネツシ　2：フツウシ ”または“ キロク　カバー　カクニン ”と表示されます。



4 カバーを閉じる。

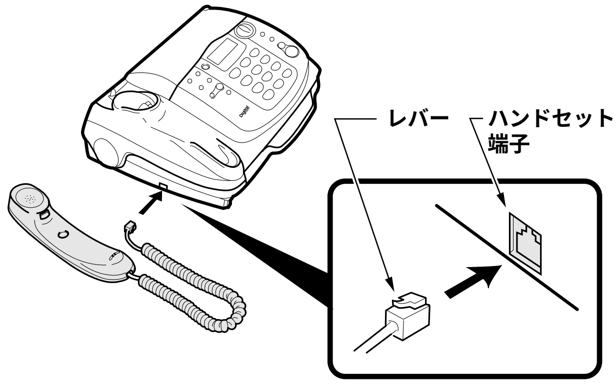
カバーの中央部を、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉じていないと、本体を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに“ カバー　カクニン ”と表示されます。



ハンドセットの取り付け

ハンドセット端子にハンドセット用コードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

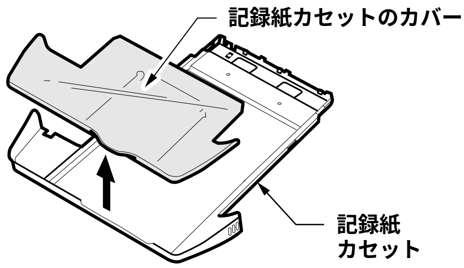


ハンドセット用コードを抜きたい **レバーを押さえながら引き抜いてください。**

記録紙のセット

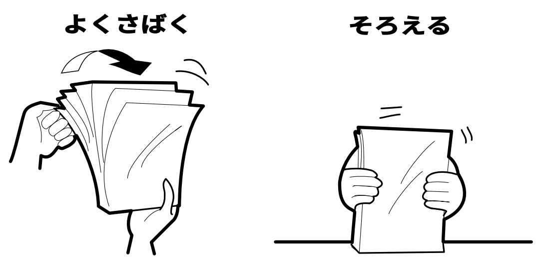
- 必ず推奨の記録紙をお使いください。
  記録紙について（➡ P19）
- 感熱紙を使用するときはカートリッジを取り外して使用してください。
  インクリボンカートリッジの取り外し（➡ P21）
- 普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。

1 記録紙カセットのカバーを取り外す。



2 記録紙をさばく。

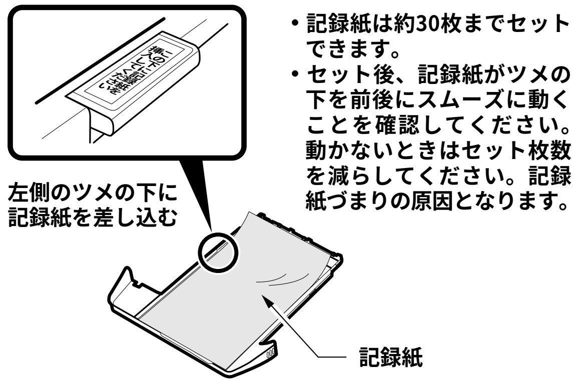
- 記録紙をさばかずにセットすると、一度に複数枚の記録紙が送られることがあります。



3 記録紙を入れる。

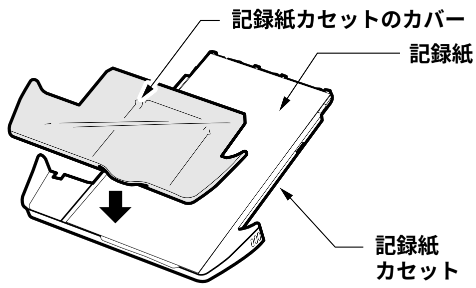
感熱紙は印刷する面を**「裏向き」**にセットしてください。

- セットできる枚数は普通紙、感熱紙とも、約30枚までです。
- 普通紙と感熱紙を混ぜてセットしないでください。
- 感熱紙を使用する際に裏表を間違えてセットすると、白紙でプリントされます。また、この場合メモリにも残りません。
- 記録紙がカールして記録紙カセットの壁より高く浮き上がるときは、枚数を減らすか、カールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。



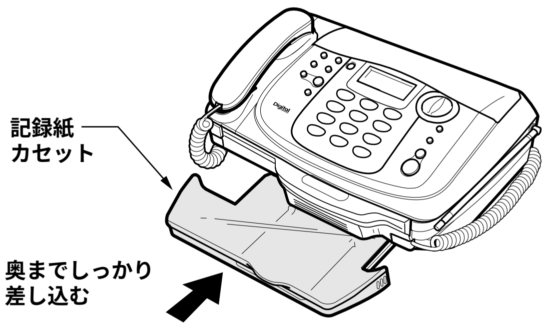
4 記録紙カセットのカバーを取り付ける。

必ず取り付けてください。取り付けないと、記録紙づまりの原因になります。



5 記録紙カセットを取り付ける。

本体の設置底面に置いた状態で、平行にしっかり奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分な場合、記録紙づまりの原因になります。
また、記録紙カセットを差し込む際は、ハンドスキャナのコードを挟まないように注意してください。



記録紙がなくなったら

記録紙がなくなると、ディスプレイに " フツウシヲ　イレテクダサイ " または " カンネツシヲ　イレテクダサイ " と表示されます。そのときは、記録紙を補充してください。

記録紙について （➡ P19）

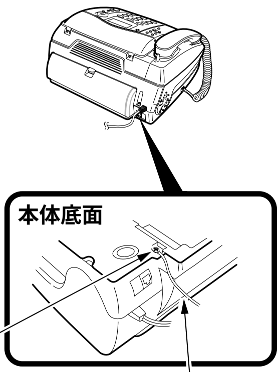
感熱紙を使いたい （➡ P71）

電源の接続

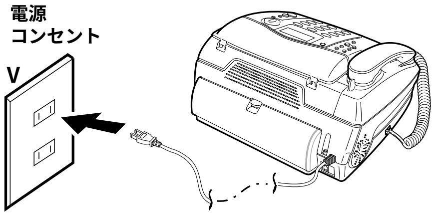
⚠ 注意

- 特に湿気の多い場所で本体を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は付属していませんので、ご用意ください。

アース接続は、本体を裏返して行います。
プラスドライバとアース線を準備してください。



電源プラグをコンセントに差し込む。



日付、時刻のセット

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに“シバラク　オマチクダサイ”と表示されます。
現在の時刻をセットしてください。

1 ディスプレイの表示が切り替わるまで待つ。

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

⋮

ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ ｼﾏｽ ｾｯﾄ ｦ ｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ

2 電話帳登録/セット **を押す。**

'00　1/ 1　0:00 ｶﾝﾘｮｳ ﾊ ｾｯﾄ ｦ ｵｽ

この下線（カーソル）位置の文字を修正できます

3 年月日・時刻を入力する。

'00 11/09 12:06 ｶﾝﾘｮｳ ﾊ ｾｯﾄ ｦ ｵｽ

- 年　：西暦の下2桁
- 月日：1〜9は01〜09と入力
- 時刻：24時間制 1〜9は01〜09と入力

この例では「0011091206」と入力します

入力を間違えた ［<］または［>］を押し、間違えた文字の下にカーソルを移動させて、入力し直してください。

4 電話帳登録/セット **を押す。**

ｶﾝﾘｮｳ

組み立ての確認をする

組み立てが正しくできたことを確認するため、コピーを取ってみましょう。

- 感熱紙を使用する場合は、記録紙モードの設定を行ってください。
  記録紙モードの設定（➡ P71）

1 ダストカバーを開ける。

長い原稿をセットするとき 原稿セットアームを立てます。

2 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる。

3 コピーする面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む。

4 原稿が自動的に引き込まれる。

5 スタート/コピー **を2回押す。**



コピーが終わると 「ピー」という音がします。

コピーを途中でやめたい ［ストップ］ボタンを押してください。

白紙が出てきたとき

- 原稿の裏・表を、逆にセットしたことが考えられます。コピーする面を必ず「裏向き」にセットし、もう一度コピーしてみてください。
- 記録紙として感熱紙を使用する際に裏・表を逆にセットしたことが考えられます。印字面を「裏向き」にセットし直してください。

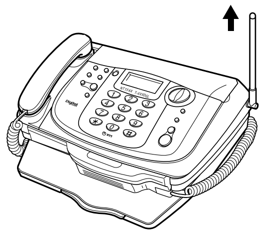
紙がつまったとき

“ゲンコウ　カクニン”と表示されたとき（➡ P89）
“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示されたとき（➡ P87）

コードレス電話機の準備

本体のアンテナを立てる

本体のアンテナをまっすぐ立ててください。



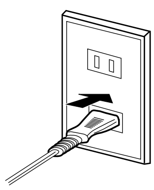
コードレス電話機を充電する

お買い求めいただいたときは、コードレス電話機は充電されていません。充電してからご使用ください。

> ⚠ **危険**
>
> **火災、感電、やけど、けがを避けるために**
>
> ●充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
>
> ●電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
>
> ●電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
>
> ●専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
>
> ●電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
> ・火の中に投入したり、加熱しない。
> ・直接はんだ付けしない。
> ・赤（プラス）・黒（マイナス）のコードおよびその端子を針金などの金属類で接触しない。
>
> ●電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
>
> ●電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

1 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込む。

充電器の電源プラグをAC100 Vの電源コンセントに差し込んでください。

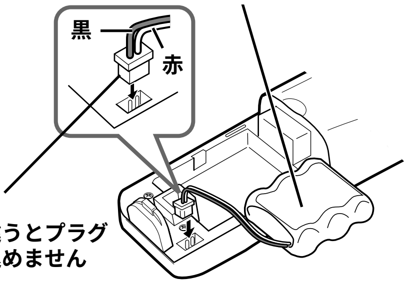


> ⚠ **警告**
>
> ●ぬれた手で充電器の電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
>
> ●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

2 コードレス電話機用電池パックを入れる。

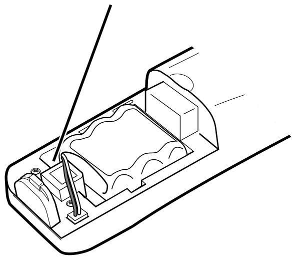
電池パックのプラグを差し込んでから、電池パックを押し込みます。

「電池使用開始シール」に使用開始年・月を記入して貼ってください（電池パックに貼ってある場合もあります）

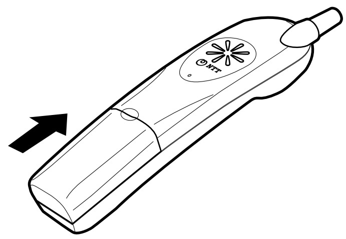


プラグ
向きが違うとプラグは差し込めません

コードを溝の中に押し込んでおきます

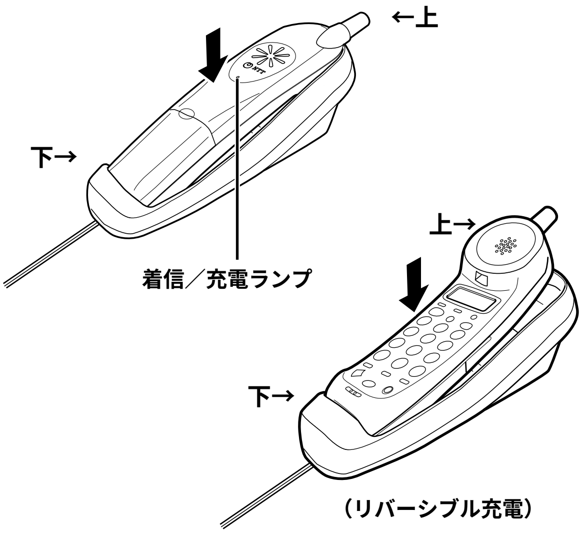


3 電池カバーを取り付ける。



4 コードレス電話機を充電器に置く。

充電を始めると、着信／充電ランプが赤く点灯します。
コードレス電話機を裏返しにして充電すること（リバーシブル充電）もできます。ただし、コードレス電話機の向きが上下反対になっていると充電されません。
着信／充電ランプが点灯するようにコードレス電話機を置きます。はじめてお使いになるときは、9時間以上充電してください。



（リバーシブル充電）

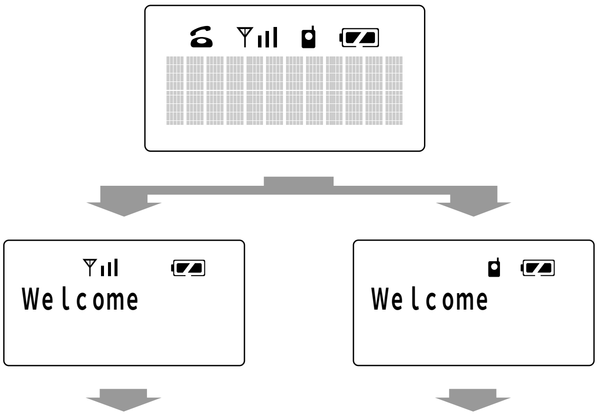
- テレビやステレオなどとは、別のコンセントに接続してください。
- 添付されている電池パックはNTTFAX P-261DCL専用です。他の機器には使用しないでください。
- 電池接続用のコードを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 電池パックのコードを挟まないように注意してください。
- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。

- コードレス電話機を使わないときは充電器に置くようにしてください。充電し過ぎにはなりません。
- はじめてお使いになるときなどまったく充電されていない場合は、充電を始めてもしばらくの間（約5分）着信／充電ランプが点灯しないことがありますが、故障ではありません。
- 電池パックを交換するときは、「コードレス電話機の電池パックを交換する」（➡P92）をご覧ください。
- 電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。

コードレス電話機の電源を入れる

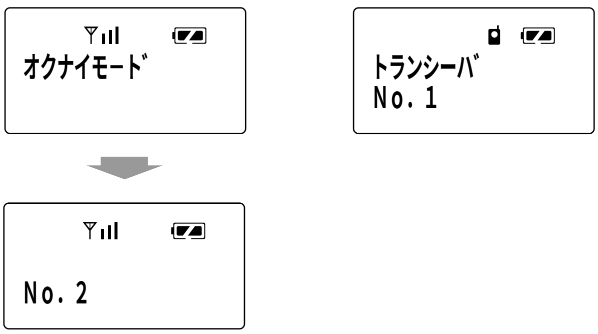
1 電源 を2秒以上押す。

「ピー」という音が鳴り、文字マークがすべて点灯します。



コードレス電話機が使用できる状態（待ち受け状態）になります。

屋内モード **トランシーバモード**



- 電源を切るときは、［電源］ボタンを2秒以上押してください。

コードレス電話機のモードを設定する

コードレス電話機は使いかたによってモードを切り替えます。

屋内モード

屋内でのみ利用する場合
- 本体に接続されている電話回線を通じて電話をかけたり受けたりすることができます。

トランシーバモード

トランシーバ通話を利用する場合
- コードレス電話機を増設して、本体を介さずにコードレス電話機どうしで直接お話しできます（通話料金はかかりません）。（➡ P75）

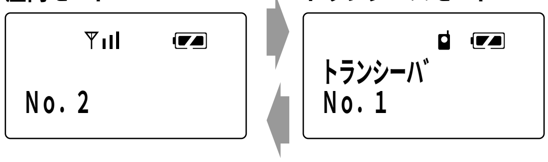
1 コードレス電話機を充電器から取りあげ 切 を押す。

コードレス電話機を充電器に置いていないときは、手順2から始めてください。

2 トランシーバ を2秒以上押す。

「ピー」という音が鳴って、モードが切り替えられます。
利用できないモードは表示されません。

屋内モード **トランシーバモード**



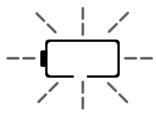
- お話し中でない状態（発信、着信、通話などの操作を行っていない状態）で操作してください。屋内モードでお使いのときは、外線が使用中でない場合に操作してください。
- どちらのモードも利用できないときは、電源を入れたあとに「E」が表示されます。

電池残量を確認する

電池残量は常にディスプレイに表示されます。電池残量は通話可能な目安表示です。


半分以上はあります


そろそろ充電してください


電池がありません。充電してください（➡ P25）

- 充電中は、電池残量は表示されません。

電波の状態を確認する

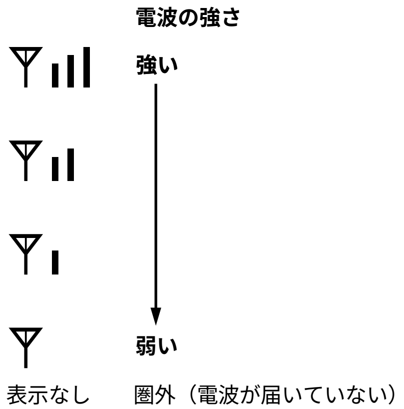
電話をかけたり受けたりすることができる状態のときは、ディスプレイに〒が表示され、本体からの電波の強さをお知らせします。電話をかける前に電波の強さを確認してください。
電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりすることができない場合があります。圏外ではお話しすることはできません。
お話しできる範囲（電波の届く範囲）はモードにより次のようになります。

屋内モード

本体から見通し距離で100 m以内

トランシーバモード

コードレス電話機どうしが見通し距離で100 m以内



- お話し中に圏外になると、「ピピッ・・ピピッ・・」という音（通話中圏外警告音）が鳴ります。
- トランシーバモードで待ち受けているときは、電波の状態（〒）は表示されません。
- 屋内モードでお使いのときは、本体から100 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできないことがあります。あらかじめ内線通話などをして、本体からの電波が弱い場所を確認することをお勧めします。

コードレス電話機の使用可能時間

コードレス電話機の電池をいっぱいに充電したときの連続使用可能時間の目安は、次のとおりです。
- 連続待受時（充電器に置いていない状態）：約300時間
- 連続通話時：約3.5時間（ただしハンズフリー通話時を除く）

- コードレス電話機のハンズフリー通話時は、電池の消耗が非常に早くなります。長時間通話をするときは、［通話］ボタンを押してご使用ください。
- お話し中に電池が切れると「ピッ・・・ピッ・・・」という音がして、ディスプレイに「デンチ　ジュウデン」と表示されます。そのまま1分以上たつと通話が切れます。

⚠ 注意

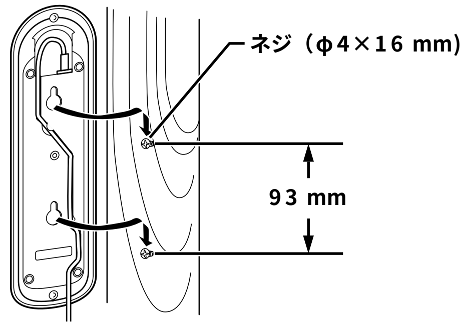
●充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

充電器を壁に掛けて使うとき

充電器は壁などに掛けてお使いいただけます。コードレス電話機を置いたまま、壁に掛けることができます。

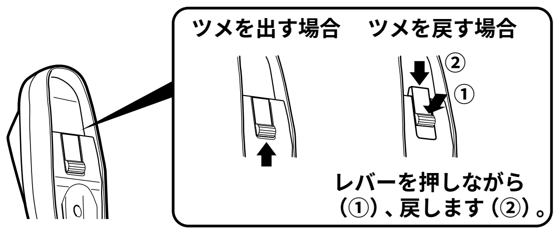
1 付属のネジを使って充電器を取り付ける。

付属のネジを壁などに取り付けます。ネジの頭を約6 mm壁から出しておきます。充電器の裏側の壁掛け用の穴にネジを入れて、少し下に引きます。



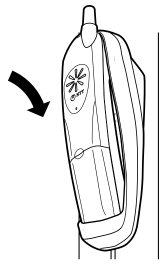
2 壁かけ用のツメを上に引き出す。

コードレス電話機を掛けるためのツメを上方向に引き出します。



3 コードレス電話機を掛ける。

充電器の壁掛け用のツメにコードレス電話機を引っかけます。



- 設置したい場所から内線通話などをして、お話しができるかあらかじめ確認してください。

- ガタガタするときは、壁掛け用ネジを締めてください。

ハンドスキャナの準備

必ず本体の電源を切った状態で行ってください。

⚠ **危険**

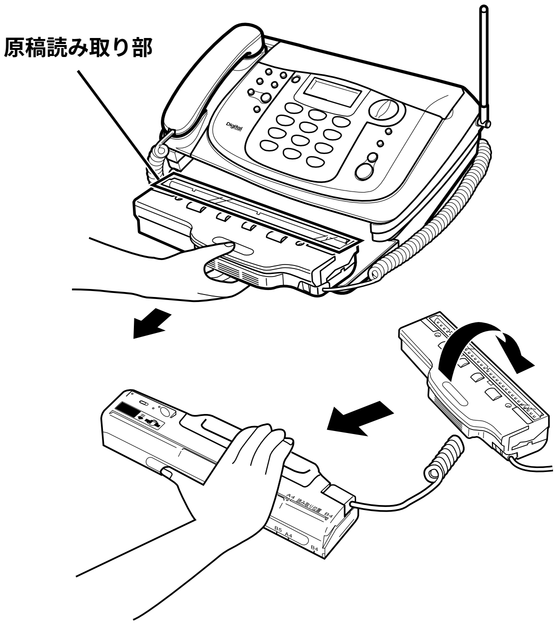
火災、感電、やけど、けがを避けるために

- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。ハンドスキャナに接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
  - 火の中に投入したり、加熱しない。
  - 直接はんだ付けしない。
  - 赤（プラス）・黒（マイナス）のコードおよびその端子を針金などの金属類で接触しない。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

ハンドスキャナに電池を取り付ける

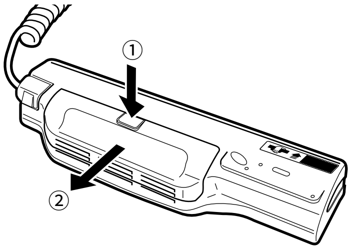
1 ハンドスキャナを本体から外して裏返す。

図の矢印の方向に引き抜いてください。
原稿読み取り部にはさわらないようにご注意ください。



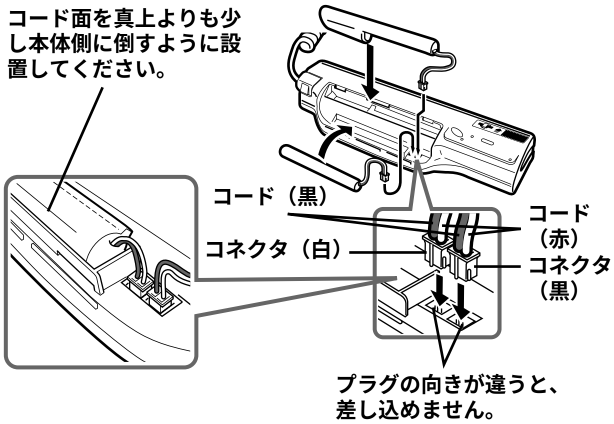
2 電池カバーを取り外す。

①の部分を押しながら、②の方向へスライドさせて、電池カバーを取り外します。



3 ハンドスキャナ用電池パックを入れる。

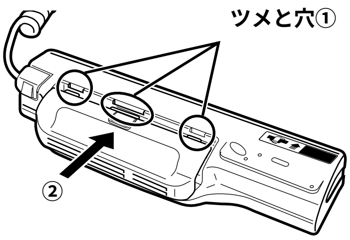
電池パックのプラグを奥まで確実に差し込んでから取り付けます。コードを挟まないように注意してください。



- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。

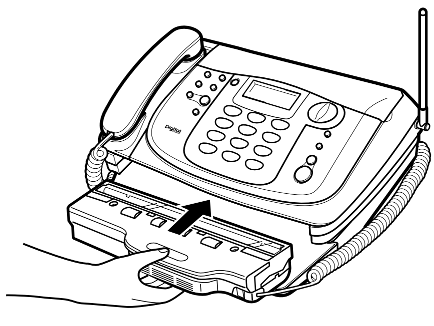
4 電池カバーを取り付ける。

ツメを①の穴に合わせ、②の方向へスライドさせて、電池カバーを取り付けます。コードを挟まないように注意してください。



5 ハンドスキャナを本体に戻す。

原稿読み取り部を上に向けて、本体に押し込みます。矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



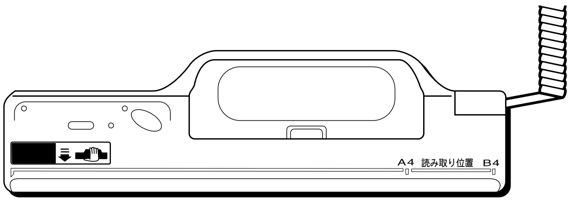
- ハンドスキャナを本体に戻すときは、ハンドスキャナ用コードを挟まないように注意してください。断線の原因になることがあります。

ハンドスキャナを充電する

お買い求めいただいたときは、ハンドスキャナは充電されていません。充電してからご使用ください。

- ハンドスキャナ用コードを付けたままだと、充電されていなくてもハンドスキャナを使用することができますが、ハンドスキャナをコードレスで使用する場合は、6時間以上充電してから使用してください。
- 電池パックは消耗品です。充電してもすぐに電池がなくなるようになったら、新しい電池パックをお買い求めください。ハンドスキャナ用の電池パックは必ず指定のものをご使用ください。
- 電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本商品を廃棄する際には、電池パックを取り出し、お買い求めいただいた販売店またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。
- 本体の電源を入れると（➔P24）ハンドスキャナの充電が始まります。

1　ハンドスキャナ用コードを取り付けた状態になっていることを確認する。



2　本体の電源を入れる。

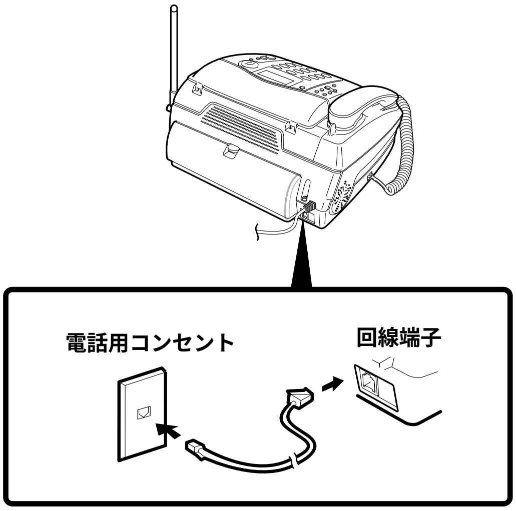
ハンドスキャナの充電が始まります。
電源の接続　（➔ P24）

電話回線につなぐ

電話機コードで本体を電話用コンセントにつなぎ、電話がかけられることを確認します。

電話機コードの接続

付属の電話機コードの片方を本体背面に差し込み、もう片方を電話用コンセントに差し込みます。



INSネット64を利用している

INSネット64を利用するには（ ➔ P86）

回線種別の手動設定

お買い求めのとき：**プッシュ回線**（PB）

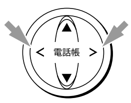
ダイヤル回線をご利用の方は次の操作を行ってください。プッシュ回線をご利用の方は、この操作を行う必要はありません。

1　メニュー を押す。　［キノウセンタク　シテクダ゛サイ］

2　3 サ DEF を押す。　［セッテイ　モート゛］

3　電話帳登録/セット を押す。　［ハッシンモトキロク　○×］

4　メニュー を3回押す。　［カイセンシュヘ゛ツ　PB］

5　 を押し、“DP”を表示させる。　［カイセンシュヘ゛ツ　DP］

6　電話帳登録/セット を押す。　［カンリョウ］

INSネット64を利用している

ターミナルアダプタに本体を接続する場合は、PBに設定してください。

電話ができることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

電話をかけられない

困ったときは（Q&A）（➜ P97）

電話をかけられるが、受けられない

ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。
・契約している場合………「利用する」に変更が必要
・契約していない場合……「利用しない」（お買い求め時のまま）
ナンバー・ディスプレイの設定（➜ P77）

ダイヤルインを契約している場合は、次のことを確認してください。
・ダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合………………「利用しない」（お買い求め時のまま）
・モデムダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合………「利用する」に変更が必要
ナンバー・ディスプレイの設定（➜ P77）

契約しているサービスの確認

当社のネットワークサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。

□にチェック“ ✓ ”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

■ 当社のネットワークサービスの契約をしていますか？

・キャッチホン……………………………………… □

キャッチホンを利用する（➜ P39）

・ナンバー・ディスプレイ …………………… □

設定が必要です。

ナンバー・ディスプレイの設定（➜ P77）

・キャッチホン・ディスプレイ ……………… □

設定が必要です。

キャッチホン・ディスプレイの設定（➜ P82）

・ダイヤルイン ………………………………… □

ダイヤルインの登録（➜ P85）

お買い求め時の状態について

お買い求め時の本商品は、手動受信モードに設定されています。
手動受信モード（➜ P48）
また、お買い求め時の本商品の設定状態については「機能設定／登録早見表」で示しています。
機能設定／登録早見表 （➜ P107）

操作を間違えたときは

・本体の場合

ストップ

［ストップ］ボタンを押すと、操作／設定がキャンセルされ、待機状態または1つ前の状態に戻ります。

・コードレス電話機の場合

切

［切］ボタンを押してください。

電話をかける／受ける

ここでは、電話のいろいろな使いかたを説明しています。

本体で電話をかける

電話をかける

- **コードレス電話機を使用中は、かけられません。ディスプレイに " ナイセン2 シヨウチュウ " と表示されます。**
- **ファクス受信中やコピー中には、電話をかけられません。**

■ハンドセットを取りあげてかける

（ハンドセットを取りあげる）➧ ツー… ➧ **相手の電話番号** ➧ **通話** ➧（ハンドセットを置く）

■ハンドセットを置いたままかける

〈オンフックダイヤル〉

オンフック ➧ **「ツー…」と聞こえる** ➧ **相手の電話番号** ➧（ハンドセットを取りあげる）➧ **通話** ➧（ハンドセットを置く）

番号を押し間違えたら［オンフック］ボタンを押し、最初からやり直してください。

■番号を確認してからかける

ハンドセットを置いたまま ➧ **相手の電話番号** ➧ **ディスプレイで確認** ➧（ハンドセットを取りあげる）

➧ **通話** ➧（ハンドセットを置く）

番号を押し間違えたら［クリア］ボタンまたは［ストップ］ボタンを押し、最初からやり直してください。

■相手の方の声を大きくしたい（受話音量）

ハンドセットを取りあげてお話し中に操作します。
［音量］ボタンを押すと、次の順番で音量が変わります。

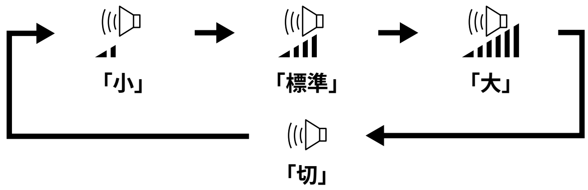


［オンフック］ボタンの使いかた

- ［オンフック］ボタンを押すとハンドセットを持たずに電話がかけられます（オンフックダイヤル）。
- お話し中に［オンフック］ボタンを押してからハンドセットを戻すと、通話が切れずにスピーカから相手の方の声が聞こえます。
- オンフック中は、こちらの声は相手の方には聞こえません。

■モニタスピーカ

［オンフック］ボタンを押し「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。
［音量］ボタンを押すと、次の順番で音量が変わります。



- 留守番電話の再生音量も同じ音量に調整されます。（➧P61）

同じ相手の方にもう一度かける（再ダイヤル）

最後にかけた相手の方に簡単にかけ直すことができます。

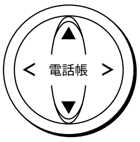
- 最後にかけた相手の方には、ファクスを送った相手の方や、お話し中でお話しできなかった相手の方も含まれます。
- コードレス電話機で電話をかけた相手の方に、本体でかけ直すことはできません。
- 再ダイヤルできる桁数は40桁までです。
- ハンドセットを取りあげてから操作してください。ハンドセットを置いたままではファクス送信の動作になります。
- 41桁以上ダイヤルした場合は、最初の40桁のみ記憶されます。
- 本体で電話をかけたりファクスを送信した相手先には、コードレス電話機から再ダイヤルすることはできません。

（ハンドセットを取りあげる）➧ ツー… ➧ 再送/ポーズ ➧ **通話**

電話帳ダイヤルでかける

あらかじめ電話帳ダイヤルを登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。
電話帳ダイヤルを登録する（➜ 本ページ右側）

［電話帳］ボタンの使いかた



- ［▲］［▼］…登録されている電話帳ダイヤルの先頭の相手先が表示されます。
  ［▲］または［▼］を押すごとに相手先が切り替わります。
  ［▲］または［▼］を押し続けると早送りされます。

例：「イトウ」「カトウ」「キクオ」が登録されているとき

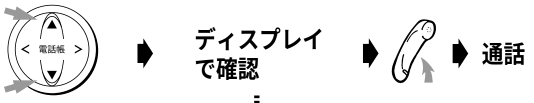
ここからスタート
↓
「イトウ」［▼］⇄［▲］「カトウ」［▼］⇄［▲］「キクオ」［▼］→（「イトウ」に戻る）
［▲］（「イトウ」から「キクオ」へ）

電話帳ダイヤルの相手の名前は50音順に表示されます

- 登録するとき相手の名前の前に空白を入れたり、アルファベットや数字などを入力すると次の順で表示されます。
  空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 相手の名前のない電話番号

- コードレス電話機に登録してある電話帳ダイヤルは使用できません。

■相手先を確認してからかける




```
アイテ:カイシャ
TEL:0697654321
```

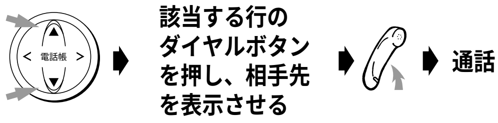
［電話帳］ボタンを押す前にハンドセットを取りあげた

相手先を表示させたあと［スタート／コピー］ボタンを押すとかけられます。ただし［スタート／コピー］ボタンを押すまでに時間がかかると、電話をかけられない場合があります。ハンドセットを置いたまま、先に相手先を表示させてからかけることをお勧めします。

■相手先をすばやく探してかける

- ディスプレイに相手先が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が表示されます。
  （例：［3（サ）］を押すと“サトウ”）
  また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
  （例：［3（サ）］を押すたびに“サトウ”“スズキ”…）
- 相手の名前が記号で始まる場合は［0］を押すと、“－”や“（”、“＊”などで始まる相手の名前が表示されます。記号で始まる相手先を表示中には［▼］を押すと次の相手先が表示されます。

- 該当する行に1人も登録されていないときは、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。




```
アイテ:カイシャ
TEL:0697654321
```

電話帳ダイヤルを登録する

よく電話したり、ファクスを送ったりする相手の名前や電話番号を登録できます。
登録できる件数は100件までです。相手の名前は12文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

1 電話帳登録/セット **を押す。**

```
トウロク:ナマエ?
```

電話番号だけ入力したいときは 手順3に進んでください。

2 相手の名前を入力する。

```
カイシャ
```

文字の入力のしかた（➜ P113）

文字入力を間違えたときは［<］または［>］で間違えた文字にカーソルを合わせ［クリア］ボタンを押してください。

3 電話帳登録/セット **を押す。**

```
ナマエ:カイシャ
TEL:?
```

4 相手の電話番号を市外局番から入力する。

```
ナマエ:カイシャ
TEL:0697654321
```

途中で登録をやめたいときは［ストップ］ボタンを押してください。

5 電話帳登録/セット **を押す。**

```
カイシャ
トウロク シマシタ
```

続けて登録したいときは 手順2から繰り返してください。

6 登録を終了するときは ストップ **を押す。**

“デンワチョウ　フル”と表示された

相手先が100件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。

登録した内容を確認したい

本体の電話帳ダイヤルの登録内容（電話番号リスト）をプリントする（➜ P72）

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

必ず市外局番から登録してください。また［＊］［#］［－］（ポーズ）は入力しないでください。（➜ P78）

国際電話の番号を登録したい

手順4で国際電話番号を入力したあと［再送／ポーズ］ボタンを2回押してください。そのあと、残りの電話番号を入力してください。
入力例：XXX－－1［相手の電話番号］

［再送／ポーズ］ボタンを2回押す（合計6秒のポーズが入る）（ポーズ3秒／1回当り）

ただし、ターミナルアダプタに本商品を接続している場合は、ポーズを入れると電話をかけられなくなることがあります。
INSネット64を利用するには（➜ P86）

電話帳ダイヤルの登録内容を変更する

1 [電話帳]を押し、変更したい相手先を表示させる。

2 [電話帳登録/セット]を押す。

```
1:ショウキョ
2:ヘンコウ
```

3 [2 カ ABC]を押す。

```
ナマエ:カイシャ
TEL:0697654321
```

名前を変更しないときは 手順6へ進んでください。

4 [電話帳]を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる。

```
ナマエ:カイシャ
TEL:0697654321
```

5 相手の名前を入力し直す。

［クリア］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 [電話帳登録/セット]を押す。

```
ナマエ:カゾク
TEL:0697654321
```

電話番号を変更しないときは 手順9へ進んでください。

7 [電話帳]を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる。

8 相手の電話番号を入力し直す。

［クリア］ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 [電話帳登録/セット]を押す。

```
ヘンコウ シマシタ
```

電話帳ダイヤルの登録内容を消去する

1 [電話帳]を押し、消去したい相手先を表示させる。

2 [電話帳登録/セット]を押す。

```
1:ショウキョ
2:ヘンコウ
```

3 [1 ア]を押す。

```
カイシャ
1:ジッコウ 2:トリケシ
```

4 [1 ア]を押す。

```
ショウキョ シマシタ
```

途中で消去をやめたい

手順4で［2］（トリケシ）を押してください。

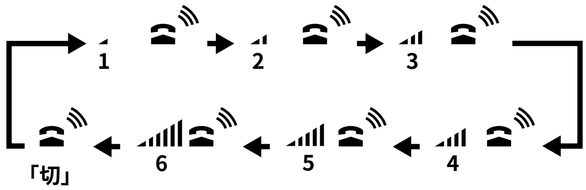
本体で電話を受ける

■ハンドセットを取りあげて受ける

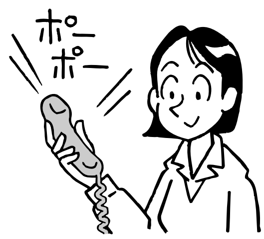
着信ベルが鳴る ➧ [ハンドセットを取りあげる] ➧ 通話 ➧ [ハンドセットを置く]

■着信ベルの音量

待機中に操作します。
［音量］ボタンを1回押すと、現在設定されている音量で着信ベルが鳴ります。着信ベルが鳴っている間に［音量］ボタンを押すと、次の順番で音量が変わります。



ポーポーという音が聞こえたら



- 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れたあと、ハンドセットを置いてください。
  コードレス電話機のときはそのまま充電器に置くか［切］ボタンを押してください。
- ノータッチ受信を「しない」に設定したときは、メッセージが流れません。このときは、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら



- ファクスの場合があります。
  ［スタート／コピー］ボタンを押してみてください。
  コードレス電話機のときは［内線／ドアホン／保留］ボタンを押したあと［6］を押してください。

本体を保留にする

お話しの途中で相手の方を待たせるときに、保留メロディを流すことができます。保留メロディが流れている間は、こちらの声は相手の方に聞こえません。

- **10分以上保留にしたままでいると通話は切れます。**
- **内線電話の保留はできません。**

通話中 ➧ [保留] ➧ 保留 ➧ もう一度通話するとき ➧ [保留]

保留中にハンドセットを置くと **通話は切れません。ハンドセットを取りあげるとお話しができます。**

オンフック中に保留にしたとき

［オンフック］ボタン、または［保留］ボタンを押すと保留が解除されます。

本体で保留にした電話をコードレス電話機で受けたいとき

コードレス電話機で電話を受けるときは、［保留］ボタンを押したあとに、ハンドセットを本体に置いてから、コードレス電話機を充電器から取りあげてください。コードレス電話機を充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➧ P74）は、コードレス電話機の［通話］ボタンを押してください。

コードレス電話機で保留にした電話を本体で受けたいとき

本体で電話を受けるときは、［内線／ドアホン／保留］ボタンを押したあとに、コードレス電話機を充電器に置いてから、本体のハンドセットを取りあげてください。充電器が近くにないときは、［内線／ドアホン／保留］ボタンを押したあとに、［切］ボタンを押してから本体のハンドセットを取りあげてください。

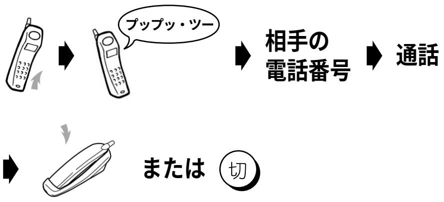
コードレス電話機で電話をかける

クイック通話について

- コードレス電話機を充電器から取りあげたあと、ダイヤルボタンを押すだけで電話をかけることができます。
- 電話がかかってきたとき、コードレス電話機を充電器から取りあげるだけで相手の方とお話しをすることができます。
  クイック通話ができないように設定を変更することもできます。（➧P74）

- クイック通話が設定されているとき、約60秒間ダイヤルボタンを押さないと、自動的に通話が切れます。
- 他の電話機が使用中のときや、コードレス電話機が本体から離れすぎているときは、「ツーツー…」という音が聞こえ、コードレス電話機で電話をかけることはできません。ディスプレイに「☎」が表示されているときは、他の電話機が使用中です。
- 本体の登録設定中またはコピー中は、電話をかけることはできません。
- ディスプレイに「ケンガイ」と表示されているときや、「Y」が表示されていないときは、電話をかけることはできません。

コードレス電話機を取りあげてかける



- コードレス電話機が通話しているときに本体で送受信の操作を行うと、コードレス電話機の通話は切れます。

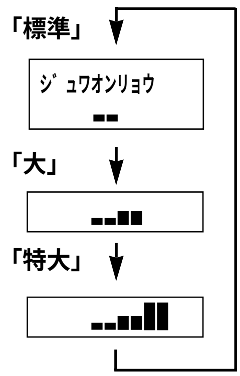
充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき

［通話］ボタンを押します。

電話番号を確認してからかけるには（プリセット発信）

コードレス電話機を充電器から取りあげ［切］ボタンを押します。相手の電話番号をダイヤルしたあと［通話］ボタンを押します。プリセット発信できる電話番号は最大40桁までです。

相手の方の声が聞きとりにくいときは（受話音量の調節）



お話しをしながら［音量］ボタンを繰り返し押して、受話音量を調節することができます。受話音量は3段階で切り替えられます。受話音量の設定は、通話を切ってももとに戻りません。お買い求めいただいたときは「標準」に設定されています。受話音量は、左のように表示されます。［音量］ボタンを押すと、音量が随時切り替わります。2秒以上押さないとお話し中の表示に戻ります。

ディスプレイ表示について

- ディスプレイに表示される電話番号は最大12桁までです。13桁目以降は、右から左へ順次表示されます。

プリセット発信のとき

- プリセット発信で電話番号を押し間違えたときは、［クリア］ボタン、または［切］ボタンを押してから、もう一度押し直してください。
- プリセット発信で約30秒間［通話］ボタンを押さない場合は、待ち受け状態に戻ります。

通話時間について

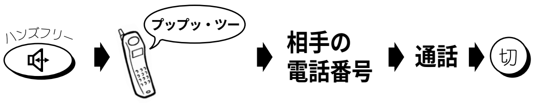
- 通話時間は、相手の方が電話に出ないときでも、最後の電話番号をダイヤルしてから約10秒後に表示されます。相手の方が出ると、0秒から表示されます。通話時間は最大59分59秒「59：59」まで表示され、60分になると 「00：00」から表示されます。通話時間の表示は目安です。

ハンズフリー通話

- お話しの途中でハンズフリー通話に変えたいときは、［ハンズフリー］ボタンを押してください。［ハンズフリー］ボタンが点灯し、相手の方の声がスピーカから聞こえるようになります。

コードレス電話機を持たずにかける（ハンズフリー通話）

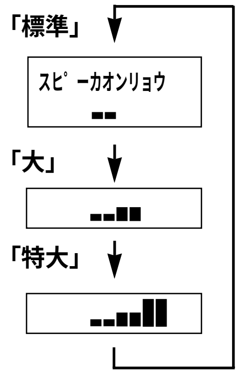
- ハンズフリー通話は、周囲の雑音のない静かな場所でご利用ください。
- マイクに手などを近づけないようにして、マイクから50cm以内の範囲でお話しをしてください。
- 周囲の雑音が大きいときや、お話しを始めたとき、相手の方がお話しをしている間は、こちらの声が小さいと相手の方に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいてお話しをしてください。
- ハンズフリー通話中に会話以外の「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたとき、またはモニタスピーカの音量が不安定になったときには、次のようにしてください。
  - ［通話］ボタンを押して、コードレス電話機を取りあげてお話しする
  - ［音量］ボタンを押してモニタスピーカの音量を小さくする
    また、次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなりますのでご注意ください。
  - ハンズフリー通話中にモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき
  - モニタスピーカ、マイクに手などを近づけたとき
  - 反響音が大きい所に設置したとき
  - 相手の方から音声以外の信号（保留メロディ、プッシュ信号等）が入ってきたとき



充電器に置いているとき

コードレス電話機を充電器から取りあげ、［ハンズフリー］ボタンを押します。リバーシブル充電時（➜ P25）は、充電器に置いたまま操作ができます。

相手の方の声が聞き取りにくいとき



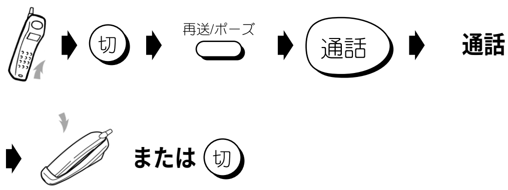
お話しをしながら［音量］ボタンを繰り返し押して、モニタスピーカ音量を調節することができます。モニタスピーカ音量は3段階で切り替えられます。モニタスピーカ音量の設定は、電話を切ってももとに戻りません。お買い求めいただいたときは「標準」に設定されています。モニタスピーカ音量は、左記のように表示されます。
［音量］ボタンを2秒以内に繰り返し押すと、音量が随時切り替わります。2秒以上押さないとお話し中の表示に戻ります。

- お話しの途中でハンズフリー通話をやめたいときに、充電器に置いている場合はコードレス電話機を取りあげ、充電器に置いていない場合は［通話］ボタンを押してください。［ハンズフリー］ボタンが消灯し、相手の方の声が受話口から聞こえるようになります。

同じ相手の方にもう一度かける（再ダイヤル／スタッキングダイヤル）

過去5回までにダイヤルした相手の電話番号が記憶されていて、簡単な操作でダイヤルし直すことができます（スタッキングダイヤル）。再ダイヤル／スタッキングダイヤルは1件につき最大40桁まで記憶されます。41桁以上ダイヤルした場合は、最初の40桁のみ記憶されます。

- 本体で電話をかけたりファクスを送信した相手先には、コードレス電話機から再ダイヤル／スタッキングダイヤルすることはできません。
- コードレス電話機で電話をかけた相手先には、本体から再ダイヤルすることはできません。



充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき

［再送／ポーズ］ボタンから始めてください。

過去5回までにダイヤルした相手先に電話をかけたいときは

［＃／▶］ボタン（または［再送／ポーズ］ボタン）、［⚹／◀］ボタンを繰り返し押して、電話をかけたい相手の電話番号を表示させます。
［＃／▶］ボタン（または［再送／ポーズ］ボタン）を押すと最新の電話番号から表示され、［⚹／◀］ボタンを押すと最も古い電話番号から表示されます。

- 電話帳ダイヤルでかけた相手の方にかけ直す場合は、相手の名前が表示されます。
- 再ダイヤルが記憶されていない場合は、「ピピピ」というエラー音が鳴り、「データガ　アリマセン」と約2秒間表示されます。
- 操作を中止したいときは［切］ボタンを押してください。待ち受け状態に戻ります。
- 再ダイヤルに記憶されている電話番号を消去したいときは、再ダイヤルの電話番号が表示されている状態で［クリア］ボタンを2秒以上押します。消去されると「ピー」という音が鳴り、「ショウキョ　シマシタ」と表示されます。また、コードレス電話機の電池パックを抜いた場合や、電池がなくなった場合には自動的にすべて消去されます。
- 13桁以上の電話番号が記憶されている場合は、先頭から12桁が表示されたあとに残りが1桁ずつ表示されていきます。
- 操作を中断したいときは［切］ボタンを押してください。
- 再ダイヤル／スタッキングダイヤルでダイヤルしたときも、再ダイヤル／スタッキングダイヤルに再度記憶します。
- ハンズフリー通話（ ➜本ページ左側）で再ダイヤル／スタッキングダイヤルする場合は、電話をかけたい相手の電話番号を表示させたあと［ハンズフリー］ボタンを押します。

電話帳ダイヤルでかける

- 電話をかける前に電話帳ダイヤルを登録してください。（➧ 本ページ右側）コードレス電話機の電話帳ダイヤルは最大30件登録できます。
- 本体で登録した電話帳ダイヤルは、コードレス電話機では使えません。

［電話帳］ ボタンを押したあとに、［＃ ／▶］ ボタンを押すと先頭の電話帳ダイヤルが表示され、［✱／◀］ボタンを押すと検索の順番で最後の電話帳ダイヤルが表示されます。
続けて［＃ ／▶］ボタンを繰り返し押すと検索の順番で、［✱／◀］ボタンを繰り返し押すと逆の順番で下図のようにスクロールして検索されます。

［＃ ／▶］ボタン

→ 空白+文字 ⇄ 数字 ⇄ カナ大文字 …… ⇄ 全空白 ←

［✱／◀］ボタン

- 電話帳ダイヤルは、空白＋文字→数字→カナ大文字→「゛」「゜」→カナ小文字→アルファベット→記号→全空白、の順番に検索されます。
- 電話帳ダイヤルに1件も登録されていない場合は、「ピピピ」というエラー音が鳴り、「デンワバンゴウ　ミトウロク」と約2秒間表示されます。電話帳ダイヤルを登録してください。

相手の名前の最初の文字で検索するには

- ［電話帳］ボタンを押したあとに、［0］～［9］ボタンを押すと、押されたダイヤルボタンに該当する相手の名前の最初の電話帳ダイヤルが表示されます。ダイヤルボタンと検索文字の対応は、文字の入力時と同様です。（➧ P113）

〈例〉［2］ボタン（か行）を押した場合

```
ｶｲｼｬ
  0697654321
```

↓

同じダイヤルボタンをもう一度押すと、次の候補が表示されます。

```
ｶｿﾞｸ
  0397654321
```

別のダイヤルボタンを押すと、そのダイヤルボタンに対応する相手の名前の最初の電話帳ダイヤルが表示されます。

- ハンズフリー通話（➧ P35）で電話帳ダイヤルすることもできます。

■相手先を確認してからかける

➧ 切 ➧ 電話帳 ➧ ＃ または ✱（PB）

➧ 電話をかけたい相手先を表示 ➧ 通話 ➧ 通話

➧ または 切

充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき

［電話帳］ボタンから始めてください。

■相手先をすばやく探してかける

ダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が、50音順に表示されます。
（例：［1（ア）］を押すと“アベ”）

➧ 切 ➧ 電話帳 ➧ **該当する行のダイヤルボタンを押し、相手先を表示させる** ➧ 通話

➧ **通話**

電話帳ダイヤルを登録する

電話帳ダイヤルは、最大30件まで登録することができます。1件につき最大12文字までの名前、最大24桁までの電話番号を登録できます。

- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、操作は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

1 コードレス電話機を充電器から取りあげ、切を押す。

コードレス電話機を充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➧ P74）は、手順2から始めてください。

2 電話帳を押す。

```
ｹﾝｻｸ ◀▶
ﾄｳﾛｸ ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
```

3 電話帳を押す。

```
ﾄｳﾛｸ:ﾅﾏｴ?
```

- 電話帳ダイヤルがすでに30件登録されているときは、「デンワチョウ　フル」と表示されます。不要な電話帳ダイヤルを消去するか、修正によって登録を行ってください。

4 相手の名前（最大12文字）を入力する。

```
ｶｲｼｬ
```

文字の入力のしかた（➧ P113）

5 登録 または 電話帳を押す。

```
ｶｲｼｬ
TEL?
```

6 相手の電話番号（最大24桁）を入力する。

```
ｶｲｼｬ
  0697654321
```

- ［再送／ポーズ］ボタンを押してポーズを入力することもできます。ディスプレイには「-（ハイフン）」で表示されます。ただし、1桁目の入力で［再送／ポーズ］ボタンを押すと、「ピピピ」というエラー音が鳴って入力できません。
- 25桁以上入力しようとすると、「ピピピ」というエラー音が鳴って入力できません。

電話番号を押し間違えたら ［クリア］ボタンを押して、最初から入力し直してください。

7 登録 または 電話帳 を押す。

トウロク シマシタ

「ピー」という音が鳴って、電話帳ダイヤルが登録されます。

- 電話番号を入力せずに［登録］ボタンを押すと、「ピピピ」というエラー音が鳴ります。手順6の操作からやり直してください。
- 途中で登録をやめたいときは、充電器に置くか、［切］ボタンを押してください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合（➡P76）は、着信履歴に記憶された電話番号を電話帳ダイヤルに登録することもできます。（➡P81）

電話帳ダイヤルの登録内容を変更する

1 **コードレス電話機を充電器から取りあげ、切 を押す。**

コードレス電話機を充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➡P74）は、手順2から始めてください。

2 電話帳 **を押す。**

ケンサク ◄►
トウロク デンワチョウ

3 **# または ＊ を押して、修正したい電話帳ダイヤルを表示させる。**

カゾク
0697654321

4 登録 **または** 電話帳 **を押す。**

1:ショウキョ
2:シュウセイ

5 **2 を押す。**

カゾク
0697654321

6 **名前を修正する。**

［#／▶］ボタン、または［＊／◀］ボタンを押して、修正したい文字のところにカーソルを移動させて、文字を入力し直します。または、［クリア］ボタンを押して、最初から入力し直します。
名前を修正しないときは、手順7へ進んでください。
文字の入力のしかた（➡P113）

7 登録 **または** 電話帳 **を押す。**

カイシャ
0697654321

8 クリア **を押して電話番号を入力し直す。**

電話番号を修正しないときは、手順9へ進んでください。

9 登録 **または** 電話帳 **を押す。**

シュウセイ シマシタ
▼
No. 2

「ピー」という音が鳴ります。

- 電話番号を入力せずに［登録］ボタンを押すと、「ピピピ」というエラー音が鳴ります。手順8の操作からやり直してください。

電話帳ダイヤルの登録内容を消去する

1 **コードレス電話機を充電器から取りあげ 切 を押す。**

コードレス電話機を充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➡P74）は、手順2から始めてください。

2 電話帳 **を押す。**

ケンサク ◄►
トウロク デンワチョウ

3 **# または ＊ を押して、消去したい電話帳ダイヤルを表示させる。**

カイシャ
0697654321

4 登録 **または** 電話帳 **を押す。**

1:ショウキョ
2:シュウセイ

5 **1 を押す。**

カイシャ
1ショウキョ 2トリケシ

6 **1 を押す。**

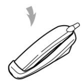
ショウキョ シマシタ
▼
No. 2

「ピー」という音が鳴ります。

- 消去を中止したいときは［2］ボタン、または［切］ボタンを押してください。

コードレス電話機で電話を受ける

コードレス電話機を取りあげて受ける

着信ベルが鳴る ➧  ➧ 通話 ➧  または （切）

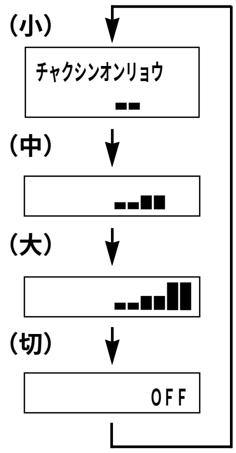
充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき

［通話］ボタンを押します。

コードレス電話機を持たずに電話を受けるとき

［ハンズフリー］ボタンを押して、お話しをします。

着信ベルの音量を調節するには



コードレス電話機の着信ベルの音量は、［音量］ボタンで調節できます。

- 待ち受け中（電話を使用していないとき）、または着信ベルが鳴っている間に、［音量］ボタンを押して調節できます。
- 待ち受け中に［音量］ボタンを押すと、現在設定されている音量が表示され、着信ベルが鳴っている間に［音量］ボタンを押すと、現在設定されている音量の次の音量が表示されます。
- ［音量］ボタンを3秒以内に繰り返し押すと、音量が随時切り替わります。設定したい表示で［切］ボタンを押してください。3秒以上、［音量］ボタンまたは［切］ボタンを押さないと、もとの表示に戻ります。
- 着信ベルの音量は4段階に設定でき、左のように表示されます。お買い求め時は、「中」に設定されています。

- お買い求めいただいたときは、コードレス電話機を充電器から取りあげただけで電話を受けることができるように設定されています（クイック通話）。クイック通話ができないように設定を変更することもできます。（ ➧ P74）
  クイック通話を解除したときは、充電器から取りあげたあと、［通話］ボタンを押して電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。（ ➧ P76）
  また、かけてきた電話番号は記憶され、簡単な操作でかけ直すこともできます。電話に出なかった場合の電話番号も記憶されます。

コードレス電話機を保留にする

お話しをしている途中で、相手の方に待っていてほしいときに、保留メロディを流すことができます。保留メロディが流れている間は、こちらの声は相手の方に聞こえません。

- 10分以上保留にしたままでいると、自動的に保留が解除され、通話は切れます。

通話中 ➧ 内線 ドアホン （保留） ➧ 相手の方には保留メロディが流れる

保留中は ［通話］ボタンと「☎」が低速で点滅します。

ハンズフリー通話中に保留にしたときは ［通話］ボタンと［ハンズフリー］ボタンと「☎」が点滅します。

もう一度お話しをしたいとき

コードレス電話機でお話しをしていてコードレス電話機を充電器に置いたときは、コードレス電話機を取りあげるとそのままお話しができます。充電器に置いていないときは、もう一度［内線／ドアホン／保留］ボタン、［通話］ボタン、または［ハンズフリー］ボタンを押してください。

本体で保留にした電話をコードレス電話機で受けたいとき

本体で保留にした電話をコードレス電話機で受けることができます。コードレス電話機で電話を受けるときは、本体の［保留］ボタンを押したあとに、ハンドセットを本体に置いてから、コードレス電話機を充電器から取りあげてください。
コードレス電話機を充電器に置いていないときは、コードレス電話機の［通話］ボタン、または［ハンズフリー］ボタンを押してください。

コードレス電話機で保留にした電話を本体で受けたいとき

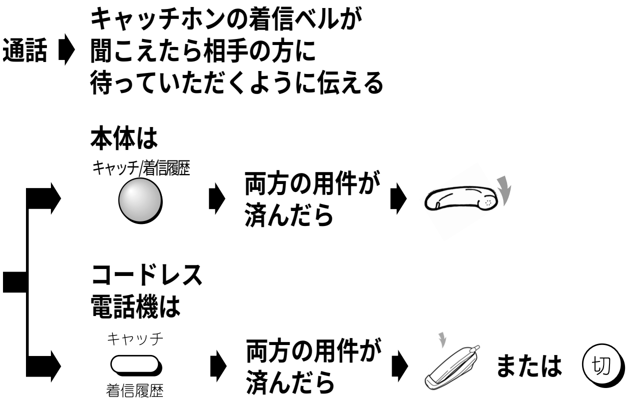
コードレス電話機で保留にした電話を本体（または増設したコードレス電話機）で受けることができます。本体（または増設したコードレス電話機）で電話を受けるときは、コードレス電話機の［内線／ドアホン／保留］ボタンを押したあとに、コードレス電話機を充電器に置いてから本体のハンドセット（または増設したコードレス電話機）を取りあげてください。充電器が近くにないときは、［内線／ドアホン／保留］ボタンを押したあとに、［切］ボタンを押してから本体のハンドセット（または増設したコードレス電話機）を取りあげてください。

- 保留中はコードレス電話機を充電器に置いても通話は切れません。

キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、当社が行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の方からかかってきた電話を取りあげることができるサービスのことです。
また、キャッチホン・ディスプレイをご契約になると、お話し中にかかってきた別の方の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。（➜P82）

- キャッチホンをご利用になるには当社との契約が必要です。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
  またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンの異常ではありませんので、ご了承願います。
- キャッチホンⅡをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと、通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
- お話し中にキャッチホンにより割り込まれた相手の方がファクスの場合は、「ポーポー」という音が聞こえてもノータッチ受信（➜P68）は働きません。手動受信の操作によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方とのお話しに戻ることができません。
  ［キャッチ／着信履歴］ボタンをもう一度押して最初にお話していた方とお話しください。
  なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手の方は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話しを終えられることをお勧めします。



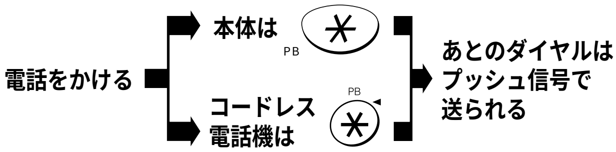
もう一度最初の方とお話しをしたいときは

もう一度［キャッチ／着信履歴］ボタンを押すと、最初にお話していた方とお話しができます。あとからかけてきた方の通話は保留になります。

- キャッチホンが入っていないときに［キャッチ／着信履歴］ボタンを押すと通話が切れてしまいます。

プッシュホンを利用する（DP→PB切替）

ダイヤル回線でご使用の場合でも、相手の方を呼び出したあとに［⚹／PB］ボタンを押すことにより、プッシュホン（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。
プッシュ信号は、本体とコードレス電話機のどちらからでも発信することができます。



〈例〉「１２３」の番号をプッシュ信号で送る場合

［⚹／PB］ボタンを押したあと、［1］、［2］、［3］ボタンを続けて押します。

本体とコードレス電話機でお話しをする（内線電話）

本体とコードレス電話機でお話しをしたり、コードレス電話機どうしでお話しをしたりすること（内線電話）ができます。
内線電話をかけるときは、本体やコードレス電話機に割り当てられている内線番号をダイヤルします。
内線番号は次のとおりです。

電話機	内線番号
本体	1
付属のコードレス電話機（1台目）	2
増設したコードレス電話機（2台目）	3
増設したコードレス電話機（3台目）	4
増設したコードレス電話機（4台目）	5

- 増設できるコードレス電話機については「コードレス電話機の増設」（➜ P103）をご覧ください。

- 本体からコードレス電話機にかけるときに、コードレス電話機が外線（外の方とお話しする通常の電話）で使われているときは、ディスプレイに「ナイセン2　シヨウチュウ」と表示され、内線電話をかけることはできません。
- コードレス電話機から本体にかけるときに、本体が外線（外の方とお話しする通常の電話やファクス）で使われているときは、内線電話をかけることはできません。
- 内線通話中は、本体の受話音量の調節はできません。

ボイスコール機能について

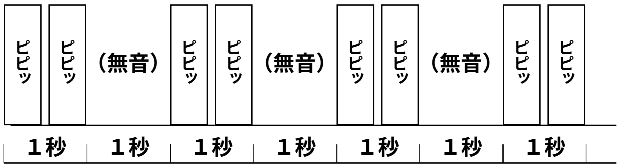
本体からコードレス電話機に内線電話をかけたときに、着信ベルを約3秒間鳴らしてだれも出ないときは、自動的に着信し、スピーカからメッセージを流します。この機能をボイスコールといいます。お買い求め時、ボイスコールは「する」に設定されています。ボイスコールを「しない」に設定することもできます。（➜ P71）
ボイスコールを「しない」に設定している場合は、電話に出るまで着信ベルが鳴り続けます。

- ボイスコールを「する」に設定している場合、ボイスコールが着信したときに、「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）がすることがあります。このようなときはコードレス電話機を本体から離してください。
- コードレス電話機一斉呼出ではボイスコールはできません。

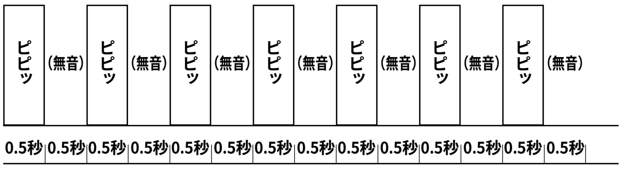
内線電話が入ったときの着信ベルの鳴りかた

内線電話の着信ベルの鳴りかたは、普通の電話（外線）のときと異なります。

<本体>



<コードレス電話機>



本体からコードレス電話機にかける（ボイスコールの設定をしているとき）





本体

1 ハンドセットを取りあげる。

2 [内線]を押してから[2カABC]を押す。

ﾅｲｾﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ?

▼

ﾅｲｾﾝ2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ

コードレス電話機を増設したとき

[内線］ボタンを押してから、コードレス電話機の内線番号（2～5）を押してください。（➔ P40）
[内線］ボタンを押してから、[＊］ボタンを押すと、すべてのコードレス電話機を一斉に呼び出します。

コードレス電話機

1 着信ベルが約3秒間鳴る。

着信／充電ランプと［通話］ボタンが高速で点滅します。着信ベルが約3秒間鳴ると自動的に着信し、着信ベルが止まります。

ﾅｲｾﾝﾁｬｸｼﾝ
1

ボイスコールを「しない」に設定しているとき

充電器からコードレス電話機を取りあげる（充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➔ P74）は［通話］ボタンを押す）まで着信ベルが鳴り続けます。充電器から取りあげてお話しをしてください。

本体

3 呼出ベルが止まったら、お話しをする。

ﾎﾞｲｽｺｰﾙ ﾁｭｳ

相手の方がコードレス電話機を充電器から取りあげたり、[通話］ボタンを押したりしたときは、表示が変わります。

ﾅｲｾﾝ2 ﾄ ﾂｳﾜﾁｭｳ

4 用件が済んだらハンドセットを置く。

コードレス電話機

2 モニタスピーカから相手の方の声が聞こえる。ハンズフリーでお話しをすることができる。

［通話］ボタンと［ハンズフリー］ボタンが点灯します。充電器から取りあげて（または［通話］ボタンを押して）お話しをすることもできます。

ﾅｲｾﾝ
1

3 内線電話が切れる。充電器から取りあげていたときは充電器に置くか、[切]を押す。

［通話］ボタンが消灯します。

• コードレス電話機一斉呼出ではボイスコールはできません。

コードレス電話機から本体にかける





コードレス電話機

1 充電器からコードレス電話機を取りあげ、[切]を押す。

充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているときは、手順2から始めてください。

2 [内線 ドアホン 保留]を押してから[1ア]を押す。

［通話］ボタンが点灯します。

ﾅｲｾﾝﾊｯｼﾝ
1

3 呼出ベルが止まったら、お話しをする。

ﾅｲｾﾝ
1

4 充電器に置くか、[切]を押す。

［通話］ボタンが消灯します。

本体

1 着信ベルが鳴る。

ﾅｲｾﾝ2 ｶﾗ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ

2 ハンドセットを取りあげる。

ハンドセットを取りあげると、表示が変わります。

ﾅｲｾﾝ2 ﾄ ﾂｳﾜﾁｭｳ

3 内線電話が切れる。ハンドセットを置く。

• コードレス電話機から本体を呼び出す場合はボイスコールはできません。

コードレス電話機からコードレス電話機にかける

コードレス電話機	コードレス電話機

1 充電器からコードレス電話機を取りあげ、(切) を押す。

充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているときは、手順2から始めてください。

2 内線 ドアホン (保留) を押してからコードレス電話機の内線番号(2～5)をダイヤルする。

[通話] ボタンが点灯します。

```
ナイセンハッシン
              3
```

本体とすべてのコードレス電話機を一斉に呼び出すには

[内線／ドアホン／保留] ボタンを押してから、[✳] ボタンを押してください。

→ **1 着信ベルが鳴る。**

着信／充電ランプと [通話] ボタンが高速で点滅します。

```
ナイセンチャクシン
               2
```

2 充電器からコードレス電話機を取りあげ、お話しをする。

充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているときは [通話] ボタンを押します。

```
ナイセン
       2
```

← **3 相手の方の声が聞こえたら、お話しをする。**

```
ナイセン
       3
```

4 充電器に置くか、(切) を押す。

[通話] ボタンが消灯します。

→ **3 内線電話が切れる。充電器に置くか、(切) を押す。**

[通話] ボタンが消灯します。

• コードレス電話機からコードレス電話機を呼び出す場合は、ボイスコールはできません。

内線通話の途中で電話がかかってきたとき

本体とコードレス電話機の内線通話中に外線電話が入ると、本体とコードレス電話機から外線電話の着信ベルが鳴ります。コードレス電話機どうしでの内線通話中に外線電話が入ると、コードレス電話機からのみ外線電話の着信ベルが鳴ります。また、内線呼び出し中に外線電話が入ると、内線の呼び出しを中止して、外線電話の着信ベルに変わります。

■本体で外線電話をとるとき

内線通話中 ➧ **外線電話の着信ベルが聞こえたら、相手の方に内線通話を切ることを伝える** ➧ キャッチ/着信履歴 ➧ **外線通話**

• ハンドセットを置いたあと、もう一度、ハンドセットを取りあげて外の人とお話しをすることもできます。

■コードレス電話機で外線電話をとるとき

内線通話中 ➧ **受話口から外線電話の着信ベルが聞こえたら、相手の方に内線通話を切ることを伝える** ➧ キャッチ 着信履歴 ➧ **外線通話**

外線電話を他の電話機に転送する（外線転送）

外線電話を、本体からコードレス電話機に転送したり、コードレス電話機から他の電話機に転送したりすることもできます。外からかかってきた電話を転送することを内線電話で伝えることもできます。

本体からコードレス電話機に転送する（ボイスコールの設定をしているとき）



本体



コードレス電話機

本体

1 外線と通話中に、[内線]を押してから[2]を押す。

ﾅｲｾﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ?

▼

ﾅｲｾﾝ2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ

コードレス電話機を増設したとき

[内線]ボタンを押してから、コードレス電話機の内線番号（2～5）を押してください。（➔P40）
[内線]ボタンを押してから、[✳]ボタンを押すと、すべてのコードレス電話機を一斉に呼び出します。

コードレス電話機

1 着信ベルが約3秒間鳴る。

着信／充電ランプと［通話］ボタンが高速で点滅します。着信ベルが約3秒間鳴ると自動的に着信し、着信ベルが止まります。

ﾅｲｾﾝﾁｬｸｼﾝ
1

ボイスコールを「しない」に設定しているとき

充電器からコードレス電話機を取りあげる（充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➔P74）は［通話］ボタンを押す）まで着信ベルが鳴り続けます。充電器から取りあげてお話しをしてください。

本体

2 呼出ベルが止まったら、ハンドセットを取りあげて電話がかかっていることを伝える。

ﾎﾞｲｽｺｰﾙ ﾁｭｳ ♪♪

相手の方がコードレス電話機を充電器から取りあげたり、［通話］ボタンを押したりしたときは、表示が変わります。

ﾅｲｾﾝ2 ﾄ ﾂｳﾜﾁｭｳ ♪♪

• ボイスコール中にハンドセットを置くと、本体は保留になります。

コードレス電話機

2 モニタスピーカから相手の声が聞こえる。ハンズフリーでお話しをすることができる。

［通話］ボタンと［ハンズフリー］ボタンが点灯します。

ﾅｲｾﾝ
1

3 充電器からコードレス電話機を取りあげる。または[通話]を押す。

［通話］ボタンが点灯します。

本体

3 ハンドセットを置く。

コードレス電話機

4 外線とつながる。

ｶﾞｲｾﾝ
00:35

［通話］ボタンが点灯します。

• コードレス電話機一斉呼出ではボイスコールはできません。

コードレス電話機から本体に転送する



コードレス電話機



本体

コードレス電話機

1 外線通話中に、[内線/ドアホン 保留]を押してから[1]を押す。

［通話］ボタンが低速で点滅します。

ﾅｲｾﾝﾊｯｼﾝ
1

本体

1 着信ベルが鳴る。

ﾅｲｾﾝ2 ｶﾗ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ

本体

2 ハンドセットを取りあげる。

ﾅｲｾﾝ2 ﾄ ﾂｳﾜﾁｭｳ ♪♪

コードレス電話機

2 呼出ベルが止まったら、電話がかかっていることを伝える。

ﾅｲｾﾝ
1

コードレス電話機

3 充電器に置くか、[切]を押す。

［通話］ボタンが消灯します。

本体

3 外線とつながる。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ 0'05"

• コードレス電話機から本体を呼び出す場合はボイスコールはできません。

コードレス電話機からコードレス電話機に転送する

コードレス電話機	コードレス電話機
1 外線通話中に、 内線／ドアホン／保留 を押してから**コードレス電話機の内線番号（2〜5）をダイヤルする。** ［通話］ボタンが点滅します。 ﾅｲｾﾝﾊｯｼﾝ 3	**1 着信ベルが鳴る。** 着信／充電ランプと［通話］ボタンが高速で点滅します。 ﾅｲｾﾝﾁｬｸｼﾝ 2
2 相手の方の声が聞こえたら、電話がかかっていることを伝える。 ﾅｲｾﾝ 3	**2 充電器からコードレス電話機を取りあげてお話しをする。** 充電器に置いていないとき、またはクイック通話を「しない」に設定しているとき（➔P74）は［通話］ボタンを押します。 ﾅｲｾﾝ 2
3 充電器に置くか、 切 **を押す。** ［通話］ボタンが消灯します。	**3 外線とつながる。** ｶﾞｲｾﾝ 00:35

本体とすべてのコードレス電話機を一斉に呼び出すには

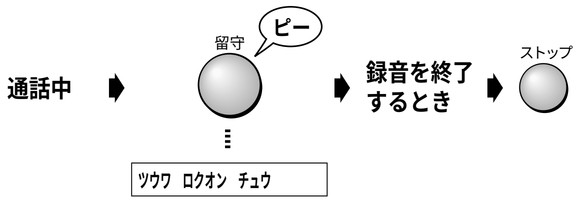
［内線／ドアホン／保留］ボタンを押してから、［＊］ボタンを押してください。

- コードレス電話機からコードレス電話機を呼び出す場合は、ボイスコールはできません。

お話し中の会話を録音する（通話録音）

お話し中の会話を録音することができます。注文受け付けやインタビューなど、メモの代わりにご利用ください。また、録音した用件を相手の方に聞かせることもできます。

- 録音できる時間は最長約15分です。ただし、自分で録音した応答メッセージや留守番電話の用件、受信したファクスのメモリが残っていると、録音できる時間が短くなります。
- 通話録音の1件は留守番電話の用件1件分としてカウントされます。留守番電話の用件と合わせた合計が、約15分または最大30件まで録音できます。
- 留守番電話の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が20秒以内のときは、通話録音できません。
- 内線電話は、通話録音できません。
- コードレス電話機で通話録音することはできません。
- 録音開始時の「ピー」という音は、相手の方にも聞こえます。これは、無断でお話しを録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。



通話を保留したい

通話録音中は保留できません。通話録音を中止してから保留してください。

メモリがいっぱいになった

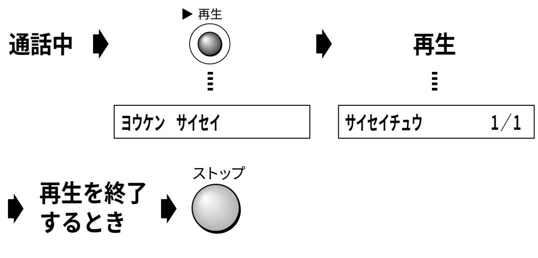
「メモリがいっぱいです」というメッセージが流れます。このとき、本体のディスプレイに“メモリガ　イッパイデス”と表示され、録音が中断されます。

録音した内容を聞きたい

通話録音した内容は、留守番電話の用件を聞くときと同じ操作で、再生したり消去したりできます。
録音された用件を聞く（➔P61）
不要な用件を消去する（➔P62）

お話し中の相手の方に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手の方に聞かせることができます。このとき、留守番電話に録音されている用件があると、その内容も再生されます。



本体で再生中のボタン操作（➔P61）

ファクス／コピーを使う

ここでは、ファクスやコピーの使い方などを説明しています。

ファクス／コピーの前に

読み取れる原稿のサイズと厚さ

1枚だけセットする場合と2枚以上セットする場合では、読み取れる原稿の長さと厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合（幅×長さ）	2枚以上セットする場合（幅×長さ）
最大	257×1 000 mm＊	257×364 mm（B4サイズ）
最小	128×128 mm	128×128 mm
厚さ	0.05～0.15 mm	0.065～0.10 mm

＊コピーの場合はB4サイズまでです。

この取扱説明書本文の紙の厚さは、約0.08 mmです。

そのままでは読み取れない原稿

次のような原稿は、あらかじめ普通紙に複写機でコピーしておくか、ハンドスキャナを使ってください。

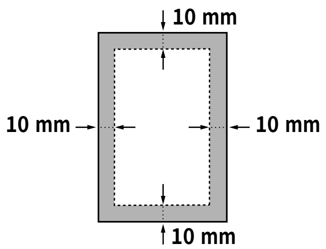
ハンドスキャナを使う（➔ P52）

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○＊
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○
感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○
のりやテープで貼り合わせた紙	○	×
小さすぎる紙（128×128 mm未満）	○	○＊
薄すぎる紙（0.05 mm未満）	○	○＊
厚すぎる紙（0.15 mmを超える）	○	○

＊白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

読み取れる範囲

原稿の縁から10 mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。



原稿セットのしかた

- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
- インク、修正液、のりなどが付いた原稿は、よく乾かしてからセットしてください。
- 幅や厚さが異なる原稿を同時にセットしないでください。紙づまりや送信もれの原因となります。

1 ダストカバーを開ける。

長い原稿をセットするとき　**原稿セットアームを立てます。**

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる。

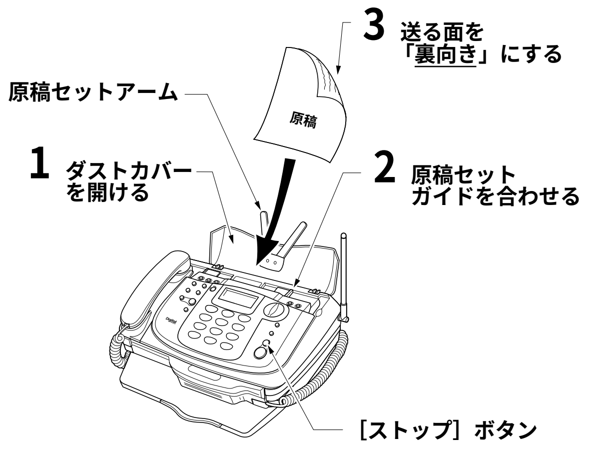
一度にセットできる原稿枚数は、お買い求め時に付属されている記録紙と同じくらいの厚さで10枚までです。
原稿セットガイドは、必ず原稿の幅に合わせてください。原稿が斜めに入ったり、紙づまりの原因になります。

3 原稿を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む。

4 いちばん下の原稿が自動的に引き込まれる。

5 原稿がセットされる。

ファクスを送る（➔ P47）
コピーをする（➔ P51）



セットした原稿を取り除きたい

[ストップ] ボタンを押すと、原稿が排出されます。
無理に原稿を引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく場合があります。

11枚以上の原稿を送りたい

何回かに分けて送ってください。コピーやファクス送信中に原稿を追加すると、紙づまりや送信もれの原因となります。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。（➔ P51）

写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクスしたりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

■画質モードの決めかた

下の表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い求めのとき：**フツウ**

画質モード	原稿の状態
フツウ（普通）	**文字がこのくらいの**
チイサイ（小さい）	**文字がこのくらいの大きさの**
コマカイ（細かい）	**文字がこのくらいの大きさのときに**
シャシン（写真）64階調ハーフトーン	写真のとき 

- 「コマカイ」「シャシン」に設定すると「フツウ」や「チイサイ」に比べ送信に時間がかかります。
  また、黒い部分が多い原稿、色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信時間が長くなります。
- 色地の原稿を送るときは「フツウ」または「チイサイ」に設定してください。「コマカイ」「シャシン」で送ると送信時間が長くなります。
- 「コマカイ」に設定した場合、相手先の機種によっては「チイサイ」で送信することがあります。
- 「シャシン」に設定したとき、白い部分にゴマ模様の記録が出たら、読み取り濃度を薄くしてみてください。

■画質モードを選ぶ

- コピーのときは「フツウ」に設定しても「チイサイ」でコピーされます。

1 原稿をセットする。

フツウ

現在設定されている画質モードが表示されます。

原稿セットのしかた **前ページを参照してください。**

2 画質 を押すごとにモードが切り替わる。

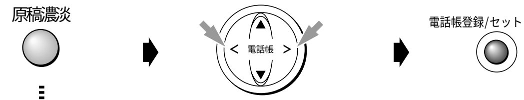
原稿をセットしていない状態で［画質］ボタンを押したときは、2秒以内にもう一度［画質］ボタンを押して画質モードを選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードに設定されます。

フツウ → チイサイ → コマカイ → シャシン →（フツウに戻る）

ファクスやコピーの読み取り濃度を変える

お買い求めのとき：**普通**

用紙に色がついているときや原稿の文字が薄いときなどは、相手の方が読みやすいように読み取り濃度を調整してください。必ず、ファクス送信やコピーの前に設定してください。ファクス送信やコピーが終わったら「普通」（■■■□□）に戻してください。



ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■

どちらかを押すと切り替わる

- **■□□□□：より薄く読み取る（濃い色の原稿）**
- **■■□□□：薄く読み取る（下地に色が付いている原稿や新聞）**
- **■■■□□：普通に読み取る（コピーした原稿や黒ペンで書いた原稿）**
- **■■■■□：濃く読み取る（エンピツで書いた原稿）**
- **■■■■■：より濃く読み取る（薄い色の原稿）**

- 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
  ー青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません）
  ー薄い鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
  ー赤い紙に黒で書かれた原稿（赤色は黒色と同様に読み取るため、まっ黒になってしまいます）
- 受信したファクスが不鮮明なときは、相手先で調整し、送信し直してもらってください。

読み取りの具合を確認したい

ファクス送信をする前にコピーを取って確認してください。
コピーをする（➜P51）

ファクスを送る

いろいろなファクスの送りかたがあります。

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- 相手先がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送信すると、A4サイズに縮小して送信されます。
- 相手の機種によっては送信時間が長くかかることがあります。

ファクスを自動で送る（自動送信）

原稿セット ➡ 画質（画質モードを選ぶ） ➡ 相手の電話番号 ➡ スタート／コピー ➡ 送信 ➡ 送信完了

番号を押し間違えたら ［クリア］ボタンを押し、最初からやり直してください。

電話帳ダイヤルを使って相手先を選びたい

相手の電話番号を入力する代わりに［▼］または［▲］を押して相手先を選びます。
電話帳ダイヤルでかける（➡ P32）

途中で送信をやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。もう一度押すと、原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

“ サイハッコ　マチ　1カイメ ” と表示された

オートリダイヤルが働き、3分間隔で2回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。

自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせる

発信元記録（ ➡ P67）

海外にファクスを送りたい

海外にファクスを送るとき（ ➡ P70）

相手の方とお話ししてから送る（手動送信）

原稿セット ➡ 電話をかける ➡ 通話 ➡ 相手が受信操作 ➡ スタート／コピー ➡ 

送信したあと、続けてお話しをしたい ハンドセットを置かないでください（相手の方も）。

相手の方が受信操作するより先に［スタート／コピー］ボタンを押した

相手の方が受信操作をすれば送信できます。

ハンドセットから「ピーヒョロヒョロ」という音がした

相手先が自動受信（ファクスだけを受信する状態）になっています。［スタート／コピー］ボタンを押してください。

原稿をメモリに読み込んでから送る（メモリ送信）

原稿をいったんメモリに読み取ってから、ファクスを送ることができます。自動送信、手動送信に比べて原稿を読み取る速度が速く、送信が完了するまで待つ必要がありません。

1 原稿をセットする。

フツウ

現在の画質の設定（➡P46）が表示されます。
原稿セットのしかた（➡P45）

2 相手の電話（ファクス）番号をダイヤルする。

0397654321_

ハンドセットを置いたまま本体のダイヤルボタンでダイヤルします。電話番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

番号を押し間違えたら **最初から入力し直したいときは、［クリア］ボタン、または［ストップ］ボタンを押します。間違えたところだけを直したいときは、［<］ボタン、［>］ボタンでカーソルを動かして入力し直してください。**

3 メモリ送信 を押す。

メモリランプが点灯し、原稿の読み取りが始まります。

原稿の読み取りが終わると、送信が始まります。

送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

アイテ:0397654321
ゲ゛ンコウヨミトリチュウ　P01
▼
ハッコマチ
▼
ダ゛イヤルチュウ
▼
アイテ:0397654321
▼
0397654321
メモリソウシンチュウ　　P01

- 電話帳ダイヤル（➡P32）、再ダイヤル（➡P31）も使えます。また、ナンバー・ディスプレイご契約時には、蓄積番号発信（着信履歴）を使うこともできます。（➡P81）
- ディスプレイに相手の名前（電話帳ダイヤルに登録されている場合）や電話番号が表示されます。ディスプレイには、12文字まで表示できます。13文字以上のときは後ろの部分を表示します。
- 送信が終わったら、ダストカバーを閉じてください。
- 途中で原稿の読み取りや送信をやめたいときは、［ストップ］ボタンを押してください。
- 自動送信、メモリ送信の場合に相手先がお話し中のときは、約3分間隔で2回まで自動的にダイヤルし直します。
- 送信できなかったときは、不達レポートがプリントされます。（➡ P48）

■原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

「ピーピーピーピーピー」という音がして、何ページ目の読み取り中にメモリがいっぱいになったかをディスプレイに表示します。

約5秒後に、メモリに読み取った原稿のみを送信するかどうかの選択画面が表示されます。

メモリ フル　　　P05

▼（約5秒後）

04ペ-ジ　ソウシンシマス

- 読み取った原稿のみを送信するとき
  ［スタート］ボタンを押すと、メモリに読み取ったページまでが送信されます。メモリフルが発生したページ（左のディスプレイ表示例では5ページ目）は送信されません。
  約60秒間何も操作せずにいると、自動的に送信が始まります。

ゲンコウヲ　トッテクダサイ

- 読み取った原稿も含めて送信をやめるとき
  ［ストップ］ボタンを押します。
  もう一度［ストップ］ボタンを押して、原稿を排出してください。

- メモリには、「フツウ」モード（➔ P46）で、A4判に約700字の文字が書かれた原稿を最大約20枚記憶することができます。
- 1ページ目の読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、「ゲンコウヲ　トッテクダサイ」とディスプレイに表示されます。
  ［ストップ］ボタンを押して、原稿を排出してください。
- 送信できなかった原稿があるときは、メモリが空くのを待って送信し直すか、メモリ送信以外で送信してください。（➔P47）

送信できなかったとき（不達レポート）

送信できなったときは自動で不達レポートがプリントされます。

プリント例

フタツ　レポ゜ート

2000. 11. 9　12:06

カイシャ

ツウシン カイシ ニチジ゛	ツウシン ジ゛カン	ア イ テ サ キ	モート゛	マイスウ	ツウシン ケッカ
11. 9 12:06	0'16"	カゾ゛ク	03	0	ツウシン イジ゛ョウ

ツウシン　ケッカ
ツウシン　イジ゛ョウ

通信結果の意味

ハナシチュウ
- 相手先が通話中である

ヨビダシ
- 相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

チュウダン
- 通信中に（自分が）中断をした

ムオウトウ
- 相手先が受信できない状態になっている
- 相手先が電話に出ない
- 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線しているおそれがある

シウシン　イジョウ
“ツウシン　イジョウ”が表示されたとき（➔P96）

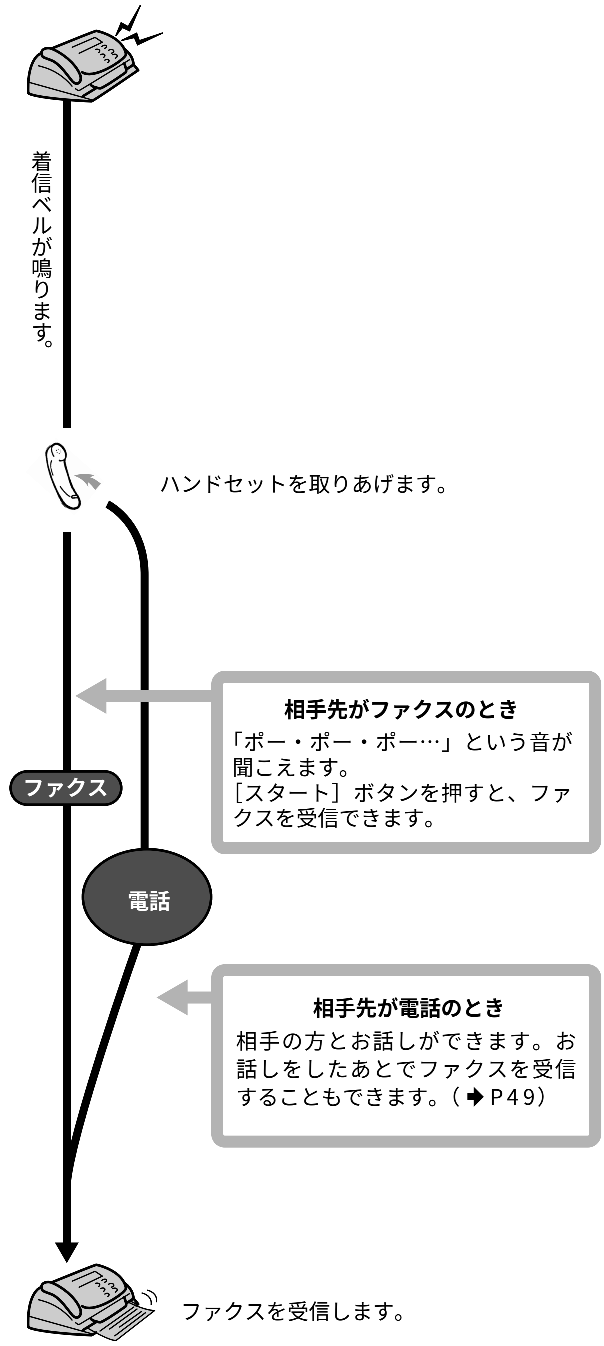
- 不達レポートを出力「する」「しない」を設定できます。（➔P70）

ファクスを受ける

ファクスは、設定によって自動で受信したり、お話しのあとに手動で受信することができます。

- **受信した文書は、記録紙スタッカに10枚以上ためないでください。また、記録紙カセットのカバーに、シールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。**

手動受信モード



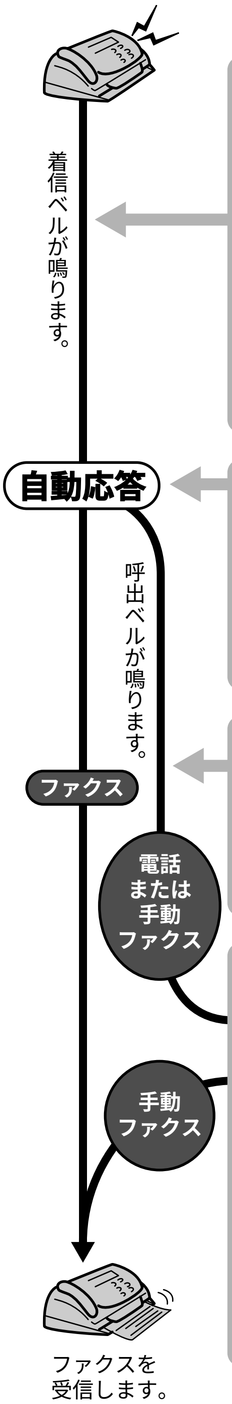
- 着信ベル回数は、1〜19回、無制限（手動受信モード）に設定できます。0回にしたいときは、無鳴動着信を設定します。（➔P68、69）
- お買い求め時は、ノータッチ受信を「する」に設定されているのでハンドセットを置くだけで受信することができます。（➔P68）

自動で受ける（ファクス／電話自動切替）

お買い求めのとき：**ファクス／電話自動切替しない**

本商品が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信します（自動受信）。電話のときは着信ベルが鳴ります。

ファクス／電話自動切替のしくみ



この間にハンドセットを取りあげたら
- **電話のとき……**
  そのままお話しができます。
- **ファクスのとき……**
  「ポー・ポー…」という音が聞こえたあとメッセージが流れます。ハンドセットを置くとファクスを受信します（ノータッチ受信を「する」に設定しているとき）。
- **無音のとき……**
  ファクスの場合があります。手動受信を行ってください。
  （➡ 本ページ右側）

着信ベルが設定回数鳴ったら

自動的に回線を接続し、相手先が電話かファクスか判断します。「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください」という内蔵メッセージが流れます。この時点から相手の方に通話料金がかかります。

- **電話のとき……**
  この間にハンドセットを取りあげれば、お話しができます。
- **手動ファクスのとき……**
  相手の方が送信操作をすれば、受信します。

呼出ベルが設定回数鳴ったら

「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方はおそれ入りますが、のちほどおかけ直しください」という内蔵メッセージのあと、信号音が約30〜40秒流れます。
- **電話のとき……**
  回線が切れます。
- **手動ファクスのとき……**
  相手の方が送信操作をすれば、受信します。

※上記内蔵メッセージは変更・消去できません。

- 「留守」にセットしたときは、電話のつながりかたや着信ベルの鳴りかたが異なります。
  「留守」をセットすると（➡ P60）
- 電話がつながると、相手の方に聞こえる呼出ベルが少し変わり、ここから相手先に通話料金がかかります。
  また、つながった時点でメッセージを流します。
  電話をかけてきた相手先にメッセージを流す（➡ P70）

着信ベル／呼出ベルの回数を変えたい

着信ベル回数を変える（➡ P68）
呼出ベル回数を変える（➡ P69）

着信ベルを鳴らさないで受信したい

無鳴動着信（➡ P69）

自動切替をやめたい

いつも電話で受けたい方…*電話モード（➡ P69）*
いつもファクスで受けたい方…*ファクス専用モード（➡ P69）*

メモリオーバによる通信異常が多発するとき

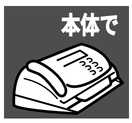
本商品は、ファクス受信中にインクリボンや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバとなり受信できません。このようなことが頻繁に起こるときは、以下の操作を行ってください。
- **不要な用件を消去する（➡ P62）**
- **メモリ受信「しない」に設定する（➡ P71）**

手動で受ける（手動受信）

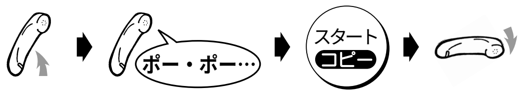
ノータッチ受信を「しない」に設定したときは、手動で受信してください。

ノータッチ受信とは…

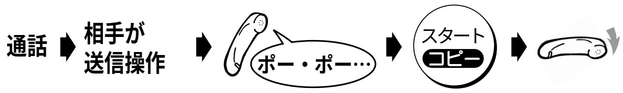
電話に出たとき、相手先がファクスだった場合には「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。メッセージに従いハンドセットを置くと、自動的にファクスを受信できる機能です。
ただし、以下の場合には、ノータッチ受信はできません。手動で受信してください。
- 相手先が無音のとき
- こちらから電話をかけたとき



■ファクスがかかってきたとき



■お話しをしてから受信するとき



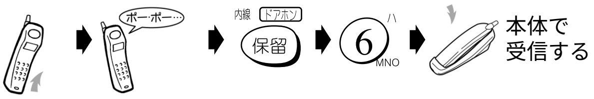
受信したあと、続けてお話しをしたい ハンドセットを置かないでください（相手の方も）。

- **受信した文書はいったんメモリに蓄積しながらプリントしています。続けてお話しすると、メモリプリントの動作音がハンドセットから聞こえることがありますが、故障ではありません。**

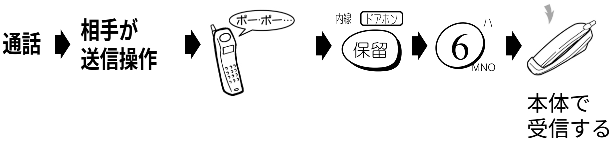


- 受信したあと、続けてお話しをすることはできません。

■ファクスがかかってきたとき



■お話しをしてから受信するとき



「ポー・ポー…」という音が聞こえない

相手の機種によっては聞こえないことがあります。手動受信を行ってみてください。
手動で受ける（➧ P49）

「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れる

「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ノータッチ受信が働いています。自動でファクスを受信しますので、ハンドセットを置いてください。お買い求め時はノータッチ受信を「する」に設定されています。
ノータッチ受信（➧ P68）

相手先が送信する前に受信操作をした

相手先が送信操作をすれば、受信できます。

送られてきた文書をメモリが記憶する（メモリ代行受信）

以下の場合はメモリが代わって受信します。

- 記録紙がセットされていない
- 記録紙がつまっている
- インクリボンがない
- カバーが開いている

- メモリの残りが少ないと、文書を記憶できないことがあります。
- メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信できません。不要な用件などを消去してください。
  不要な用件を消去する（➧ P62）

メモリ代行受信されると、ディスプレイには下記のように表示されます。

表示例

普通紙モードのとき	感熱紙モードのとき
フツウシヲ イレテクダ サイ	カンネツシヲ イレテクダ サイ
↕ 交互に表示	↕ 交互に表示
メモリジ ュシンブ ンショ アリ	メモリジ ュシンブ ンショ アリ

記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりを直すと、自動的にプリントされます。

記憶できる文書量

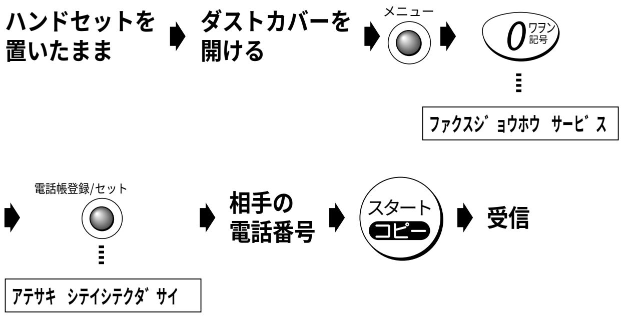
相手先が画質モードを「普通」で送信したとき、A4（700文字程度）の原稿を約20枚（最大10文書）記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

ファクス情報サービスを利用する

いろいろな情報をファクスで取り寄せることができます。

- ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

■ポーリング方式のとき



ポーリング方式とは…

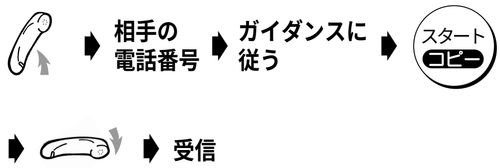
- 相手先にあらかじめ用意されている原稿を、こちらから操作して受信する機能です。

■ガイダンス方式のとき

ガイダンス方式には、次の2つの利用方法があります。

- ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力する方法
- ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法

利用するファクス情報サービスの指示に合わせて入力してください。



ダイヤル回線を使っている

情報番号などをプッシュ信号で入力する必要があるときは、プッシュ信号に切り替えてください。
プッシュホンを利用する（➧ P39）

コピーをする

- プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。記録紙づまりの原因となります。
- 原稿は自動的に排出されますので、無理に引き抜かないでください。

■1部コピーしたい〈シングルコピー〉

1 記録紙スタッカを引き出す。

2 原稿をセットする。

3 画質 を押し、画質モードを選ぶ。

4 スタート コピー を押す。

この状態で約5秒間なにも操作をしないと、自動的にコピーを開始します。

5 もう一度 スタート コピー を押す。

`ｺﾋﾟｰﾁｭｳ P01`

■2部以上コピーしたい〈マルチコピー〉

1 記録紙スタッカを引き出す。

2 原稿をセットする。

3 画質 を押し、画質モードを選ぶ。

4 スタート コピー を押す。

`ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ = 01`

5 ダイヤルボタンを押し、コピー部数を入力する。

`ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ = 03`

コピー部数

2～30部まで入力できます。
入力後、約5秒間なにも操作をしないと、自動的にコピーを開始します。

6 スタート コピー を押す。

`ｹﾞﾝｺｳﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ P01`

⋮

`ｺﾋﾟｰﾁｭｳ P01`

B4の原稿をコピーすると

A4に縮小してコピーされます。

A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合

定型を超えた部分はプリントされません。原稿が縦方向に長い場合は、ハンドスキャナを使い、何回かに分けてコピーしてください。
ハンドスキャナを使う（➔P52）

途中でコピーをやめたい

[ストップ］ボタンを押してください。

コピーしてはいけないもの

法律によりコピーが禁じられているものもあります。コピーするだけでも罰せられることがありますので、以下の点に注意してください。

法律により禁止されているもの
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券はコピーすることを禁止されています。たとえ見本の印が押してあってもコピーすることはできません。
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- 模造許可をとらないかぎり、政府発行の未使用郵便切手、官製はがき類はコピーすることを禁止されています。
- 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規制されている証券類のコピーも禁止されています。

著作権のあるもの
- 著作権の目的となっている書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

その他注意を要するもの
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは、事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

ハンドスキャナを使う

ここでは、ハンドスキャナを使ったコピーやファクスの使いかたを説明しています。

ハンドスキャナでの原稿の読み取りについて

本などのとじられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンドスキャナを使ってコピーしたり送信したりすることができます。さらに、コピーしたいものが本商品の近くになくても、コードを取り外してコードレスハンドスキャナとして使うこともできます。また、拡大や縮小もすることができます。

- 本商品の記録紙はA4サイズのため、B4サイズ幅の原稿をコピーするときは縮小してください。(➜P59)
- コードが付いている場合は、ハンドスキャナを使って原稿を読み取るとき、メロディ音が流れます(流さないようにすることもできます)。(➜P59)
  コードレスで使用する場合は、メロディ音が流れません。
- コードレス使用時のメモリ容量は、文字モード時はA4標準原稿(文字が約700文字の原稿)で約12枚、写真モード時はA4サイズで約1枚です。
- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないようにご注意ください。
- 原稿読み取り部は汚さないでください。汚れたら掃除をしてください。(➜P94)
- ハンドスキャナは、原稿読み取り部としても働きます。使用しないときはハンドスキャナを必ず戻してください。戻すときは、ハンドスキャナのコードを挟まないように注意してください。断線の原因となります。
- コピーしてはいけないものがあります。(➜P51)

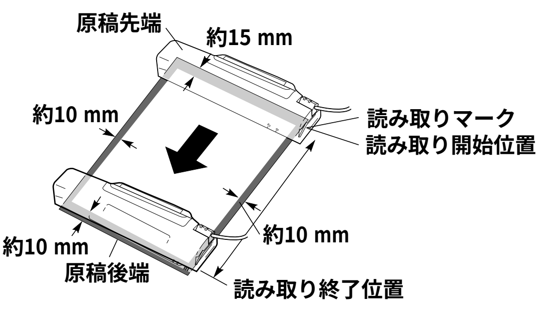
読み取り幅と読み取り長さ

		コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅		250 mm(B4サイズ)	250 mm(B4サイズ)
最大読み取り長さ	コード付使用時	無制限(記録紙がなくなるまで)	無制限*(メモリがいっぱいになるまで)
	コードレス使用時	無制限*(メモリがいっぱいになるまで)	

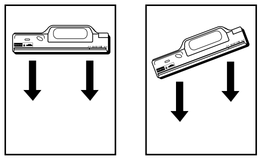
*原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

原稿の読み取り

- **原稿の先端に合わせて読み取りをすると図の　　の部分は読み取れないことがあります。**



- **ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めに動かすとうまく読み取れません。**



- **ハンドスキャナを通常の読み取り方向と逆に動かすと、鏡に映したようになります。**

- 色がついた原稿や文字が薄い原稿などの場合は、ハンドスキャナを外す前に読み取り濃度を設定してください。(➜P46)
- 次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。
  - 表面に凹凸のある原稿
  - コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
  - 表面が汚れている原稿
  - インク、修正液、のりなどが乾いていない原稿
- フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置いてから読み取るようにしてください。

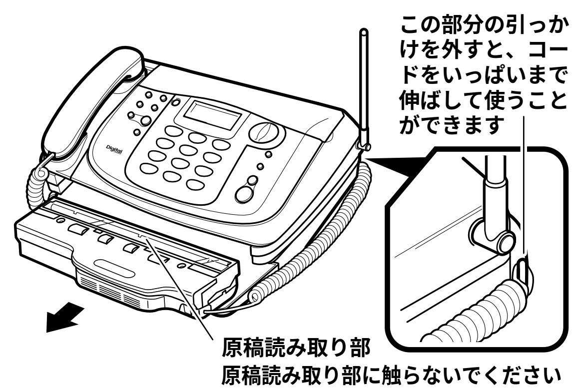
ハンドスキャナの取り外しと取り付けかた

ハンドスキャナはコードを付けたままでも、コードを外しても使うことができます。

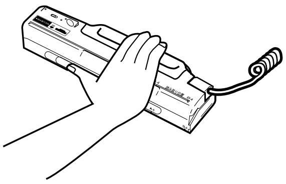
- 使用しないときは必ず本体に取り付けてください。本体のファクスやコピーなどの機能が使えなくなります。
- コードレスで使用したあとは、動作中ランプが消灯しているのを確認し、ハンドスキャナ用コードを接続してから本体に取り付けてください。接続しないままだとファクスやコピーなどの機能が使えなくなるほか、ハンドスキャナの充電もされません。

■取り外しかた

1　ハンドスキャナを矢印方向に引き抜く。

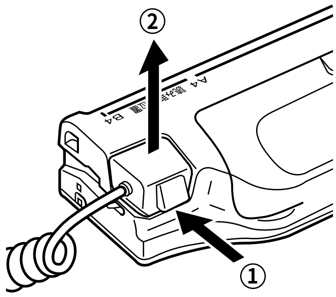


2　裏返して原稿読み取り部を下に向ける。



3　コードレスで使用する場合は、ハンドスキャナ用コードを外す。

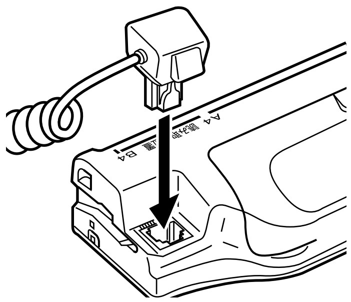
①のボタンを押しながら、②の方向へ引き抜きます。



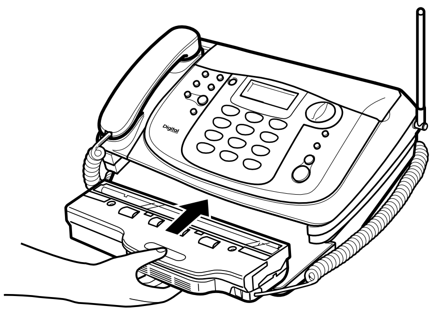
■取り付けかた

1　コードレスで使用していた場合は、ハンドスキャナ用コードを取り付ける。

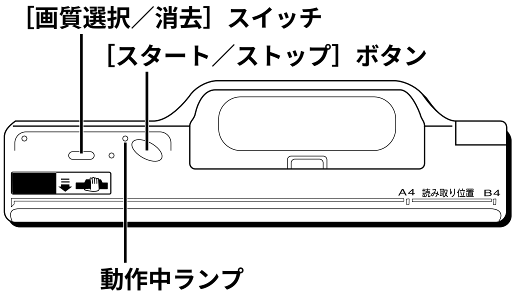
動作中ランプが消灯しているのを確認してから、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



2　原稿読み取り部を上に向けて、本体に押し込む。



コードを付けたままでコピーする



1　ハンドスキャナを外して裏返す。

ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ　A4→A4

拡大／縮小の設定（➔P59）

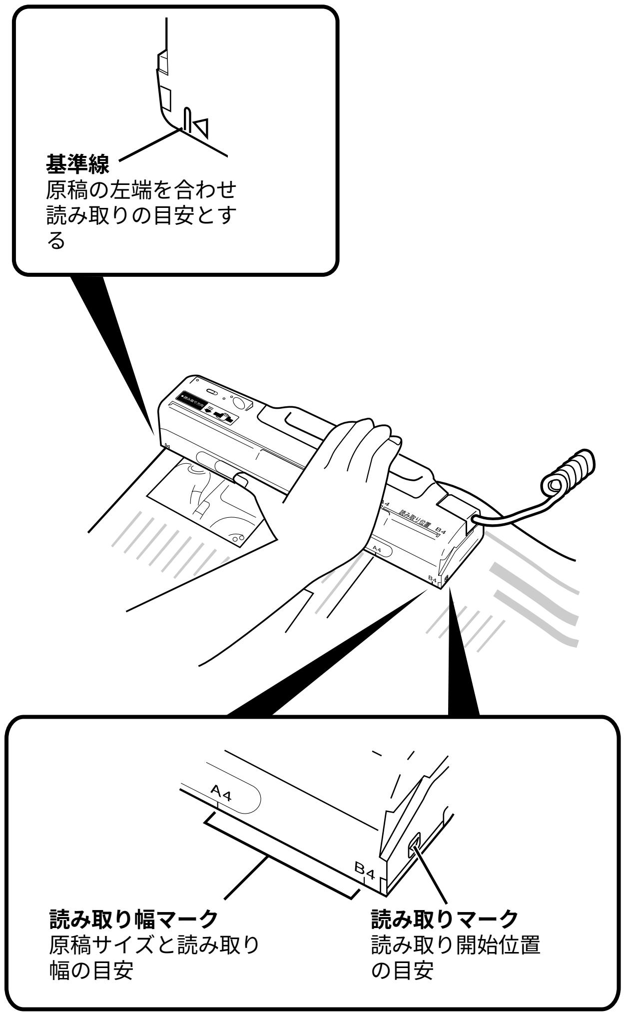
2　ハンドスキャナの［画質選択／消去］スイッチを切り替えて、画質モードを選ぶ。

- 文字：文字原稿のとき
- 写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

このとき本体の［画質］ボタンは使用できません。

3　ハンドスキャナを原稿の上に置く。

原稿の左端にハンドスキャナの基準線を合わせ、上端に読み取りマークを合わせます。端から約10～15 mmは読み取れないことがあります。
その分外側に合わせてください。



1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 ファクス／コピーを使う
4 ハンドスキャナを使う
5 留守番電話として使う
6 より便利に使う
7 ナンバー・ディスプレイを使う
8 ダイヤルインを使う
9 こんなときには

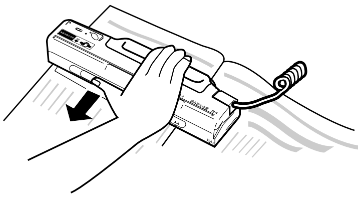
4 ハンドスキャナの（スタート／ストップ）または本体の（スタート コピー）を押す。

`ｺﾋﾟｰﾁｭｳ　A4→A4`

ハンドスキャナの動作中ランプが点灯します。

5 ハンドスキャナを矢印の方向に動かす。

ハンドスキャナの上端に表示されている矢印の方向に動かしてください。



6 読み取りが終わったらハンドスキャナの（スタート／ストップ）または本体の（ストップ）を押す。

プリントが終わるまでしばらくお待ちください。
ハンドスキャナの動作中ランプが消灯したあと、プリントが終わります。

7 ハンドスキャナを戻す。

`11/ 9 12:06　　0`

原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。

- ブザーが鳴り、「メモリ　フル」と表示されたときは読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。
- ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
- ［ストップ］ボタンを押さずにハンドスキャナを戻すと、ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。
- ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。
  コピー、送信等の機能が使えなくなります。

こんなときは

- **メロディを流したくないときは（➔P59）**
- **コピー中に電話がかかってきたとき**
  ハンドセットを取りあげるとお話しができます。

メロディについて

- **ふつうの速さのメロディのときは正常に読みとれます。また、もっと速くハンドスキャナを動かせます。**
- **速いメロディのときは正常に読み取れますが、これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。**
- **「ピッピッピッ…」という音のときは、正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ることがあります。**

コードを付けたままで送信する

1 ハンドスキャナを外して裏返す。

`ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ　A4→A4`

2 ハンドスキャナの［画質選択／消去］スイッチを切り替えて、画質モードを選ぶ。

- 文字：文字原稿のとき
- 写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

このとき本体の［画質］ボタンは使用できません。

3 相手の電話番号をダイヤルする。

`0697654321_`

4 ハンドスキャナを原稿の上に置く。

5 本体の（スタート コピー）を押す。

ハンドスキャナの動作中ランプが点灯します。

6 ハンドスキャナを矢印の方向に動かす。

ハンドスキャナの上側に表示されている矢印の方向に動かしてください。動かすと、メロディが流れます。（➔P59）
読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントされます。
「ピー、ピー、ピー…」という音がしたときはメモリはいっぱいです。読み取ったところまでプリントされます。

7 読み取りが終わったら本体の（ストップ）を押す。

`1ｿｳｼﾝ　2ﾄﾘｹｼ　3ﾂｷﾞ`

プリントが終わるまでしばらくお待ちください。ハンドスキャナの動作中のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

8 プリント内容を確認する。

もう一度読み取り直したいときは、［2］（トリケシ）を押し、「ショウキョ　シマシタ」→「ヨミトリマチ　A4→A4」と表示されたら、手順4からやり直してください。
複数枚の原稿を送信したいときは、［3］（ツギ）を押し、「ヨミトリマチ　A4→A4」と表示されたら、手順4に戻って読み取り操作をしてください。
2枚目以降の読み取り時は、手順5、7で、ハンドスキャナの［スタート／ストップ］ボタンを押すこともできます。
送信をやめたいときは、［ストップ］ボタンを押してください。

9 1 を押す。

送信を開始します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ

◆交互に表示

ｱｲﾃ:0697654321

10 **ハンドスキャナを戻す。**

11/ 9 12:06 0

原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。ハンドスキャナの送信は中断されません。

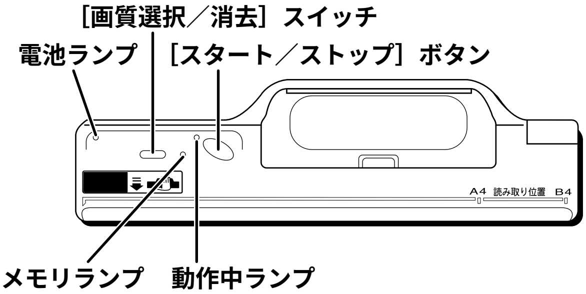
- B4サイズの原稿を等倍で送信することはできません。相手の機種がB4サイズの記録紙を使用している場合でも、B4サイズの原稿はA4サイズに縮小して送信されます。
- ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
- 送信が終わるとメモリの内容は消去されます（コードレスで読み取った原稿は消去されません）
- ハンドスキャナを使う場合、電話でお話しをしたあと、続けて送信することはできません。
- 送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。
- ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。コピー、送信等の機能が使えない場合があります。
- 記録紙がセットされていない場合や、記録紙づまりなどでプリントが正常に終了しなかった場合は送信はできません。

こんなときは

- **メロディを流したくないときは（➜ P59）**
- **相手先がお話し中のときは、3分間隔で2回まで自動的にかけ直します（オートリダイヤル）。2回かけ直しても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートがプリントされます。（➜ P48）**
- **途中で送信をやめるときは［ストップ］ボタンを押してください。**

コードレスでコピーする（自動プリント）

- コードレスで使用可能な時間は約1時間です（フル充電時)。
- 電池ランプが点滅したら、電池の容量が少なくなっています。作業を終了し、ハンドスキャナ用コードを接続してください。
- 電池ランプが点灯しないときはコードレスでコピーできません。コードを付けたままコピーしてください。
- コードレスでコピーした原稿はメモリに記憶され、消去操作（➜ P58）を行わないかぎり消去されません。



1 **ハンドスキャナを外して裏返す。**

ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ A4→A4

拡大／縮小するときは、ハンドスキャナ用コードを取り外す前に設定してください。（➜P59）

2 **ハンドスキャナ用コードを外す。**

ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ｺｰﾄﾞﾚｽ

3 **［画質選択／消去］スイッチを切り替えて画質モードを選ぶ。**

- 文字：文字原稿のとき
- 写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

4 **ハンドスキャナを原稿の上に置く。**

5 スタート／ストップ **を押す。**

動作中ランプが点灯します。

6 **ハンドスキャナを矢印方向に動かす。**

ハンドスキャナ上側に表示されている矢印の方向に動かしてください。
コードレスで使用しているときはメロディが流れません。
「ピッピッピッ…」という音が鳴ったときは、正常に読みとれますが、これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
「ピー」という音が鳴ったら、正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ったりすることがあります。

7 **読み取りが終わったら** スタート／ストップ **を押す。**

メモリへの書き込みが終わると、動作中ランプが消灯します。
続いて、次の原稿を読み取るときは手順3に戻って操作してください。

（次ページへ続く）

8 動作中ランプが消灯したらハンドスキャナ用コードを取り付ける。

動作中ランプが点灯し、新しく読み取った原稿が自動的にプリントされます（自動プリント）。
動作中ランプが消灯したあと、プリントが終わります。

```
ｼﾝｷ ﾖﾐﾄﾘﾃﾞｰﾀ:02
```
▼
```
ｼﾝｷﾍﾟｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
             01/02
```
プリント中のページ数
メモリに記憶されている原稿枚数

動作中ランプが点灯しているときにコードを取り付けると、最後に読み取った原稿がメモリに記憶されず、コピーできません。

9 ハンドスキャナを戻す。

```
11/ 9 12:06    0
```

原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。

- ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
- 画質モードを選ぶ際には、[画質選択／消去] スイッチを「カチッ」とロックされる位置に合わせてください。中間の位置にあると、読み取った原稿データが消去されてしまう場合があります。
- 読み取りを行い、NTTFAX P-261DCL本体の電源がOFF時にハンドスキャナにコードを取り付けた場合、本体の電源をONにすると、約10秒後に自動プリントされます（読み取りデータがない場合、電源ON時「シンキヨミトリデータ：ナシ」と表示後、[ストップ] ボタンを押すか、約8秒待てば待機状態に戻ります）。

こんなときは

メモリランプが点滅したときはハンドスキャナのメモリがいっぱいになり、原稿を読み取ることができません。メモリに記憶されている原稿を消去してから、再度読み取ってください。

メモリに記憶されている原稿を送信する

コードレスでコピーした原稿は、メモリに記憶されます。このメモリに記憶された原稿を送信することができます。メモリ内の原稿は消去操作（➔ P58）を行わないかぎりメモリ内に残っているので、以前に読み取った原稿もメモリに記憶されていれば送信できます。

1 送信したい原稿をコードレスでコピーする。（➔ P55）

コピーが終わったら、コードを接続してハンドスキャナを戻してください。新しく読み取った原稿が自動的にプリントされます（自動プリント）。
すでにメモリに記憶されている原稿を送信する場合は、手順2へ進んでください。

2 [メニュー] を押す。

```
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 [8 ヤ TUV] を押す。

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ｷﾉｳ
```

4 [電話帳登録/セット] を押す。

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅﾍﾟｰｼﾞｼﾃｲ
1ｼﾝｷ 2ｽﾍﾞﾃ 3ｼﾃｲ
```

メモリに記憶されている原稿によって下の行のメニューが変わります。
- [1]（シンキ）：直前に読み込んだ原稿を送信するとき
- [2]（スベテ）：メモリに記憶されている原稿をすべて送信するとき
- [3]（シテイ）：メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定して送信するとき

5 [1 ア]、[2 カ ABC]、[3 サ DEF] のいずれかを押して、送信する原稿を選択する。

```
ｼｭﾂﾘｮｸｻｷ
1:ｷﾛｸ 2:ｿｳｼﾝ
```

ここで［3］（シテイ）を選んだ場合は、「ページ指定のしかた」（➔ P57）をご覧になり、原稿を選んでください。

6 [2 カ ABC] を押す。

```
ｱﾃｻｷ ｼﾃｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

7 相手の電話番号をダイヤルする。

```
0697654321_
```

8 [スタート コピー] を押す。

送信を開始します。送信を確認したらメモリを消去してください。（➔ P58）

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
```
⇕ 交互に表示
```
ｱｲﾃ:0697654321
```

ページ指定のしかた

手順5で「3シテイ」を選んだときは、メモリに記憶されている原稿のうち何枚目の原稿を送信するかを指定する必要があります。
[3]を押すと次のような画面になります。原稿は先に読み込んだ順番に01、02、03…の番号が割り当てられます。例えば5枚の原稿がメモリに記憶されていて、その3枚目を送信する場合は、次のように原稿を指定します。

```
ｼﾃｲﾍﾟｰｼﾞ： 01/05
```

送信する原稿（01） / メモリに記憶されている原稿枚数（05）

例：3ページ目を指定するとき

1 [3 サ DEF] を押す。

2 [電話帳登録/セット] を押す。

- 押したあと、手順6の操作をします。
- メモリに記憶されている原稿枚数より多い数を指定した場合、表示がもとに戻ります。ページ指定をやり直してください。

- B4サイズの原稿を等倍で送信することはできません。相手の機種がB4サイズの記録紙を使用している場合でも、B4サイズの原稿はA4サイズに縮小して送信されます。

メモリに記憶されている原稿をプリントする

ハンドスキャナのメモリに記憶されている原稿をプリントすることができます。すべてをプリントしたり、ページを指定してプリントしたりすることもできます。

1 [メニュー] を押す。

```
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

2 [8 ヤ TUV] を押す。

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ｷﾉｳ
```

3 [電話帳登録/セット] を押す。

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅﾍﾟｰｼﾞｼﾃｲ
1ｼﾝｷ 2ｽﾍﾞﾃ 3ｼﾃｲ
```

メモリに記憶されている原稿によって下の行のメニューが変わります。

- [1]（シンキ）：直前に読み込んだ原稿をプリントするとき
- [2]（スベテ）：メモリに記憶されている原稿をすべてプリントするとき
- [3]（シテイ）：メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定してプリントするとき

4 [1 ア]、[2 カ ABC]、[3 サ DEF] のいずれかを押して、プリントする原稿を選択する。

```
ｼｭﾂﾘｮｸｻｷ
1:ｷﾛｸ 2:ｿｳｼﾝ
```

ここで[3]（シテイ）を選んだ場合は、「ページ指定のしかた」（➡本ページ下）をご覧になり、原稿を選んでください。

5 [1 ア] を押す。

プリントが始まります。
プリントを確認したらメモリを消去してください。
（➡ P58）

ページ指定のしかた

手順4で「3シテイ」を選んだときは、メモリに記憶されている原稿のうち何枚目の原稿をプリントするかを指定する必要があります。
[3]を押すと次のような画面になります。原稿の先に読み込んだ順番に01、02、03…の番号が割り当てられます。例えば5枚の原稿がメモリに記憶されていて、その3枚目をプリントする場合は、次のように原稿を指定します。

```
ｼﾃｲﾍﾟｰｼﾞ： 01/05
```

プリントする原稿（01） / メモリに記憶されている原稿枚数（05）

例：3ページ目を指定するとき

1 [3 サ DEF] を押す。

2 [電話帳登録/セット] を押す。

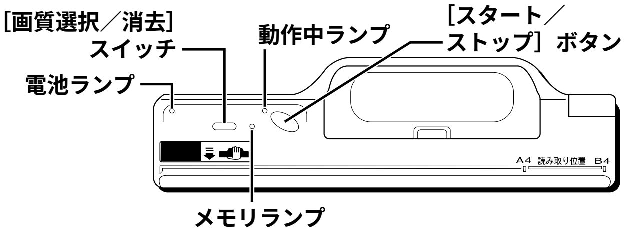
- 押したあと、手順5の操作をします。
- メモリに記憶されている原稿枚数より多い数を指定した場合、表示がもとに戻ります。ページ指定をやり直してください。

- ハンドスキャナのメモリになにも記憶されていないときは、プリントできません。

メモリに記憶されている原稿を消去する

コードレスで読み取った原稿は、プリントや送信が終わっても自動的に消去されません。保存しておく必要のない原稿は、次の手順で消去してください。消去はハンドスキャナ／本体どちらでもできます。

ハンドスキャナで消去する



- 消去はコードを接続した状態、コードレスの状態のどちらでもできます。
- コードを接続した状態のときは本体が待機中に行ってください。

1 [画質選択／消去] スイッチを「消去」にする。

2 ハンドスキャナの スタート／ストップ を「ピッ」、さらに「ピー」と音がするまで押し続ける。

「ピー」と音が鳴ると消去が完了します。動作中ランプとメモリランプが消灯します。
本体の［スタート／コピー］ボタンでは、本操作はできません。
ハンドスキャナを使用しないときは本体に戻してください。

本体で消去する

1 メニュー を押す。

キノウセンタク シテクダ゛サイ

2 8 ヤ TUV を押す。

ハンド゛スキャナ キノウ

3 電話帳登録/セット を押す。

ハンド゛スキャナペ゛ージ゛シテイ
1シンキ 2スベ゛テ 3シテイ

メモリに記憶されている原稿によって下の行のメニューが変わります。

4 メニュー を押す。

ハンド゛スキャナ
メモリ ショウキョ

5 電話帳登録/セット を押す。

メモリ ショウキョ
OK?

6 電話帳登録/セット を押す。

ショウキョ シマシタ

▼約 2 秒後

11／ 9 12:06 0

セットを押して約2、3秒後に「消去しました」というメッセージが聞こえ、「ショウキョ シマシタ」と表示されます。

- 本体で消去する場合はハンドスキャナのコードを接続した状態で操作してください。
- 読み取りデータの消去を実行すると、読み取ったすべての原稿のデータが消去されます。ページごとには消去できません。

メモリランプについて

メモリランプはハンドスキャナのメモリの状態を示します。

メモリランプの状態	メモリの状態
消灯	メモリに何も記憶されていません
点灯	メモリに記憶されている原稿があります
点滅	メモリがいっぱいです

拡大／縮小の設定

ハンドスキャナを使って送信やコピーをするときに、読み取り幅とプリント（記録）幅を設定すると、原稿を拡大や縮小して送信やコピーができます。

- コードレス時に拡大／縮小したい場合は、コードを外す前に本設定を行ってください。

1 ハンドスキャナを外す。

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ　A4→A4
```

読み取り幅　記録幅

2 メニュー **を押す。**

```
ﾄｳﾊﾞｲ ：100%
　　A4→A4
```

読み取り幅　記録幅

3 (< 電話帳 >) **を押して倍率を選ぶ。**

- 縮小82 ％　：B4→A4
- 等倍　　　　：A4→A4
- 拡大115 ％：B5→A4
- 拡大141 ％：A5→A4

お買い求めいただいたときは「等倍」に設定されています。

4 電話帳登録/セット **を押す。**

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ　A5→A4
```

読み取り幅　記録幅

5 ハンドスキャナを戻す。

戻さずに送信やコピーを行うこともできます。

こんなときは

途中で設定をやめるときは［ストップ］ボタンを押してください。

メロディハンドスキャナの設定

お買い求めのとき：**流す**

ハンドスキャナを使って原稿を読み取るとき、メロディ音を流すことができます。

- ハンドスキャナをコードレスで使うときは流れません。
- メロディハンドスキャナでメロディ音を流しているときに［音量］ボタンを押すと、音量の調整ができます。
- メロディ音の音量はモニタスピーカ音量（➔P31）と同じ設定になりますので、この音量を「切」にするとメロディ音も鳴らなくなります。

1 ハンドスキャナを外す。

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ　A4→A4
```

2 メニュー **を2回押す。**

```
ﾒﾛﾃﾞｨﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ○×
```

3 (< 電話帳 >) **を押してカーソルを移動する。**

- ○×：メロディ音を流す
- ○×：メロディ音を流さない

4 電話帳登録/セット **を押す。**

```
ﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ　A4→A4
```

5 ハンドスキャナを戻す。

```
11/ 9 12:06　　0
```

こんなときは

途中で設定をやめるときは［ストップ］ボタンを押してください。

留守番電話として使う

ここでは、留守番電話のいろいろな使いかたについて説明しています。

「留守」をセットすると

外出していて電話に出られないときなどに、相手の方の用件を録音することができます。
相手先がファクスのときは自動で受信できます。



着信ベルが鳴ります。

この間にハンドセットを取りあげたら
- **電話のとき……**
  そのままお話しができます。
- **ファクスのとき……**
  「ポー・ポー…」という音が聞こえたあとメッセージが流れます。ハンドセットを置くとファクスを受信します（ノータッチ受信を「する」に設定しているとき）。
- **無音のとき……**
  ファクスの場合があります。
  手動受信を行ってください。
  （➜ P49）

自動応答

着信ベルが設定回数*鳴ったら
相手先に留守番電話の応答メッセージが流れます。

* 留守設定時の着信ベルが鳴る回数は、トールセイバの設定により変わります。
- **トールセイバ「しない」……**
  いつも着信ベル回数で設定した回数だけ鳴ります。
- **トールセイバ「する」……**
  お買い求めのときの状態です。用件が録音されていると2回、用件がないと5回鳴ります。

ファクス

電話または手動ファクス

- **電話のとき……**
  相手の方の用件が録音されます。この間にハンドセットを取りあげればお話しができます。録音が終わると[留守]ボタンが点滅します。
- **手動ファクスのとき……**
  相手の方が送信操作をすれば受信します。

手動ファクス



ファクスを受信します。

着信ベルの鳴る回数が違う

トールセイバを「する」に設定しているときは、すでに録音された用件があると2回鳴って留守機能が働きます（用件がないときは5回）。
トールセイバを「しない」に設定しているときは、用件の有無にかかわらず、着信ベルの設定されている回数だけ鳴ります。
トールセイバ　（➜ P67）
着信ベル回数を変える　（➜ P68）

外出先から操作したい

外出先から「留守」をセットする（➜ P63）
外出先から用件を聞く　（➜ P64）

用件が録音されたら、すぐ知りたい

用件が録音されたら外出先に通知する（➜ P64）

録音できる時間

1件につき最長約3分、合計で約15分まで録音できます。この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます。

留守にセットすると

無鳴動着信やファクス専用モードに設定していても、本ページ左側の動作になり、留守設定中は着信ベルが鳴ります。

電話モードでお使いのとき

必ずトールセイバを「する」に設定してください。（➜ P67）
トールセイバを「する」に設定しないと留守機能が働きません。

本商品の内蔵応答メッセージの種類

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本商品の状態によって異なります。
- **通常**
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」

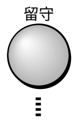
通常の応答メッセージだけは、自作応答メッセージに変えることができます。
応答メッセージを録音／消去する（➜ P62）
以下の応答メッセージは内蔵応答メッセージのため、変更、消去できません。
- **用件は録音できないが、ファクスの受信はできるとき**
  「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- **用件は録音できるが、ファクスの受信はできないとき**
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- **用件の録音も、ファクスの受信もできないとき**
  「ただいま留守にしております。おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください」

「留守」のセット／解除

「留守」をセットしようとしたらメッセージが流れる

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」と流れたときは「留守」をセットすることができません。
「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」と流れたときはすぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。
不要な用件を消去する（➔ P62）

■「留守」をセットする



➧ **［留守］ボタンが点灯し、応答メッセージが聞こえる**
用件が残っていると点滅します

オウトウメッセージ　コテイ ⋯⋯ ルスセッテイ

［留守］ボタンを押してもメッセージが聞こえない

用件再生時の音量が「切」になっていませんか？
留守番電話の再生音量（➔ 本ページ右側）
応答メッセージが正しく録音されていないことが考えられます。もう一度録音し直してください。
応答メッセージを録音／消去する（➔ P62）

自分で録音した応答メッセージを選びたい

自分で録音した2種類の応答メッセージのどちらかを選びたいときは、応答メッセージが流れている間に［<］または［>］を押し、応答メッセージを選びます。

本商品の内蔵応答メッセージに戻したい

自分で録音した応答メッセージを消去してください。
応答メッセージを録音／消去する（➔ P62）

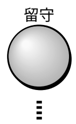
ナンバー・ディスプレイを利用している方は

相手先に応じて応答メッセージや着信音を変えることができます。（➔ P77、78）

■「留守」を解除する

- 録音された用件が自動で再生されます。
- 用件が1件再生されるごとに、録音された月日と時間が音声で流れます（タイムスタンプ）。
- 用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは［ストップ］ボタンを押してください。

用件があるときは［留守］ボタンが点滅しています ➧



11／ 9 12：06　2
ルスセッテイ

用件の件数

ヨウケン　サイセイ

➧ **「用件は○件です」用件が再生される** ➧ **「用件は以上です」** ➧ **［留守］ボタンが消灯する**

サイセイチュウ　1／2

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

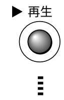
1秒ごとに“＊”が表示されます

用件がないときは「用件はありません」というメッセージが流れます。

録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。
通話録音した内容も、同時に再生されます。また、留守設定中でも用件を聞くことができます。

- **モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。**
留守番電話の再生音量（➔本ページ下）



➧ **用件が再生される**

ヨウケン　サイセイ

サイセイチュウ　2／3

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

お話し中の相手の方に用件を聞かせたい

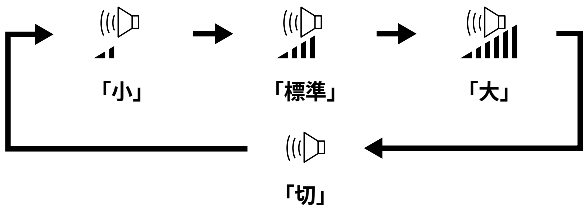
お話し中の相手の方に録音内容を聞かせる（➔ P44）

本体で再生中のボタン操作

ボタン	本商品の動き
▶ 再生	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります
1 ア	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します
3 サ DEF	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します
ストップ	再生を止めます（そのあとに［再生］ボタンを押すと、1件目から再生します）
消去	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後「消去しました」というメッセージが流れます

■留守番電話の再生音量

用件再生中などに操作します。
［音量］ボタンを押すと、次の順番で音量が変わります。



- **モニタスピーカ音量も同じ音量に調整されます。（➔P31）**

不要な用件を消去する

用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。ただし、用件を残したままにしていると、録音できる時間が短くなります。不要な用件は消去しましょう。

■特定の用件だけを消去する

消去したい用件を再生中 ➧ 消去 ➧「消去しました」➧ ストップ

サイセイチュウ　3/5

サイセイチュウ　3/4

■聞き終わった用件を一度に消去する

一度も再生しなかった用件は消去されません。少しでも再生した用件は消去されます。

再生終了後"＊"が表示(約6秒間) ➧ 消去 ➧「再生済みの用件を消去しました」

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

■すべての用件を一度に消去する〈全用件消去〉

• 一度も再生していない用件もすべて消去されます。

メニュー ➧ 5 ナ JKL ➧ 電話帳登録/セット ➧ 電話帳登録/セット

ルスデ゛ン キノウ

ゼ゛ンヨウケン ショウキョ

ショウキョ シマシタ

➧「消去しました」

応答メッセージを録音/消去する

「留守」をセットしたとき、相手先に流す応答メッセージを自分で録音したり、消去することができます。

・２種類の応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最長約２０秒までです。
・留守設定中でも応答メッセージを録音できます。
・録音していないときは、本体の内蔵応答メッセージが流れます。（➧ Ｐ６０）

• 本体の録音方式は、人間の声の音域に合わせた設定になっています。同時に音楽を録音することはお勧めできません。
• 本体の内蔵応答メッセージは消去できません。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

相手先に応じて応答メッセージを変えることができます。
電話帳ダイヤルに登録している相手の方にだけ自作メッセージで応答する ***（➧P77）***

本体の内蔵応答メッセージに戻したい

自分で録音した応答メッセージを消去してください。

■録音する

本体で録音します。コードレス電話機では録音できません。

ハンドセットを置いたまま ➧ メニュー ➧ 5 ナ JKL ➧ 電話帳登録/セット ➧ メニュー

オウトウメッセーシ゛ ロクオン

➧ 電話帳登録/セット ➧ ＜ 電話帳 ＞ ➧ 電話帳登録/セット

オウトウメッセーシ゛ 1

応答メッセージ1と2のどちらかを表示させる

シ゛ュワキヲ アケ゛テクタ゛サイ

➧ （ハンドセットを取る） ➧ スタート コピー ➧ 録音 ➧ ストップ

スタート ヲ オシテクタ゛サイ

ロクオンチュウ　20"

残り時間

シ゛ュワキヲ オイテクタ゛サイ

➧ （ハンドセットを置く）

オウトウ サイセイチュウ

• 応答メッセージ録音を終わるとき［ストップ］ボタンを押さずにハンドセットを置くと「ガチャン」という音が録音されてしまいます。先に［ストップ］ボタンを押してからハンドセットを置いてください。

録音中に電話がかかってきた

録音が中断されます。最初からやり直してください。

録音の途中で止まった

録音残り時間が“０”になると、自動で録音が止まります。20秒以内で終わるように応答メッセージを変え、録音し直してください。

録音し直したい

最初からやり直してください。録音し直すと、前に録音していた応答メッセージは消去されます。

メモリがいっぱいで録音できない

不要な用件を消去する（➔ P62）

■消去する

自分で録音した応答メッセージだけ消去できます。
本体の内蔵応答メッセージは消去できません。

メニュー ➔ 5（ナ JKL） ➔ 電話帳登録/セット ➔ メニュー 2回押す

オウトウメッセージ　ショウキョ

➔ 電話帳登録/セット ➔ 電話帳（消去したい応答メッセージを表示させる） ➔ 電話帳登録/セット ➔「消去しました」

オウトウメッセージ　1

ショウキョ　シマシタ

外出先から留守番電話を操作する（外線リモート）

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録をしておくと、留守設定中に録音された用件を、外出先から聞くことができます。

- パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い求めのとき：**リモート操作しない**

リモートパスワードは4桁の数字を登録します。

メニュー ➔ 4（タ GHI） ➔ 電話帳登録/セット ➔ メニュー 2回押す

トウロク　モード

リモート　ソウサ　　○×

➔ 電話帳（◯×：リモート操作する／◯×：リモート操作しない） ➔ 電話帳登録/セット ➔ パスワードを入力

リモート　PW　　=　_

➔ 電話帳登録/セット

カンリョウ

パスワードを間違えた

［クリア］ボタンを押し、入力し直してください。

すでにパスワードが登録されている

新しいパスワードを入力すると、前のパスワードは消去されます。

外出先から「留守」をセットする

- プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- 電話モード設定時は、外出先から「留守」をセットすることはできません。
- ダイヤルインをご利用の場合は、本体用の番号に電話をかけて下記の操作をしてください。

本商品に電話をかける ➔ 呼出ベルが変わる ➔ # ➔ ［パスワード］ ➔ #

➔「パスワードが一致しました」 ➔「留守設定をしました」 ➔ 電話を切る

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる

［#］［パスワード］［#］と入力し直してください。3回間違えると自動的に通話が切れます。もう一度、電話をかけ直してください。

外出先から用件を聞く

- プッシュ信号を出せる電話機で操作してください。
- 用件再生終了後、なにも操作しないで約２０秒たつと、自動的に通話が切れます。
- 外出前に「留守」をセットしておいてください。
- 携帯電話やＰＨＳ対応電話機から用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
- リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

本商品に電話をかける ➧ **応答メッセージ** ➧ **[#]** ➧ **応答メッセージが止まる**

➧ **3秒以内にパスワードを入力** ➧ **[#]** ➧ **「パスワードが一致しました。用件は○件です」** ➧ **用件再生** ➧ **通話を切る**

応答メッセージが止まらない パスワードを入力する前に、もう一度［#］を押してください。

外出先から用件の有無を簡単に知りたい

トールセイバを「する」に設定してください。**（➧ P67）**

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

用件が再生されたあと、相手の電話番号が音声で聞こえます。

再生中に早送りや巻き戻しをしたい

［リモート操作コード］（下表）を押してください。

再生以外の操作をしたい

上記の操作の「3秒以内にパスワードを入力」→［#］入力後、［リモート操作コード］（下表）を押してください。

操　作	リモート操作コード	本商品の動き
巻き戻し	＃1＃	再生中に押すと、１つ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中は、再生中の用件を再生します。
用件再生	＃2＃	用件を先頭から再生します。再生中に押すと、高速で再生します。高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
早送り	＃3＃	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	＃61＃	用件転送を設定します。（➧P65）
用件転送解除	＃62＃	用件転送を解除します。（➧P65）
「留守」セット	＃7＃	「留守」をセットします。
用件消去	＃8＃	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。また、用件をすべて聞いたあと「ピッピッピッ…」と音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
「留守」解除	＃9＃	「留守」を解除します。

リモート操作コード表を持ち歩きたい

106ページの「リモート操作コード表」をハンドスキャナでコピーし、ご活用ください。**（➧ P53）**

用件が録音されたら外出先に通知する（用件転送）

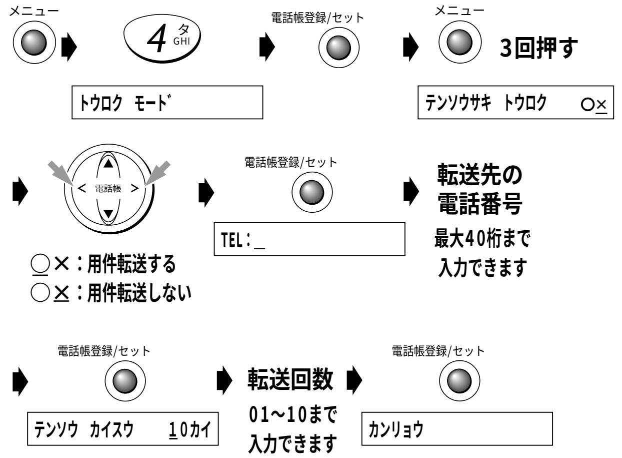
留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に通知することができます。

通知先を登録する

お買い求めのとき：**しない**

- 通知先は1か所だけ登録できます。
- 通知先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を指定できます（最大10回まで）。

- **プッシュ信号が出せる電話機を通知先に指定してください。**
- **転送先がPHS対応電話機の場合には、電波の届く範囲が狭いため、転送されないことがあります。**
- **録音された用件が6秒未満のときは転送されません。**



転送先の電話番号を間違えた ［<］または［>］でカーソル移動するか［クリア］ボタンを押し、入力し直してください。

登録した電話番号や転送回数を変えたい

最初から登録し直すと、新しい登録内容に上書きされます。

ポケットベルにメッセージを表示させたい

ポケットベルのディスプレイにメッセージを表示させたいときは、転送先の電話番号を入力するとき、次のように入力してください。

・ダイヤル回線のとき

ポケットベル番号 ➧ **［再送／ポーズ］** ➧ **［*］** ➧ **メッセージ番号** ➧ **［#］［#］**

・プッシュ回線のとき

ポケットベル番号 ➧ **［再送／ポーズ］** ➧ **メッセージ番号** ➧ **［#］［#］**

ポーズ：ポケットベルのサービス会社につながったとき、音声案内が終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声案内の長さは、各サービス会社にお問い合わせください。［再送／ポーズ］ボタン1回で約3秒間のポーズが入ります。
　• NTT ドコモ…［再送／ポーズ］ボタン4～5回
メッセージ番号：ポケットベルの説明書を参照してください。
登録できる桁数：ポケットベル番号から最後の［#］までの合計が４０桁までです。ポーズは［再送／ポーズ］ボタン1回で1桁に数えます。

用件転送をセット／解除する

「用件転送先の登録」をすると「留守」のセット、解除と同時に用件転送がセット、解除されます。

用件が転送されない

次のようなことが考えられます。
- 録音した用件が6秒未満だった
- 用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電などで本商品の電源が切れた

用件転送をやめたい

用件転送「しない」を設定してください。
通知先を登録する（➡ P64）

外出先から用件転送だけを解除したい

リモート操作コード［＃62＃］を押してください。（➡ P64）

用件転送先での受けかた

- あらかじめリモート操作の設定と、リモートパスワードの登録が必要です。
  リモート操作の設定とパスワードの登録（➡ P63）

1　着信ベルが鳴ったら電話に出る。

2　「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえる。

パスワードを入力しないと　メッセージが5回流れてもパスワードを入力しないと、自動的に通話が切れます。

3　メッセージが聞こえている間か、またはメッセージのあと3秒以内に［#］を押す。

4　メッセージが止まる。

メッセージが止まらない　もう一度［#］を押してください。

5　3秒以内にリモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に［#］を押す。

6　「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが聞こえる。

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる
［#］［パスワード］［#］と入れ直してください。3回間違えると自動的に通話が切れます。

7　用件が再生される。

8　用件が終わったら通話を切る。

再生中に早送りや巻き戻しをしたい

［リモート操作コード］を押してください。（➡ P64）

再生以外の操作をしたい

手順5で［パスワード］［#］入力後、［リモート操作コード］を押してください。（➡ P64）

繰り返し用件転送される

パスワードを入力する前に電話を切ると、回線によっては繰り返し用件転送されます。このようなときは「用件転送先での受けかた」（➡ 本ページ左側）の手順を最後まで行ってください。

転送先がお話し中のときやだれも電話に出ないとき

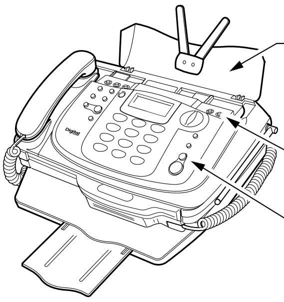
2回までは約3分間隔、以降は約30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。
また、自動的にかけ直そうとしている間の待機中に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

より便利に使う

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明しています。

操作について

本商品の設定や登録は、ディスプレイの表示を見ながら行います。
まず［メニュー］ボタンを押し、次に設定項目の番号を入力して各設定を行います。詳しい手順は各設定ごとの説明をお読みください。
ハンドセットを置いたままで操作してください。



・設定や登録を行う途中で、９０秒以上なにも操作しなかったときは、待機状態に戻ります。

設定を途中でやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。

いろいろな設定

自分の電話番号の登録と回線種別の自動設定

自分の電話番号を登録すると、回線種別の自動選択機能が働き、自動で回線種別の設定ができます。
ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手のディスプレイに表示されたり、相手の通信管理レポートなどにプリントされます。

メニュー ➧ 4（タ GHI） ➧ 電話帳登録/セット（デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク） ➧ 電話帳登録/セット ➧ **自分の電話番号を入力**（市外局番から入力してください（最大20桁）） ➧ **入力した電話番号が正しいことを確認**

➧ 電話帳登録/セット ➧ デ゛ンワカイセン カクニンチュウ ↕ 交互に表示 シバ゛ラク オマチクダ゛サイ ➧ カンリョウ

- **ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされません。発信元を相手の記録紙にプリントさせるには（➧P67）**
- 相手の機種によっては、相手のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- この機能は、登録した電話番号に自動的に電話をかけて回線を選ぶ機能です。間違えて電話番号を登録すると、正しく設定できません。
- **ISDNターミナルアダプタに本商品を接続している場合は、回線種別の自動設定はできません。手動で回線種別の設定をしてください。*回線種別の手動設定（➧P29）***
- 「回線種別の自動設定はできませんでした。ご自分で設定してください」というメッセージが流れ、ディスプレイに“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示されたら［ストップ］ボタンを押してから手動で回線種別の設定をしてください。*回線種別の手動設定（➧P29）*
- 引っ越しなどで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。

自分の電話番号を消去したい

メニュー ➧ 4（タ GHI） ➧ 電話帳登録/セット ➧ 電話帳登録/セット ➧ クリア ➧ 電話帳登録/セット

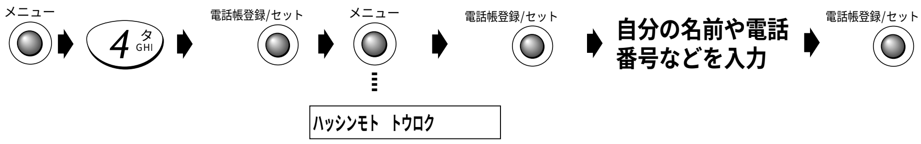
自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントさせる<発信元記録>

（お買い求めのとき：**する（発信元未登録）**）

ファクスを送ったとき、相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手の方はどこからファクスが送信されてきたのかを、簡単に知ることができます。

- 発信元をプリントさせるには、発信元の登録と発信元を相手の記録紙にプリント「させる」の設定が必要です。
- 発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。**最大40文字**（空白を含む）まで入力できます。

発信元を登録する



文字入力のしかたがわからないとき ***文字の入力のしかた（➜P113）***

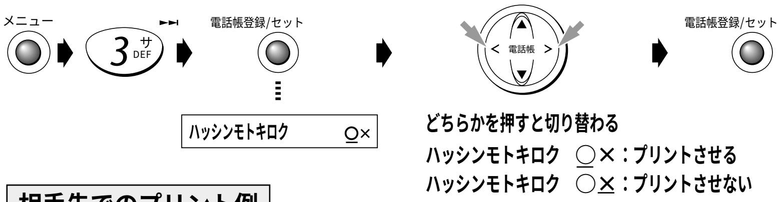
発信元を削除または変更したいとき **発信元を削除するときは、上記操作の「自分の名前や電話番号などを入力」で登録した内容を［クリア］ボタンですべて消去してから［電話帳登録／セット］ボタンを押してください。変更するときは、同手順で変更したい箇所に［<］［>］でカーソルを合わせ［クリア］ボタンで消去し、修正してから［電話帳登録／セット］ボタンを押してください。**

自分の電話番号もプリントさせたいとき **数字もすべて文字として入力してください。自分の電話番号の登録（➜P66）を行っても、相手の記録紙にはプリントされません。*文字の入力のしかた（➜P113）***

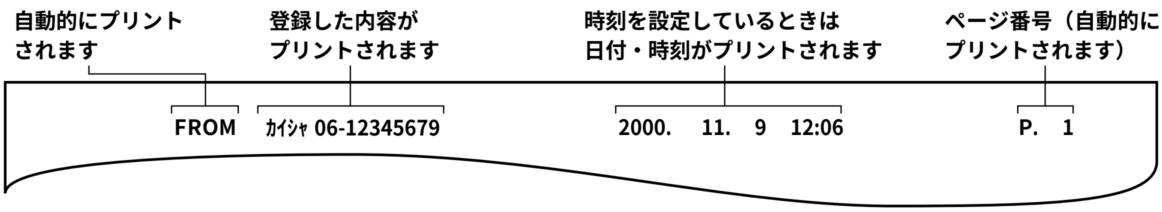
登録できたか確認したいとき **システムリスト（➜P73）をプリントしてください。**

発信元をプリントさせる／させないを設定する（お買い求めのとき：**させる**）

- **「させない」を設定すると、日付・時刻やページ番号もプリントされません。**



相手先でのプリント例



用件の有無を外出先から簡単に確かめる<トールセイバ>（お買い求めのとき：**する**）

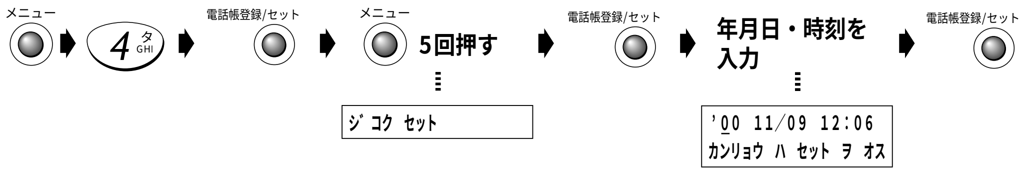
トールセイバとは留守番電話が応答するまでの着信ベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出ベルを3回聞き終わってから電話を切ると、通話料金がかかりません。



- 一度聞いた用件でも、残っていると（消去しない限り）トールセイバが働きます。
- 電話モード（➜P69）でお使いの場合、トールセイバを「する」に設定してください。トールセイバを「しない」に設定すると、留守設定をしても留守番電話に切り替わりません。
- コードレス電話機は本体より遅れて着信ベルが鳴り始めるため、トールセイバを「する」に設定していて留守番電話の用件が録音されているときは、コードレス電話機が鳴る前に着信して留守応答になることがあります。

時計を合わせる<時刻セット>

- 時刻がずれてきたときや「日付、時刻のセット」（ ➔ P24）をしなかったときに行ってください（時計の精度は平均月差±60秒以内)。
- 時刻は24時間制で、年は西暦の下2桁を入力してください。月日や時刻が1桁のときは頭に0をつけてください（例：2000年11月9日12時6分→0011091206と入力)。

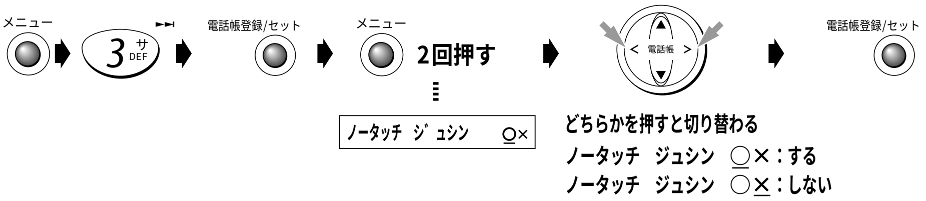


修正したいとき ［<］または［>］を押して修正したい箇所にカーソルを合わせ、入力し直してください。

電話に出て相手先がファクスだったときは簡単に受信する<ノータッチ受信>

（お買い求めのとき：**する**）

電話に出て相手先がファクスのときは「ポーポーポー…」という音が聞こえ「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。このときは、ハンドセットを戻すだけでファクスを受信できます。



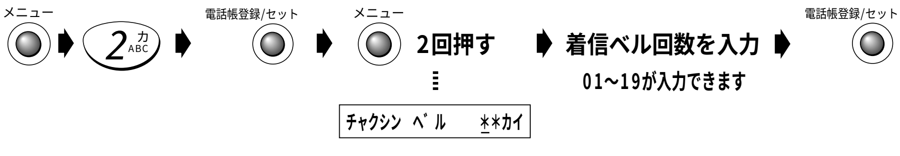
- 相手先が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。頻繁に起こる場合は、ノータッチ受信を「しない」に設定してください。
- ノータッチ受信を「しない」に設定した場合は、相手先がファクスのとき本体では［スタート／コピー］ボタン、またはコードレス電話機では［内線／ドアホン／保留］ボタンを押したあと［6］を押すと受信できます。

いたずらファクスでお困りのとき

ノータッチ受信を「しない」に設定してください。

着信ベル回数を変える（お買い求めのとき：**無制限**）

- ファクス／電話自動切替で、自動的に回線が接続されるまでに鳴る着信ベルの回数（1〜19回）を設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください。（例：8回→08と入力）



着信ベル回数の入力を間違えたとき ［クリア］ボタンを押し、入力し直してください。

- 着信ベルの回数は、なるべく9回以下で設定してください。10回以上に設定すると相手先がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
- 「無鳴動着信する」に設定していると、着信ベル回数を変えても反映されません。「無鳴動着信しない」に設定し直してください。*無鳴動着信（➔ P69）*
- **トールセイバを「する」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定にかかわらずトールセイバの着信ベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定した着信ベル回数で回線を接続したいときはトールセイバを「しない」に設定してください。*トールセイバ（➔ P67）***
- コードレス電話機の着信ベルは、本体よりも遅れて鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。

呼出ベル回数を変える（お買い求めのとき：**10回**）

- ファクス／電話自動切替で、自動的に回線が接続されたあとに鳴る呼出ベルの回数（1～19回）を設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0をつけて2桁にしてください。（例：8回→08と入力）

メニュー ➡ 2（カ ABC） ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 3回押す ➡ 呼出ベル回数を入力 ➡ 電話帳登録/セット

01～19が入力できます

ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾍﾞﾙ　10ｶｲ

- 回線が接続された時点から相手先に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。

呼出ベル回数の入力を間違えたとき　［クリア］ボタンを押し、入力し直してください。

ファクスのときは着信ベルを鳴らさない<無鳴動着信>（お買い求めのとき：**しない**）

- ファクスが送られてきたとき、着信ベルを鳴らさず、すぐにファクスを受信することができます。
- 相手先が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。
- 相手先がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください。
  手動で受ける（➡ P49）
- **留守設定中は、無鳴動着信にはなりません。**

メニュー ➡ 2（カ ABC） ➡ 電話帳登録/セット ➡ （電話帳 ▲▼） ➡ 電話帳登録/セット

ﾑﾒｲﾄﾞｳ ﾁｬｸｼﾝ　○×

どちらかを押すと切り替わる
ムメイドウチャクシン　○×：する
ムメイドウチャクシン　○×：しない

- 無鳴動着信を「する」に設定すると、着信ベルを鳴らさず回線を接続します。回線が接続された時点から、相手先に料金がかかります。

いつも電話で受ける<電話モード>（お買い求めのとき：**電話モード**）

ファクスを自動受信したくないときや電話に出られなかったとき、通話料金が相手先にかからないようにしたい場合など、通常の電話機能のみで使うことができます。ファクスを受信するときは手動で行ってください。

メニュー ➡ 2（カ ABC） ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 2回押す ➡ ＊（PB） ➡ 電話帳登録/セット

ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ　06ｶｲ　　ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ　**ｶｲ

- 無鳴動着信で使っているときは、電話モードになりません。無鳴動着信「しない」に設定してから電話モードにしてください。*無鳴動着信（➡ 本ページ上）*
- 電話モードに設定し、トールセイバを「しない」に設定（➡ P67）すると、留守設定をしても留守番電話機能が使えなくなります。留守番電話機能を使う場合は、電話モードを解除（下記）するかトールセイバを「する」に設定してください 。

電話モードを解除したい

上記の［＊］を入力する代わりに着信ベル回数（01～19）を入力してください。*着信ベル回数（➡ P68）*

いつもファクスで受ける<ファクス専用モード>（お買い求めのとき：**しない**）

着信ベルが設定した回数（➡ P68）だけ鳴ったあと自動的にファクスを受信します。相手先からかかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手先が電話の場合お話しができます。

メニュー ➡ 2（カ ABC） ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 4回押す ➡ （電話帳 ▲▼） ➡ 電話帳登録/セット

ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ　○×

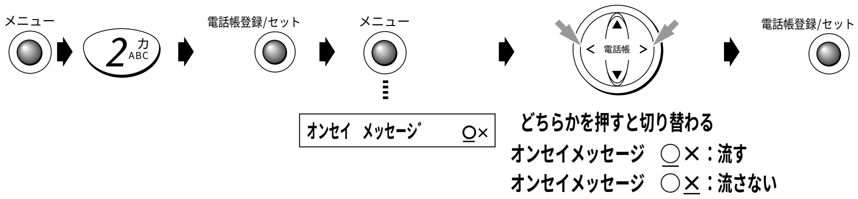
どちらかを押すと切り替わる
ファクスセンヨウ　○×：する
ファクスセンヨウ　○×：しない

- 電話モードに設定してある場合、ファクス専用モードを「する」に設定しても電話モードが優先され、ファクス専用モードになりません。電話モードを解除してください。*電話モード（➡ 本ページ上）*
- 無鳴動着信にしている場合は、着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。**この場合は電話が受けられません。**
- 留守設定中は、ファクス専用モードの設定をしても留守設定が優先されます。留守番電話を使うには（➡ P60）

電話をかけてきた相手先にメッセージを流す<音声メッセージ>

（お買い求めのとき：**流す**）

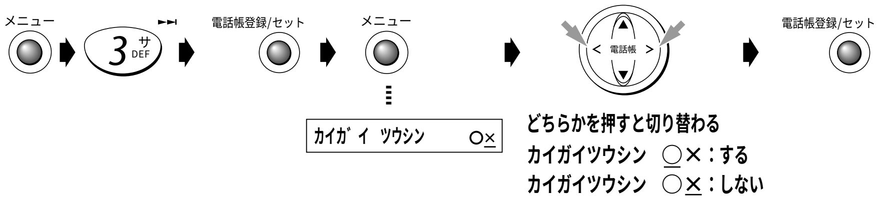
ファクス／電話自動切替で自動的に回線が接続されたときに、相手先が電話だった場合「お呼び出しいたしますので、しばらくお待ちください」というメッセージを流すことができます。



• メッセージの内容は変更できません。

海外にファクスを送るとき（お買い求めのとき：**しない**）

海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に戻してください。



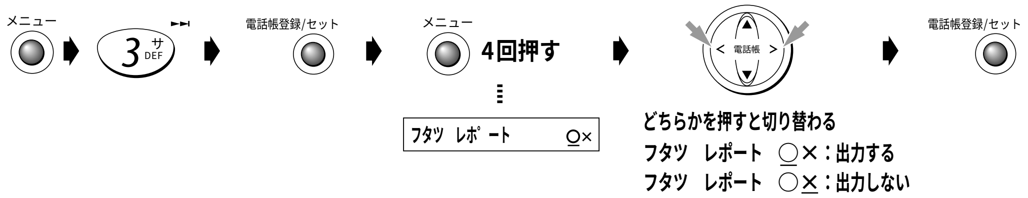
国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送るとき

国際電話番号をダイヤルしたあと国番号と相手の電話番号をダイヤルしても、お話し中になり通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに［再送／ポーズ］ボタンを2～3回押し（約6～9秒のポーズが入ります）、それから残りの電話番号をダイヤルしてください。
それでも通信できないときは、ハンドセットを取りあげて回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。

• 海外通信の設定は、ファクスを受信するときは必要ありません。

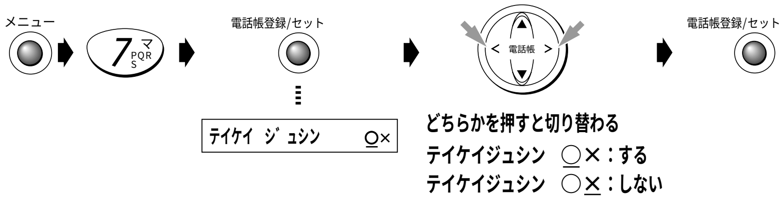
不達レポートを出力する（お買い求めのとき：**する**）

ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポートをプリントすることができます。



受信したファクスを縮小する<定型受信>（お買い求めのとき：**する**）

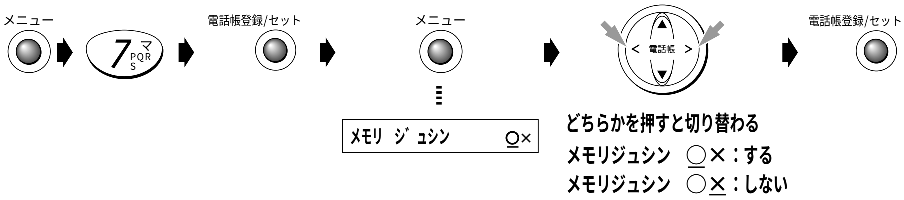
• 定型受信「する」に設定すると、送信される文書が発信元記録の付加などで縦方向にA4サイズをわずかに超える場合も縦方向に95 %縮小してプリントします（縮小率95 %は固定です）。
•「しない」に設定すると、受信した原稿を等倍（原寸大）でプリントします。
•「する」「しない」いずれの場合でも、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。



ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する<メモリ受信>

（お買い求めのとき：**する**）

メモリ受信を「する」に設定すると、ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積してからプリントします。



- 「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。そのときは、不要な用件を消去する（➔P62）か、メモリ受信を「しない」に設定してください。
- 「しない」に設定すると、電送速度は最高で9 600 bit/sとなります。
- 「しない」に設定したとき、ファクス受信中に次のような状態が起こり、通信不可となった場合、それ以降のファクスはプリントされません（メモリ代行受信も行いません）。そのときは、次の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください。
  - 記録紙がなくなった
  - インクリボンがなくなった
  - カバーが開いた
  - 記録紙がつまった
  - サーマルヘッドが過熱した

記録紙モードの設定（お買い求めのとき：**普通紙**）

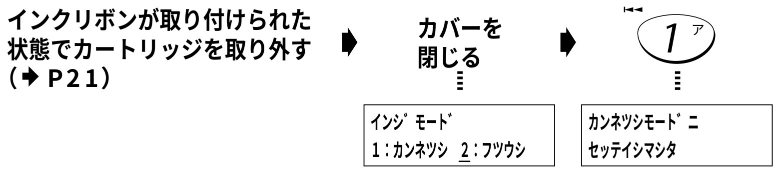
本体にセットする記録紙は、普通紙または感熱紙のいずれかを選べます。

セットする記録紙	インクリボン	記録紙モード
普通紙	必要	フツウシ
感熱紙	不要	カンネツシ

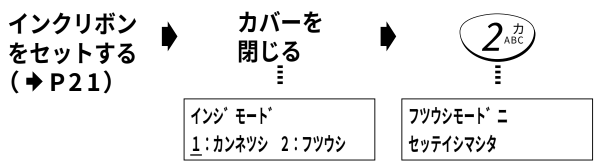
記録紙モードの設定を間違えた場合（感熱紙を使用するのに“フツウシ”を選択してしまったなど）は、いったんカバーを開け、閉じるとインジモード選択の手順になりますので選択し直してください。

- 感熱紙モードで使用するときは、必ず感熱紙をセットしてください。普通紙をセットすると、白紙となります。
- 普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。
- 感熱紙の印字面を必ず**「裏向き」**にして記録紙カセットにセットしてください。裏表を間違えると、白紙となります。*記録紙のセット（➔P23）*
- 感熱紙モードのときに普通紙をセットしたり、感熱紙の裏表を間違えたりして白紙となった場合、ファクス受信した内容は再プリントできませんので注意してください。
- 取り外したカートリッジ（インクリボンが取り付けられた状態）は直射日光の当たらない場所に保管してください。

普通紙モードから感熱紙モードに変更する

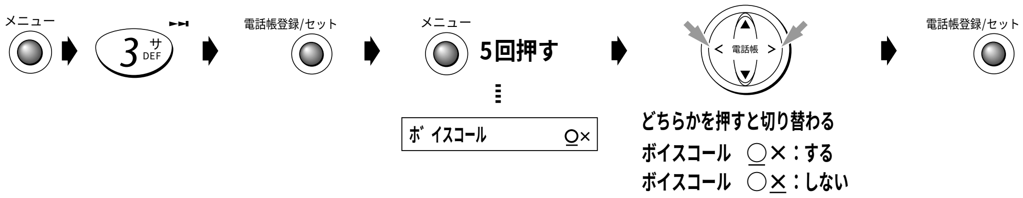


感熱紙モードから普通紙モードに変更する



ボイスコールの設定（お買い求めのとき：**する**）

本体からコードレス電話機に内線電話をかけたときに、着信ベルを約3秒間鳴らしてだれも出ない場合は自動的に着信し、スピーカからメッセージを流すことができます。

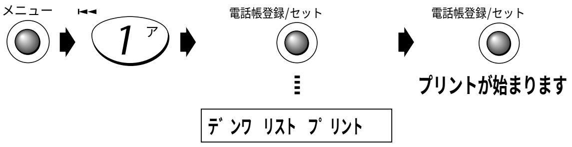


電話番号リストなどをプリントする

登録や変更した内容などをプリントできます。

本体の電話帳ダイヤルの登録内容（電話番号リスト）をプリントする

- 電話番号リストは、次の順番にプリントされます。
  空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 名前を登録していない電話番号
- 電話番号リストは、1ページに50件までプリントされます。



- コードレス電話機に登録された電話帳ダイヤルの登録内容はプリントされません。
- 電話帳ダイヤルに電話番号が登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“デンワバンゴウミトウロク”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

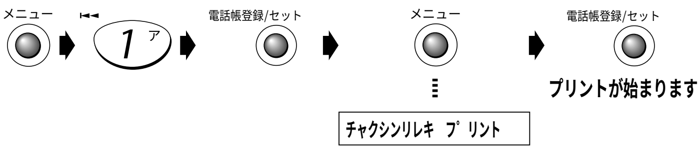
デ゛ンワ　バ゛ンゴ゛ウ　リスト（1）

2000.11.　9　12：06

サトウ

アイテサキ	デ゛ンワ　バ゛ンゴ゛ウ	チャクシンサキ
カゾ゛ク	0397654321	スベ゛テ
カイシャ	0697654321	ナイセン1（オヤキ）
スズ゛キ	0312345678	ナイセン2（コキ）

ナンバー・ディスプレイの着信履歴リストをプリントする



- コードレス電話機に記憶された着信履歴はプリントできません。
- ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信履歴は記憶されません。
- 着信履歴が記憶されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“チャクシンリレキ　ナシ”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合

チャクシンリレキ　リスト

2000.11.　9　12：06

サトウ

NO.	チャクシンニチジ゛	チャクシンデ゛ータ	アイテサキ
1	11.　9　11：47	123456	カイシャ
2	11.　9　10：47	ヒツウチ	
3	10.21　12：00	コウシュウデ゛ンワ	

本商品の設定状態（システムリスト）をプリントする

メニュー ➡ 1ア ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 2回押す ➡ 電話帳登録/セット

システム リスト プ゛リント

プリントが始まります

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

システム　リスト

2000. 11.　9　　12：06

カイシャ

コウモク	ナ イ ヨ ウ
ムメイド゛ウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ゛	ナガ゛ス
チャクシンベ゛ル カイスウ	チャクシン シナイ

通信管理レポートをプリントする

ファクスの送信または受信した履歴を、最新の20件までプリントします。

メニュー ➡ 1ア ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 3回押す ➡ 電話帳登録/セット

ツウシンカンリ レポ゜ート

プリントが始まります

- 通信履歴がない場合はプリントされません。ディスプレイに“ ツウシン データ　アリマセン ”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

ツウシン　カンリ　レポ゜ート

2000. 11.　9　　12：06

(ソウシン)

カイシャ

ツウシン カイシ ニチジ゛	ツウシン ジ゛カン	ア イ テ サ キ	モード゛	マイスウ	ツウシン ケッカ
11. 1　13：07	0’27”	031234567	ECM	1	O. K.
11. 1　13：43	0’26”	カソ゛ク	ECM	1	O. K.
11. 3　13：43	0’29”	スズ゛キ	ECM	1	O. K.

コードレス電話機の登録・設定

途中で登録・設定をやめたいときは、[切] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録し直します。

- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。
- トランシーバ登録は、受信側と送信側のコードレス電話機を近くに置いて行ってください。

設定リセット（お買い求めのとき：**しない**）

コードレス電話機の設定値を、お買い求め時の状態に戻します。

- クイック通話「ON」
- 受話音量「標準」
- スピーカ音量「標準」
- ベル音量「中」

充電器から取りあげる ➡ 切 ➡ 登録 ➡ 0 ➡ 1：**する** / 2：**しない**（**設定リセットをする／しないの選択**） ➡ 登録 ※1

クイック通話（お買い求めのとき：**する**）

クイック通話をする／しないを設定します。（➡ P34）

充電器から取りあげる ➡ 切 ➡ 登録 ➡ 1 ➡ 1：**する** / 2：**しない**（**クイック通話をする／しないの選択**） ➡ 登録 ※1

着信音設定<識別着信>（お買い求めのとき：**しない**）

ナンバー・ディスプレイを契約されているときに、電話帳ダイヤルに登録されている相手の方から電話がかかってきたときに、通常とは別の着信音を鳴らす／鳴らさないを設定します。※3

充電器から取りあげる ➡ 切 ➡ 登録 ➡ 2 ➡ 1：**する** / 2：**しない**（**着信音設定をする／しないの選択**） ➡ 登録 ※1

トランシーバ登録

受信側と送信側のコードレス電話機に、互いに同じ暗証番号を登録し、トランシーバ通話に使用する内線番号を登録します。まず、受信側のコードレス電話機の登録を行い、1分以内に送信側のコードレス電話機の登録を行ってください。（➡P75）

充電器から取りあげる ➡ 切 ➡ 登録 ➡ 9

- **送信側** 1 / **受信側** 2 ➡ **暗証番号を入力（4桁の数字）** **受信側と送信側で同じ暗証番号を入力** ➡ 登録 ➡ **トランシーバ通話の内線番号を入力（1〜7999）** **受信側と送信側で違う内線番号を入力** ➡ 登録 ※2
- **登録消去** 3 ➡ 1：**する** / 2：**しない**（**トランシーバの登録消去**） ➡ 登録 ※1

※1 • 登録が完了すると、「ピー」という音が鳴ります。
※2 • 受信側では、受信が完了すると、「ピー」という音が鳴ります。受信に失敗すると「ピピピ」というエラー音が鳴り、「ジュシンエラー」と約2秒間表示されます。もう一度最初からやり直してください。
• 送信側では、「ソウシンチュウ」と約10秒間表示されたあと、「ピー」という音が鳴ります。
※3 • あらかじめナンバー・ディスプレイの契約と設定（➡ P76）が必要です。

トランシーバとして使う

コードレス電話機をトランシーバに切り替えると、本体のないところでもコードレス電話機どうしでお話しをすることができます。

トランシーバ通話をする

- トランシーバ通話をする前に、両方のコードレス電話機をトランシーバモードに切り替えてください。（➔ P26）
- トランシーバモードに切り替えると、Y の表示は消去します。
- トランシーバ通話では、約3分ごとに「ピピッ‥ピピッ‥」という音（トランシーバ通話タイムアウト警告音）が聞こえます。接続中音が鳴っているときは、お話しをすることはできません。
- トランシーバモードでは、外へ電話をかけることや、外からの電話を受けることができません。

- 通常お使いの内線番号とは別に、トランシーバ通話専用の内線番号を登録できます。（➔ 本ページ右側）
- ベル音量はコードレス電話機の「音量」ボタンで調節することができます。（➔ P38）ただし、音量を「切」に設定しても「小」で鳴ります。

呼び出す方

1 内線 ドアホン 保留 を押す。

[通話]ボタンが点灯し、「プー」という音が聞こえます。

ﾅｲｾﾝﾊｯｼﾝ

2 呼び出すコードレス電話機の内線番号（1～7999）をダイヤルする。

約8秒後に相手を呼び出します。すぐに呼び出したいときは、[通話]ボタンを押してください。

ﾅｲｾﾝﾊｯｼﾝ
2

3 相手の方の声が聞こえたら、通話。

ﾅｲｾﾝ
2

4 用件が済んだら 切 を押す。

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞ
No.1

呼び出される方

1 着信ベルが鳴る。

着信/充電ランプと[通話]ボタンが高速で点滅します。

ﾅｲｾﾝﾁｬｸｼﾝ
1

2 通話 を押して、相手の方と通話。

ﾅｲｾﾝ
1

3 用件が済んだら 切 を押す。

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞ
No.2

トランシーバの内線番号を登録する（トランシーバ登録）

トランシーバ登録をするときは、トランシーバ通話をする他のコードレス電話機を近くに置いて、互いに同じ暗証番号を登録し、それぞれの内線番号を登録します。互いを受信側と送信側としてそれぞれのコードレス電話機で登録しますが、どちらの電話機を受信側／送信側にしてもかまいません。

- 受信側の手順4の操作のあと、60秒以内に送信側が任意の暗証番号の登録操作を行わないと、受信側では「ピピピ」というエラー音が鳴り、登録は無効となります。
- いったん受信側として操作を行ったコードレス電話機は、送信側としてトランシーバ登録することができません。
- トランシーバの内線番号を登録したあとに、もとの内線番号に戻すときは、登録した内線番号を消去してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、操作は無効になります。もう一度最初からやり直してください。
- 「ジュシンチュウ」または「ソウシンチュウ」が表示されているときに［切］ボタンを押すと、相手の登録内容だけが変更されることがあります。トランシーバの内線番号を確かめたうえで、必要があれば再度登録を行ってください。
- 登録した内線番号を消去したいとき（ ➔ P74）

受信側のコードレス電話機

1 登録 を押す。

ﾄｳﾛｸ ｶｲｼ

2 9 を押したあと、2（受信）を押す。

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞ ﾄｳﾛｸ
1-S 2-R 3-C

3 任意の暗証番号（4桁の数字）を入力したあと、登録 を押す。

送信側と同じ暗証番号を入力してください。

ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ
1234

4 内線番号（1～7999）を入力したあと、登録 を押す。

送信側と違う内線番号を入力してください。

ﾅｲｾﾝﾊﾞﾝｺﾞｳ
7999

受信が完了すると「ピー」という音が鳴り、「ジュシンチュウ」の表示が消えます。受信に失敗すると「ピピピ」というエラー音が鳴り、「ジュシンエラー」が約2秒間表示されます。最初からやり直してください。

送信側のコードレス電話機

1 登録 を押す。

ﾄｳﾛｸ ｶｲｼ

2 9 を押したあと、1（送信）を押す。

ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞ ﾄｳﾛｸ
1-S 2-R 3-C

3 任意の暗証番号（4桁の数字）を入力したあと、登録 を押す。

受信側と同じ暗証番号を入力してください。

ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳ
1234

4 内線番号（1～7999）を入力したあと、登録 を押す。

受信側と違う内線番号を入力してください。

ﾅｲｾﾝﾊﾞﾝｺﾞｳ
1111

「ソウシンチュウ」が約10秒間表示されたあと、「ピー」という音が鳴ります。

ナンバー・ディスプレイを使う

ここでは、ナンバー・ディスプレイのいろいろな使いかたを説明しています。

利用できる機能について

ナンバー・ディスプレイを利用すると、次のようなことができます。

- かけてきた相手の電話番号を、電話に出る前にディスプレイに表示させる
- 電話帳ダイヤルに登録されている相手先だけに、特別な受けかたをする
  - *— 着信先指定（➡ P78）*
  - *— 着信音設定（➡ P78）*
  - *— 自作メッセージで応答（➡ P77）*
- *番号リクエスト（➡ P78）*
- *着信拒否（➡ P79）*
- *着信履歴の活用（➡ P80）*
- *キャッチホン・ディスプレイ（➡ P82）*

- 次の場合は電話番号が表示されません。
  - — 国際電話
  - — オペレータ扱いの通話（100番・106番）
  - — 相手先が番号非通知のとき
  - — 相手の方が公衆電話からかけてきたとき
  - — 相手の方が圏外からかけてきたとき
  - — 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

利用申し込みにあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、当社との契約が必要です（有料）。

- 本商品でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
  - — 転送でんわ（ボイスワープを除く）
  - — ダイヤルQ2（情報提供側）
  - — テレドーム（情報提供側）
  - — ノーリンギング通信サービス（センター回線）
- ブランチ接続では使えません。

- 本サービスに関するお問い合わせは
  局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ダイヤルインを同時に利用するとき

必ずモデムダイヤルインを契約してください。通常のダイヤルインを契約している場合は、モデムダイヤルインに変更する必要があります。

ISDN回線を利用しているとき

ターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタをご使用ください。

表示の見かた

電話がかかってくると、相手の電話番号が次のように表示されます。

本体	コードレス電話機
ｱｲﾃ:0697654321	0697654321

- 電話帳ダイヤルに登録されている相手先のとき

本体	コードレス電話機
ｱｲﾃ:ｶｲｼｬ TEL:0697654321	ｶﾞｲｾﾝﾁｬｸｼﾝ ｶｲｼｬ

本体とコードレス電話機で同じ電話番号に違う名前を登録している

本体とコードレス電話機、それぞれに登録した名前が表示されます。

• 相手の方が番号非通知のとき	ﾋﾂｳﾁ
• 相手の方が公衆電話のとき	ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ
• 相手の方が海外など、圏外からかけてきたとき	ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ
• 一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったとき	ｼﾞｭｼﾝｴﾗｰ

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手先に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。

- 電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
相手先に電話番号を通知する	通常の操作でダイヤルする	[1][8][6]のあと相手の電話番号をダイヤルする
相手先に電話番号を通知しない	[1][8][4]のあと相手の電話番号をダイヤルする	通常の操作でダイヤルする

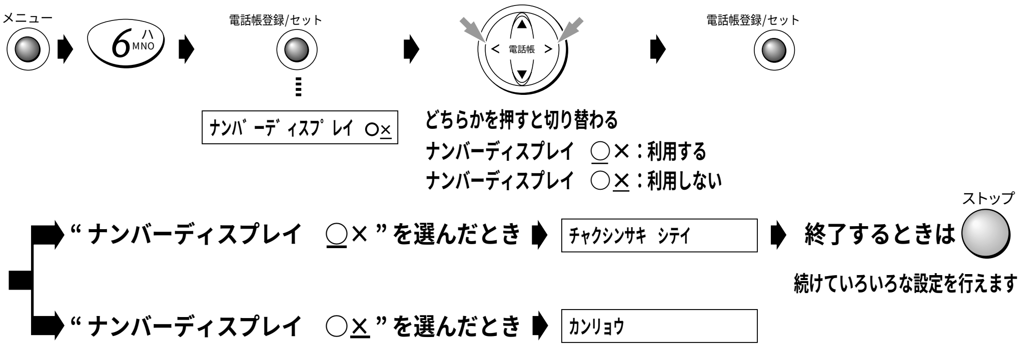
自分がどちらで契約しているかわからない

局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

必要な設定

ナンバー・ディスプレイの設定（お買い求めのとき：**利用しない**）

・ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」、契約していない場合は「利用しない」に必ず設定してください。この設定を間違えていると、電話が受けられないことがあります。

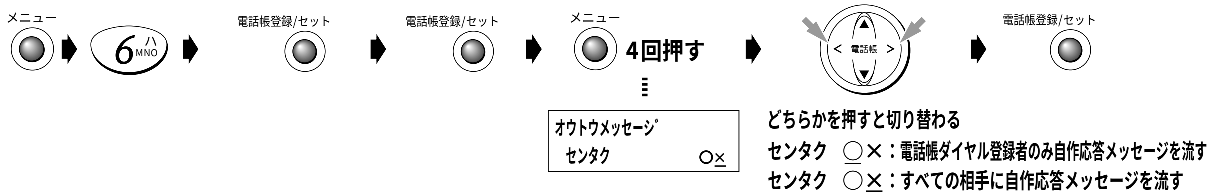


いろいろな設定

電話帳ダイヤルに登録している相手先にだけ自作応答メッセージで応答する

（お買い求めのとき：**すべての相手先に自作応答メッセージを流す**）

留守設定中に電話がかかってきたとき、電話帳ダイヤルに登録してある相手先にだけ自分の声で、登録していない相手先には機械の声で応答メッセージを流すことができます。

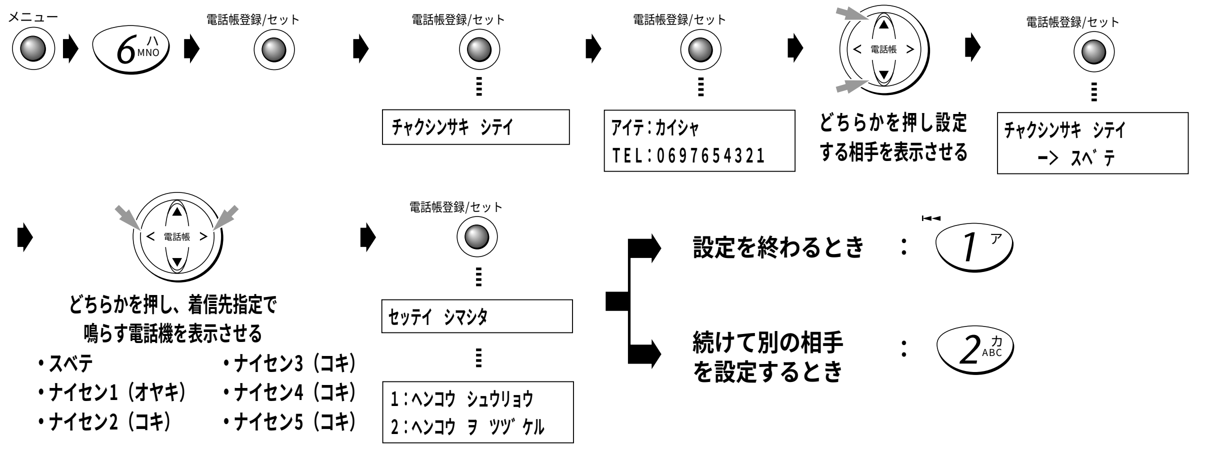


・相手先に流す自作応答メッセージは、留守設定のときと同じメッセージです。
・自作応答メッセージを録音していない場合は、すべて内蔵応答メッセージになります。
応答メッセージを録音／消去する（➡P62）

着信先を指定する相手先、着信先の電話機を設定する<着信先指定>

（お買い求めのとき：着信先指定**「スベテ」**）

電話帳ダイヤルに登録してある相手先からかかってきたときは、本体だけの着信ベルまたはコードレス電話機だけの着信ベルを鳴らすことができます。
着信ベルの鳴っていない本体やコードレス電話機でも電話に出ることができます。



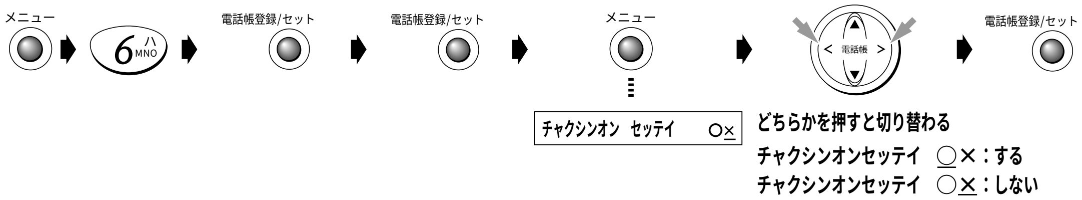
・**電話帳ダイヤルに登録されている番号に［＊］［#］［―］（ポーズ）が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、ナンバー・ディスプレイの機能が正常に働きません。電話帳ダイヤルに登録するときはご注意ください。**

“デンワバンゴウミトウロク”と表示された　**電話帳ダイヤルに何も登録されていません。**

かけてくる相手先によって着信音を変える<着信音設定>

（お買い求めのとき：**しない**）

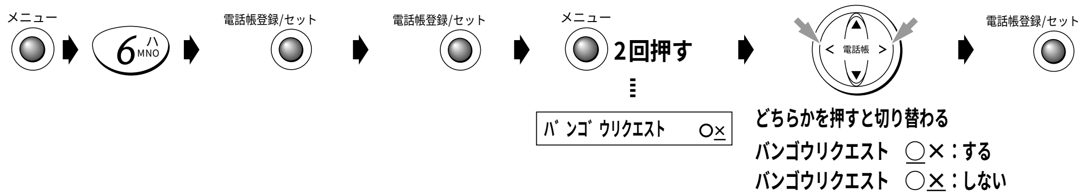
電話帳ダイヤルに登録してある相手先からかかってきたときは、通常とは違う着信音が鳴るようにすることができます。ただし、登録してある電話番号ごとに設定することはできません。



電話番号を通知してこない相手先にメッセージを流す<番号リクエスト>

（お買い求めのとき：**しない**）

非通知の相手先からかかってきたとき、着信ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に通話を切ることができます。
・非通知の相手先に流すメッセージ…「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」（内蔵応答メッセージ）



・番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も、非通知の相手先からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
・当社のナンバー・リクエストサービスではなく、本商品の機能です。かけた方には通話料がかかります。

電話を受けたくない相手先を設定する＜着信拒否＞（お買い求めのとき：**しない**）

着信拒否に登録してある相手先からかかってきたときに、着信ベルを鳴らさずにメッセージを流して電話を切ることができます。

• 着信拒否の相手先に流すメッセージ：「申し訳ありませんがお取り次ぎできません」（内蔵応答メッセージ）

■着信拒否機能を利用する／しないを設定する

メニュー ➡ 6（ハ MNO） ➡ 電話帳登録/セット ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 3回押す ➡ 電話帳（▲/▼） ➡ 電話帳登録/セット

表示：チャクシンキョヒ　○×

どちらかを押すと切り替わる

チャクシンキョヒ　○×：する

チャクシンキョヒ　○×：しない

• 着信拒否を「する」に設定すると、留守設定中も、着信拒否に登録されている相手先からの電話は留守録音やファクス受信ができません。

■着信拒否する相手先を登録する

受けたくない相手の電話番号（10件まで）を、あらかじめ着信拒否に登録しておきます。着信拒否に登録する場合、すでに登録されているリストの電話番号の次に登録されます。

メニュー ➡ 6（ハ MNO） ➡ 電話帳登録/セット ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 6回押す ➡ 電話帳登録/セット ➡ 1（ア）

表示：チャクシンキョヒ　リスト　ヘンシュウ ／ チャクシンキョヒ　リスト　1:トウロク　2:カクニン ／ 01)　TEL:_

➡ **相手の電話番号の入力** ➡ 電話帳登録/セット

市外局番から入力します

着信履歴の電話番号を着信拒否に登録したい

• コードレス電話機の着信履歴の番号は着信拒否に登録できません。

キャッチ/着信履歴 ➡ 電話帳（▲/▼） ➡ 電話帳登録/セット ➡ 2（カ ABC） ➡ ストップ

登録する相手を表示させる

“チャクシンキョヒ　リスト　フル”と表示された　**着信拒否を登録できるのは10件までです。リストから不要な電話番号を消去してください。**

■登録内容を確認する

メニュー ➡ 6（ハ MNO） ➡ 電話帳登録/セット ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー 6回押す ➡ 電話帳登録/セット ➡ 2（カ ABC）

表示：チャクシンキョヒ　リスト　ヘンシュウ ／ チャクシンキョヒ　リスト　1:トウロク　2:カクニン ／ 01)　TEL:0697654321

➡ 電話帳（▲/▼） ➡ ストップ

どちらかを押して確認する

“チャクシンキョヒ　リスト　ミトウロク”と表示された　**着信拒否する相手先が1件も登録されていません。**

■着信拒否リストから消去する

上記の操作で消去したい相手の電話番号を表示させる ➡ クリア

着信履歴の活用

電話がかかってきた日時と相手先の情報が、本体とコードレス電話機それぞれに着信履歴として自動的に記憶されます。着信履歴は本体に20件、コードレス電話機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから順番に消去されます。

- 電話やファクスを使用しているときは、着信履歴を見ることはできません。
- 停電すると本体の着信履歴は消去されます。
  また、コードレス電話機の電池パックを抜いたり電池がなくなったりするとコードレス電話機の着信履歴は消去されます。

着信履歴をプリントしたい

ナンバー・ディスプレイの着信履歴をプリントする（➔P72）

過去にかかってきた相手先を確認する＜着信履歴の表示＞

本体で

キャッチ/着信履歴 ➔ ▲▼（電話帳）他の着信データを見る ➔ ストップ

“チャクシンリレキ　ナシ”と表示された
着信履歴が記憶されていません。
ナンバー・ディスプレイサービスに加入していない場合、着信データは残りません。（➔ P76）

ディスプレイには、最新の着信履歴から順番に表示されます。

電話帳ダイヤルに登録している相手	電話帳ダイヤルに登録していない相手
着信した順番（最新から）／着信した日時	着信した順番（最新から）／着信した日時
01)　11/ 9 12:06 ｱｲﾃ:ｶｲｼｬ	01)　11/ 9 12:06 ｱｲﾃ:0697654321
相手の名前が表示されます	相手の電話番号が表示されます

コードレス電話機で

➔ 切 ➔ キャッチ／着信履歴（記憶された電話番号（最大10件）のうち最新のものを表示） ➔ ＃ または ＊（PB）（キャッチ／着信履歴）他の着信データを見る ➔ または 切

「ピピピ」と音がした　着信履歴が1件も記憶されていないときは「ピピピ」というエラー音が鳴り、「チャクシンリレキ　ナシ」と表示されます。

着信履歴の表示中に約30秒間なにも操作しない場合は、表示が消えます。

着信履歴を消去する

本体で

キャッチ/着信履歴 ➔ ▲▼（電話帳）消去したい着信データを表示させる ➔ クリア

ｼｮｳｷｮ　ｼﾏｽｶ?
1:ｼﾞｯｺｳ　2:ﾄﾘｹｼ

➔ 1（ア）

ｼｮｳｷｮ　ｼﾏｼﾀ

3秒後に次の着信データが表示されます ➔ ストップ

途中で消去をやめたいとき “ショウキョ　シマスカ？”と表示されたところで［2］を押してください。

コードレス電話機で

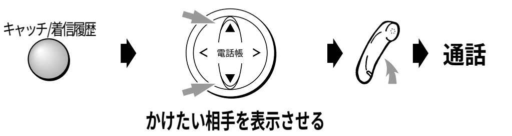
➔ 切 ➔ キャッチ／着信履歴 ➔ ＃ または ＊（PB）（キャッチ／着信履歴）消去したい着信データを表示させる ➔ クリア 約2秒間押す ➔ または 切

消去を中止したいとき　消去を中止したいときは［切］ボタンを押してください。

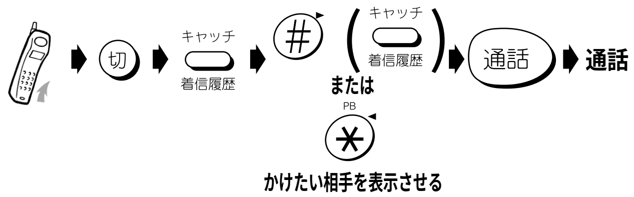
着信履歴を使って電話をかける〈蓄積番号発信〉

着信履歴の電話番号へ簡単に電話をかけることができます。

■本体で



■コードレス電話機で



“チャクシンリレキ　ナシ”と表示された　着信データが記憶されていません。

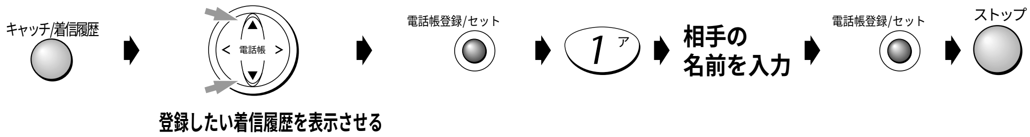
ファクスを送信したい

原稿をセットしてから、送信したい相手先を表示させ［スタート／コピー］ボタンを押してください。

着信履歴を電話帳ダイヤルに登録する<かんたん登録>

着信履歴の電話番号を電話帳ダイヤルに登録できます。コードレス電話機の着信データは、コードレス電話機の電話帳ダイヤルに登録できます。

■本体で

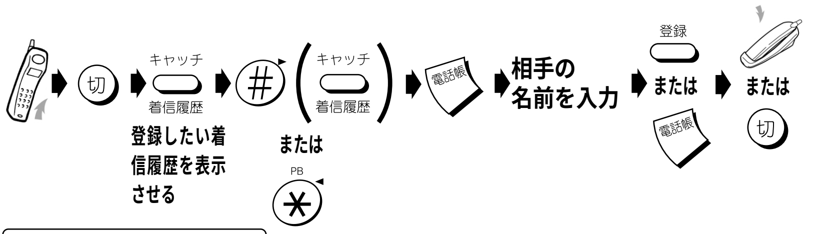


“チャクシンリレキ　ナシ”と表示された　着信データが記憶されていないので、登録できません。

“デンワチョウ　フル”と表示された　電話帳ダイヤルから不要な電話番号を消去してください。
電話帳ダイヤルの登録内容を消去する（➡P33）

文字入力のしかたがわからない　*文字の入力のしかた（➡P113）*

■コードレス電話機で



文字入力のしかたがわからない
文字の入力のしかた（➡P113）

「ピピピ」という音がした　「ヒツウチ」「コウシュウデンワ」などとして記憶された相手先を登録しようとすると、「ピピピ」というエラー音が鳴ります。

登録を中止したいときは　[切] ボタンを押してください。

留守中にかけてきた相手先を確認する<留守録着信データ>

留守設定中に電話がかかってくると、着信履歴の電話番号と同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、本体で用件を再生しながら相手の電話番号を確認することができます。外線リモートで用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手先であれば、応答メッセージが流れている間に相手先が通話を切っても記憶されます。

- 留守録着信データには次のような制限があります。
  - 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
  - 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
  - 電話帳ダイヤルや着信拒否に登録することはできません。

■本体で

留守中に録音された用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳ダイヤルに登録している相手	電話帳ダイヤルに登録していない相手
アイテ：カイシャ サイセイチュウ　　1/5	アイテ：0697654321 サイセイチュウ　　1/5
相手の名前が表示されます	相手の電話番号が表示されます

キャッチホン・ディスプレイについて

お話し中にキャッチホンが入ったとき、かけてきた相手の電話番号を約30秒間表示します。表示の見かたはナンバー・ディスプレイの表示と同じです。キャッチホン・ディスプレイを利用するためには、キャッチホンとナンバー・ディスプレイを契約（有料）したうえで、キャッチホン・ディスプレイの契約（有料）をしてください。

ダイヤルインも同時に利用したい

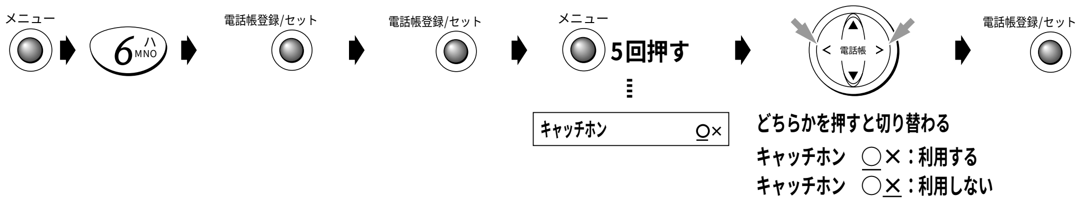
モデムダイヤルインに変更してください。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

ISDN回線を利用している

キャッチホン・ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する（お買い求めのとき：**利用する**）

当社のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。



キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

- キャッチホンが着信すると、「プルルー・プップッ」という音（キャッチホン着信音）のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間（約1秒間）お話しが途切れます。
- コードレス電話機でお話し中の場合、本体から電話番号情報を転送する間「ザッ」という雑音が聞こえます。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても、相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 通話録音中または通話再生中
  - 本体を使用中（コピー中、登録操作中）
  - 大声でお話ししたとき
  - 周囲の雑音が大きいとき

キャッチホン・ディスプレイの表示について

- 着信拒否リストに登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信すると、電話番号が表示されます。
- 番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手先もキャッチホン着信して“ ヒツウチ ”と表示されます。
- 着信先設定に指定されている電話番号も表示されます。
- キャッチホンに応答する前に相手の方が電話を切っても、約30秒間表示されます。
- キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。

ダイヤルインを使う

ここでは、当社のいろいろなサービスの利用のしかたを説明しています。

ダイヤルインを利用する

ダイヤルインを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

ご利用にあたって

ダイヤルインを利用するには、当社との契約（有料）が必要です。

- 本商品でダイヤルインを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
  - キャッチホン　－ 転送でんわ　－ トーキー案内
  - トリオホン　－ 電話会議　－ ボイスワープ
- いままで使っていた電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインが利用できないことがあります。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- **ブランチ（並列）接続では使えません。（➡ P20）**
- 電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 停電中は、電話もファクスも使えません。
- ダイヤルインが開始されていないときにダイヤルインの登録操作をすると電話が使えなくなることがあります。

ナンバー・ディスプレイを同時に利用するとき

モデムダイヤルインを契約してください。また、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください。
通常のダイヤルインは、ナンバー・ディスプレイと同時に利用できません。設定を「利用しない」（お買い求め時）に変更してください。
ナンバー・ディスプレイの設定（➡ P77）

- ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイの着信先指定が優先されます。このため、電話帳ダイヤルに登録されている相手先からかかってきたときは、着信ベルが鳴る電話機が変わることがあります。

ISDN回線を利用している

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本商品のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い求め時）のままにしてください。
ダイヤルインの登録（➡ P85）
INSネット64を利用するには（➡ P86）

契約のしかた

ご契約の際、次の内容を局番なしの116番または当社の営業所等へご連絡ください。

- 電話番号（送出番号）は「下4桁」
  「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
- ダイヤルインの利用開始日時を確認

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

- 電話用の番号に電話がかかってくると、着信ベルが鳴ります。
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、着信ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られたとき

電話用の番号にファクスが送られてくると、着信ベルが鳴ります。電話に出ると「ポー、ポー、ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっていますので、ファクスの手動受信の操作をしてください。
手動で受ける（➡ P49）

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき

ファクス用の番号に電話がかかってくると、着信ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

留守設定をしているとき

- **電話用の番号にかかってくると、留守番電話の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。**
- **ファクス用の番号にかかってきたときは、ファクスの受信だけできます。用件の録音はできません。**
- **コードレス電話機用の番号にかかってきたときは、コードレス電話機も着信ベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。**

ダイヤルインの利用例

契約および登録例を説明します。

・**Aの場合**
　ー 電話用とファクス用の番号を分けたい
　ー 電話がかかってきたら、本体もコードレス電話機も鳴らしたい

・**Bの場合**
　ー コードレス電話機を1台増設したい（➜ P103）
　ー 本体用とコードレス電話機2台用とで3つの電話番号を使い分けたい
　ー ファクス用の番号は必要ない

1 当社と契約する。

契約内容	Aの場合	Bの場合
契約者回線番号	03-1234-1111（電話用）	03-1234-1111（本体用）
ダイヤルイン追加番号	03-1234-2222（ファクス用）	1. 03-1234-2222（付属コードレス電話機用） 2. 03-1234-3333（増設コードレス電話機用）

2 ダイヤルイン開始後に、本商品の登録を行う。

必要な登録設定（➜ P83）	Aの場合	Bの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクスセンヨウ	○	×
ファクス	2222	登録なし
ナイセン1	1111	1111
キョウツウメイドウ	○*	×
ナイセン2	登録なし	2222
ナイセン3	登録なし	3333

*本体に電話がかかってきたときに、コードレス電話機の着信ベルも鳴らします。

3 以上で、次のように利用できるようになりました。

・Aに電話するときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号では着信ベルが鳴らず、電話に出られません。

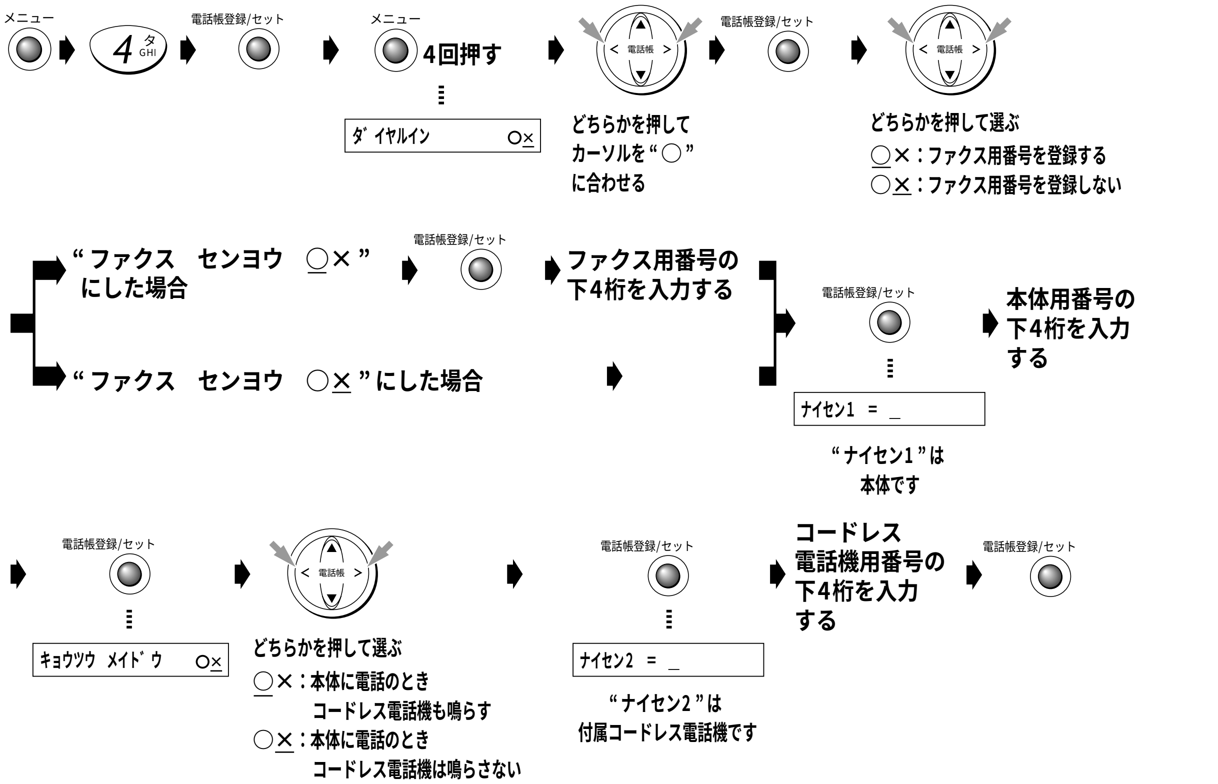
	動　作	ダイヤルする番号	本体の状態	コードレス電話機の状態
Aの場合	電話する	03-1234-1111	着信ベルが鳴る	着信ベルが鳴る
	ファクスする	03-1234-2222	着信ベルが鳴らずに、自動受信	着信ベルが鳴らない
Bの場合	本体に電話する	03-1234-1111	着信ベルが鳴る	着信ベルが鳴らない
	付属コードレス電話機に電話する	03-1234-2222	着信ベルが鳴らない	付属コードレス電話機の着信ベルだけが鳴る
	増設コードレス電話機に電話する	03-1234-3333	着信ベルが鳴らない	増設コードレス電話機の着信ベルだけが鳴る
	ファクスする	03-1234-1111	着信ベルが鳴り、自動受信	着信ベルが鳴らない

着信ベルが鳴っていない本体やコードレス電話機で電話に出た

着信ベルが鳴っているときと同じように電話に出ることができます。

ダイヤルインの登録（お買い求めのとき：**利用しない**）

- ダイヤルインが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行うと、電話がつながらなくなることがあります。



増設コードレス電話機があるとき

“ナイセン2”（付属コードレス電話機）用の番号を入力し、［電話帳登録／セット］ボタンを押すと、“ナイセン3＝＿”が表示されます。

電話番号を変更したいとき

同じ手順で最初から登録し直してください。

こんなときには

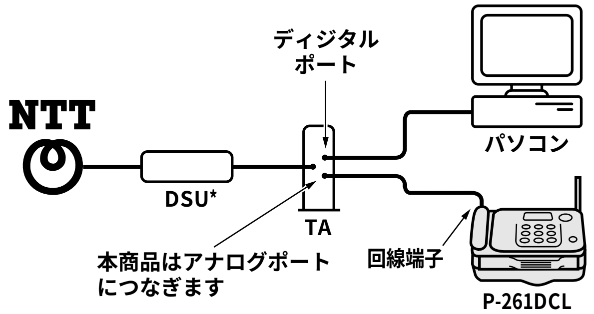
ここでは、必要に応じて見るためのいろいろな情報が記載されています。

INSネット64を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットやパソコン通信しながら電話が使えます。

ご利用にあたって

INSネット64を利用するには、当社との契約が必要です（有料）。また、本商品のほかに、次の機器が必要となります。
- ISDNターミナルアダプタ（TA）
- デジタルサービスユニット（DSU）



*：TAの機種によっては、DSUが内蔵されています。詳しくは、TAの取扱説明書をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用したい

INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

ダイヤルインを利用したい

TAの取扱説明書に従い、設定してください。TAの機種または設定によって、本商品のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合は「ダイヤルインを利用しない」に設定してください。
ダイヤルインの登録（➡ P85）

電話帳登録で「ポーズ」を入力する際のご注意

TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、電話をかけられないことがあります。

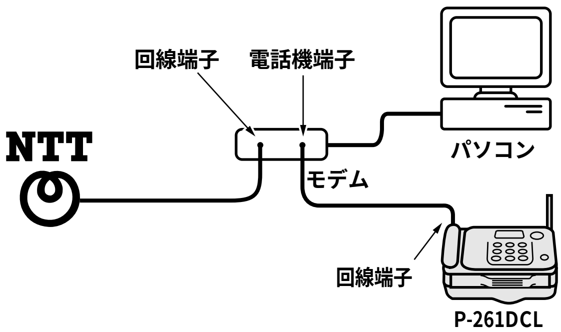
必要な設定

回線種別はTAの取扱説明書をご覧のうえ、設定してください。
回線種別の手動設定（➡ P29）

パソコンやモデムにつなぐには

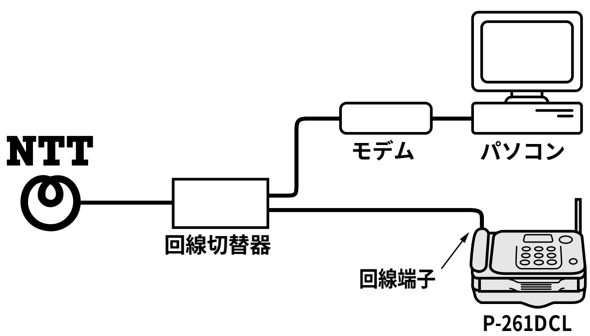
INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信する場合、モデム内蔵パソコンやモデムに本商品をつなぎます。

- モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるようにするときは、本商品の「ファクス／電話自動切替」が働く前に着信するようにしてください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本商品を操作しないでください。
- 本商品でお話し中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本商品でのお話しや通信が切れます。
- モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手動で設定してください。
  回線種別の手動設定（➡ P29）



回線切替器を使いたい

下図のようにつなぎます。

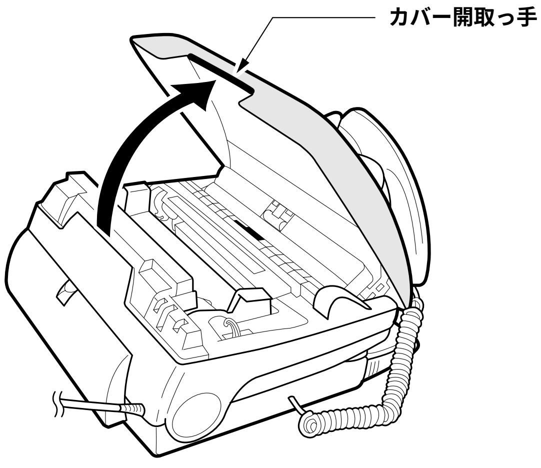


“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示されたとき

“ キロクシガ　ツマリマシタ ”と“ カバーヲ　アケテクダサイ ”が交互に表示される場合は、記録紙がつまったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。
カバーを開け、記録紙がつまっているかどうかを確認してください。

本体後部のカバー開取っ手を矢印の方向に引き上げてカバーを開けてください。

• ハンドセットを付けている場合は、手で支えた状態でカバーを開けてください。そのまま勢いよくカバーを開けると、ハンドセットが落ちる場合があります。



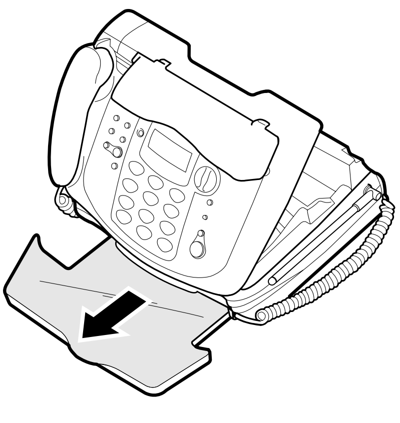
記録紙がつまっていなかった場合

給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。
記録紙カセットの清掃　　　（➔ P94）
記録紙給紙用ローラの清掃（➔ P95）

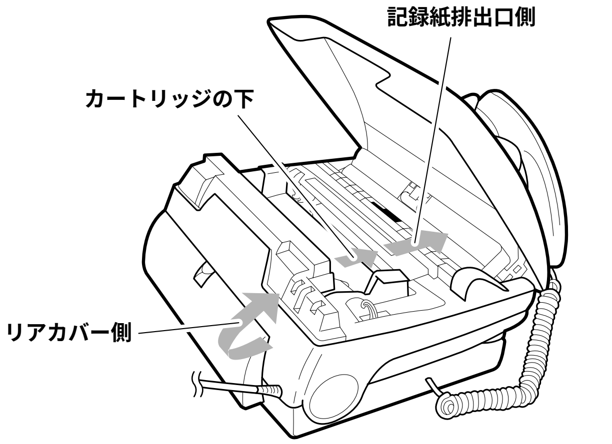
記録紙がつまっていた場合

• 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を本体の中に残さないようにすべて取り除いてください。

1　記録紙カセットを取り外す。



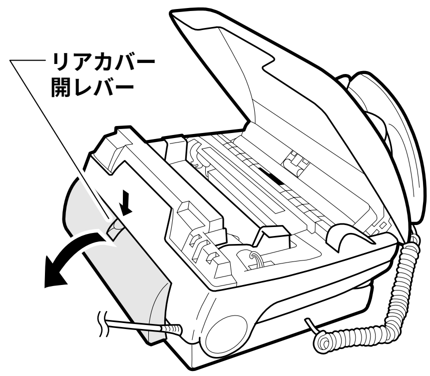
2　記録紙がどこにつまっているかを確認する。



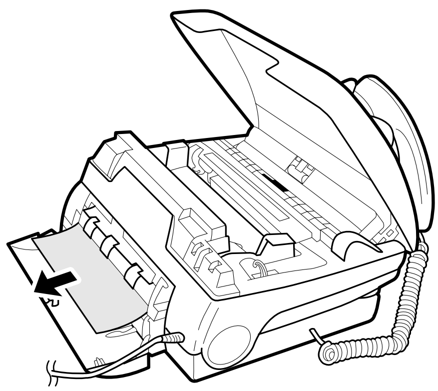
リアカバー側でつまっているとき　　　（➔本ページ下）
記録紙排出口側でつまっているとき　　（➔ P88）
カートリッジの下でつまっているとき（➔ P88）

リアカバー側でつまっているとき

1　リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける。



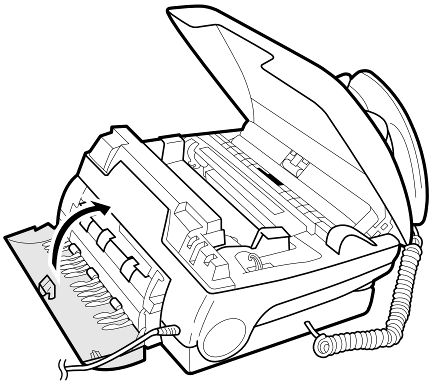
2　記録紙を取り除く。



（次ページへ続く）

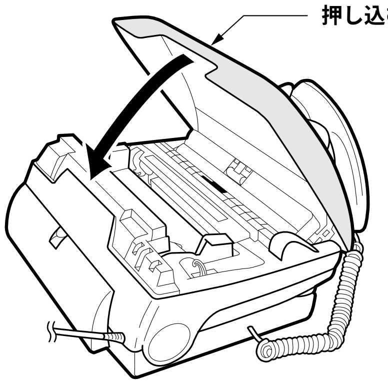
3 リアカバーを閉める。

- リアカバーを閉めるときは、リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。

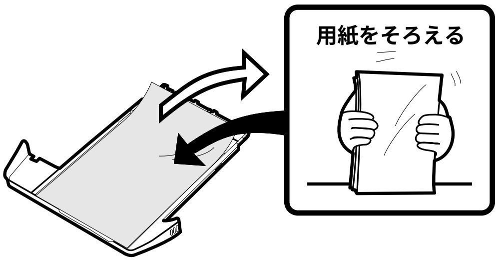


4 カバーを閉じる。

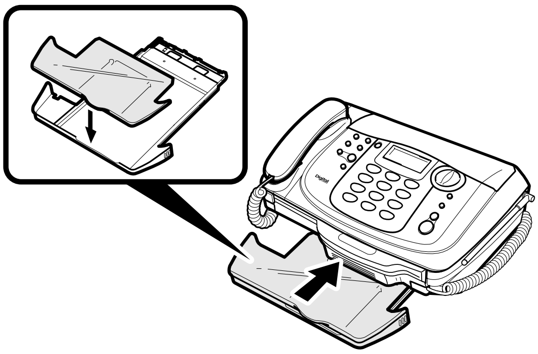
カバーの中央部を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



5 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れ直す。



6 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける。



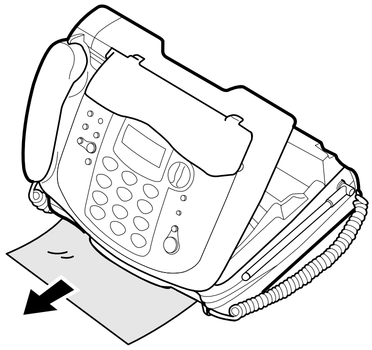
■記録紙排出口側でつまっているとき

1 カートリッジを取り外す。

インクリボンカートリッジの取り外し（➜P21）

- 感熱紙を使用しているときは、カートリッジを取り外す必要はありません。緑色の解除レバーを押し上げながら（➜P21）、記録紙を取り除いたあと、手順4へ進んでください。

2 記録紙を取り除く。



3 カートリッジを取り付ける。

カートリッジの取り付け（➜P22）

4 カバーを閉じる。

5 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れ直す。

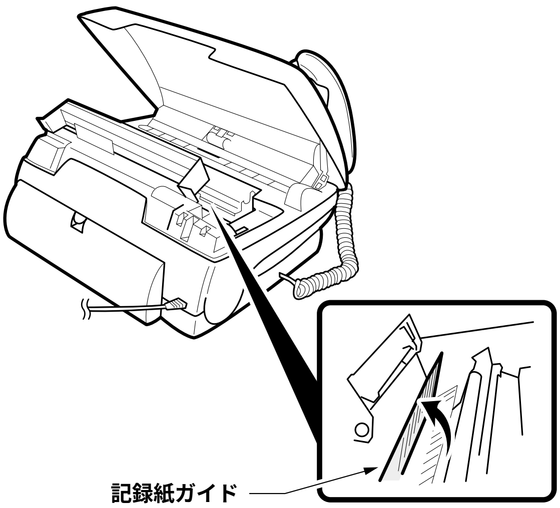
6 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける。

■カートリッジの下でつまっているとき

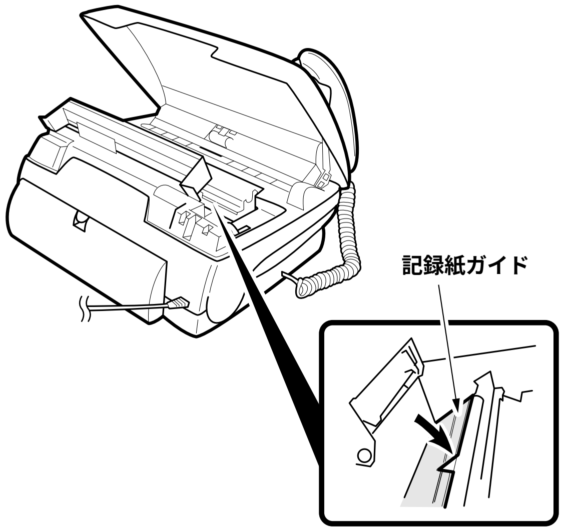
1 カートリッジを取り外す。

インクリボンカートリッジの取り外し（➜P21）

2 記録紙ガイドを矢印の方向に起こし、記録紙を取り除く。



3 記録紙ガイドをもとに戻す。



4 カートリッジを取り付ける。

カートリッジの取り付け（➔ P22）

5 カバーを閉じる。

6 記録紙カセットのカバーを取り外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れ直す。

7 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける。

“ XXXX　カクニン ” と表示された

次のうちのいずれかが表示されたときは、そのカバーが浮いています。確実に閉めてください。

- **“ カバー　カクニン ”**
- **“ リアカバー　カクニン ”**
- **“ キロク　カバー　カクニン ”**

“ キロクシガ　ツマリマシタ ” とくり返し表示された

記録紙カセットの奥の斜面と、記録紙給紙用ローラを清掃してください。
記録紙カセットの清掃　（➔ P94）
記録紙給紙用ローラの清掃（➔ P95）

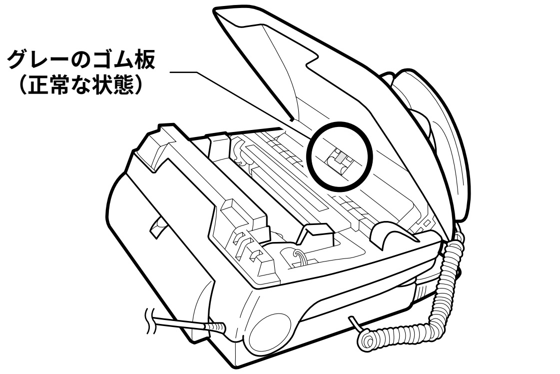
“ ゲンコウ　カクニン ” と表示されたとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまっています。

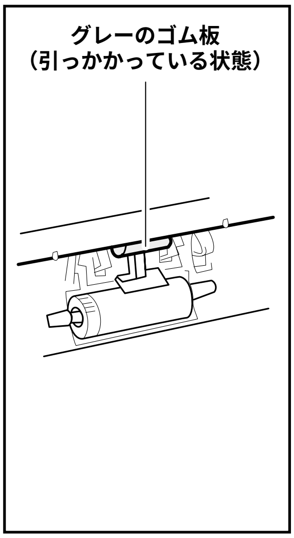
1 カバーを開ける。

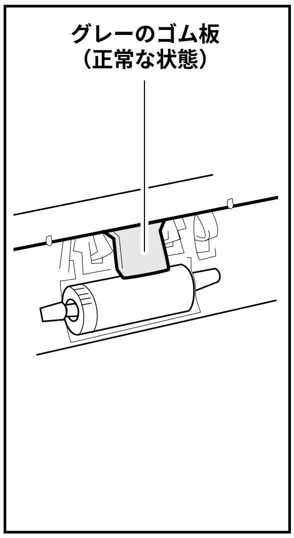
2 原稿を取り除く。

3 内部のグレーのゴム板の状態を確認する。



グレーのゴム板が引っかかっていたら、ゴム板に指をかけて右下の図のようにもとに戻してください。





4 カバーを閉じる。

- カバーは確実に閉じてください。カバーが確実に閉じていないと原稿づまりの原因となります。
- 原稿セットガイドを合わせていない場合、原稿が小さい場合にも “ ゲンコウ　カクニン ” が表示されることがあります。
  原稿セットのしかた（➔ P45）

“ ゲンコウ　カクニン ” と “ ローラヲ　セイソウシテクダサイ ” が交互に表示された

原稿送り用ローラを清掃してください。
原稿送り用ローラの清掃（➔ P94）

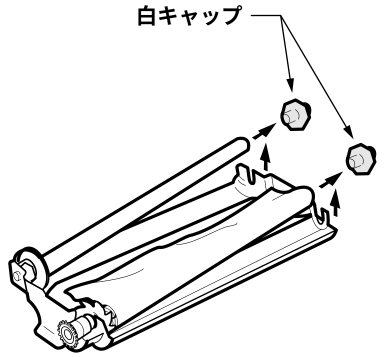
インクリボンを交換する

- 必ず、指定（形名：ファクシミリ用P形A4インクリボン（2））のインクリボンを使用してください。
  指定以外のインクリボンを使用すると、故障や印字かすれなどの原因になることがあります。

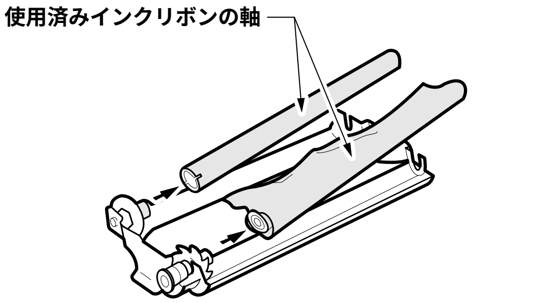
1 カートリッジを取り外す。

インクリボンカートリッジの取り外し（➡ P21）

2 カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取り外す。

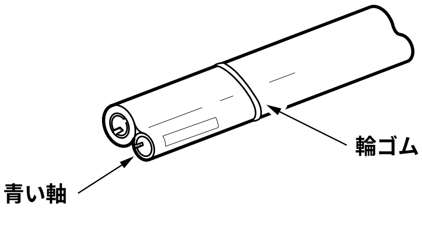


3 使用済みインクリボンの軸2本を取り外す。

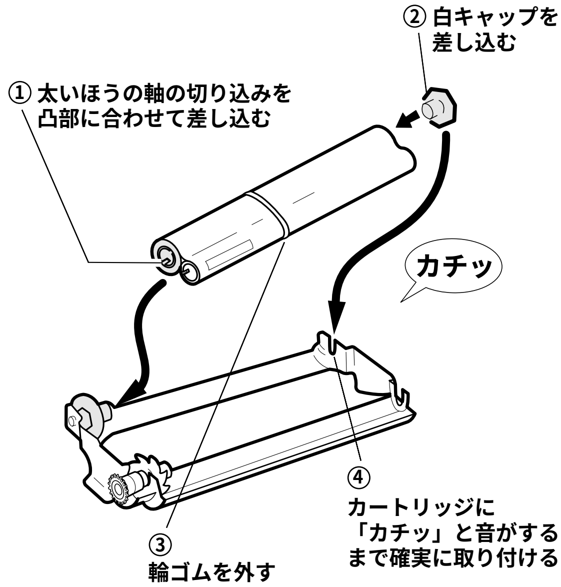


4 新しいインクリボンを用意する。

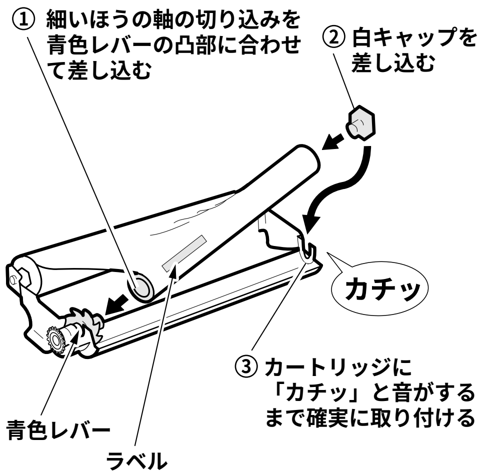
袋から取り出します。
輪ゴムは、まだ外さないでください。



5 インクリボンの太いほうの軸をカートリッジに取り付ける。



6 インクリボンの細いほうの軸をカートリッジに取り付ける。



7 カートリッジを取り付ける。

カートリッジの取り付け（➡ P22）

インクリボンの処分方法について

- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容をほかの人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- インクリボンの芯は紙、フィルム部分はポリエチレン、カーボンパラフィンなどでできています。
  使用済みのインクリボンは、お住まいの地域で定められた分別により廃棄してください。

コードレス電話機が通話できる範囲から外れたとき（圏外）

屋内モードでご利用のときは、本体から見通し距離で１００ｍ以内で、お話しをしながら自由に移動できます。お話し中にお話しできる範囲から外れると（圏外）、「ピピッ…ピピッ…」という警報音などでお知らせします。

待ち受け中に通話できる範囲から外れると

ディスプレイの Y が消えます。
基本的に登録・設定の操作をすることはできますが、電話をかけることや受けることはできません。
圏外のときに電話をかけようとすると、ディスプレイに「ケンガイ」と表示され、「ツーツー・・」という音が鳴り、電話をかけることはできません。約10秒後に通常の待ち受け状態に戻ります（［切］ボタンを押すとすぐに待ち受け状態に戻ります）。
Y が表示される場所まで、本体に近づいてご利用ください。

お話し中にお話しできる範囲から外れると

ディスプレイの Y が消えて「ピピッ・・ピピッ・・」という警報音が鳴り、相手の方の声が聞こえなくなります。
警報音が鳴らない電波の強い場所（Y が表示される場所）まで、本体に近づいてご利用ください。

コードレス電話機の電池の残量がなくなったとき

電池の残量がなくなると、「ピッ・・・ピッ・・・」という警報音が鳴り、ディスプレイに「デンチ ジュウデン」と表示されます。このようなときは、すみやかに充電器に置いてください。
お使いにならないときは、充電器に置いて常に充電するようにしてください。

通話中に電池がなくなると

「ピッ・・・ピッ・・・」という警報音が鳴り、ディスプレイに「デンチ　ジュウデン」と表示されます。［切］ボタンを押してお話しをすみやかに終わらせて、充電器に置いてください。
- そのままお話しを続けると約1分後に自動的に通話が切れ、本体は保留となります。コードレス電話機は「デンチ ジュウデン」と表示されたまま操作ができなくなります。
- ［電源］、［切］、［キャッチ／着信履歴］、［保留／ドアホン／内線］、ダイヤルボタン以外のボタンが使えなくなります。

通話中以外に電池がなくなると

「ピッ・・・ピッ・・・」という警報音が鳴り、ディスプレイに「デンチ　ジュウデン」と表示されます。すみやかに充電器に置いてください。
- 充電器に置かずに放置していると約1分後に警報音が止まり、「デンチ　ジュウデン」と表示されたまま操作ができなくなります。

コードレス電話機で通話中に自分の声が遅れて聞こえるとき

コードレス電話機で通話中に受話口から自分の声が少し遅れて聞こえて、お話ししにくくなるときがあります。このようなとき、エコーサプレスを設定することができます。

エコーサプレスの設定

お買い求めのとき：**エコーサプレスしない**

1 メニュー **を押す。**
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 3 サ DEF **を押す。**
ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ

3 電話帳登録/セット **を押す。**
ﾊｯｼﾝﾓﾄｷﾛｸ ○×

4 メニュー **を6回押す。**
ｴｺｰｻﾌﾟﾚｽ ○×

5 電話帳 **を押し “○”を選択する。**
ｴｺｰｻﾌﾟﾚｽ ○×

6 電話帳登録/セット **を押す。**
ｶﾝﾘｮｳ

電池パックを交換するとき

電池パックについて

- 電池パックは必ず本商品専用のものをお使いください。
- 新しい電池パックは、充電されていません。電池パックを交換したときは、コードレス電話機の場合は充電器に置いて9時間以上、充電してください。
- ハンドスキャナの場合は、ハンドスキャナ用コードを付けたままだと、充電されていなくてもハンドスキャナを使用することができますが、ハンドスキャナをコードレスで使用する場合は、6時間以上充電してから使用してください。
- 本電池パックは、リサイクル可能なニカド電池です。交換の際は当社のサービス取扱所にご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

Ni-Cd

⚠危険

火災、感電、やけど、けがを避けるために

- ●コードレス電話機の充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- ●電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機やハンドスキャナに接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- ●電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- ●専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- ●電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。
  - 火の中に投入したり、加熱しない。
  - 直接はんだ付けしない。
  - 赤（プラス）・黒（マイナス）のコードおよびその端子を針金などの金属類で接触しない。
- ●電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- ●電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

コードレス電話機の電池パックを交換する

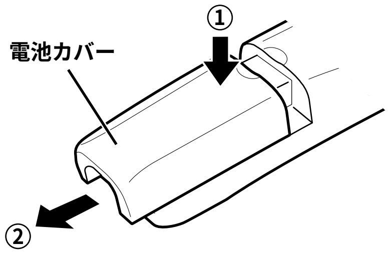
充電しても、お話し中にすぐに電池がなくなり、お話しができないようになったら、新しい電池パックと交換してください。電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。

- 電池パックを交換しても、電話帳ダイヤルに登録されている電話番号は消去されません。
- 充電を始めてもしばらくの間（約5分）着信／充電ランプが点灯しないことがありますが、故障ではありません。

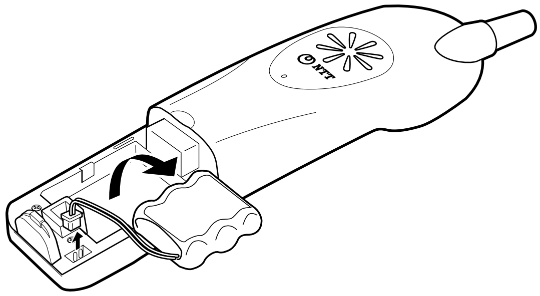
- 電池接続用のコードを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- コードを挟まないように注意してください。
- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。
- 電池パックを入れていない状態で、コードレス電話機を充電器に置かないでください。

1 **電池カバーを取り外す。**

①の部分を押しながら、②の方向へスライドさせて、電池カバーを取り外します。

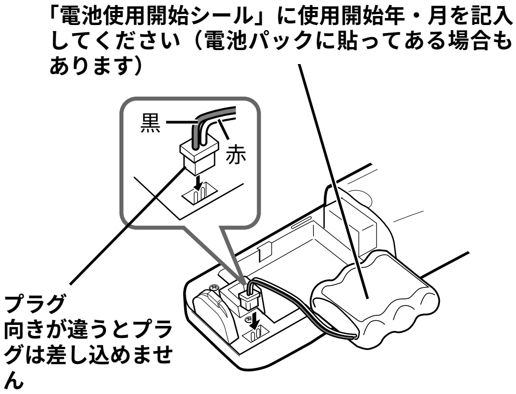


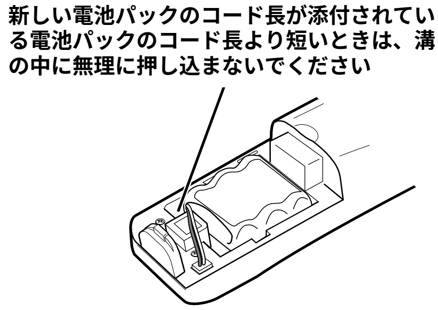
2 **古い電池パックを取り出す。**

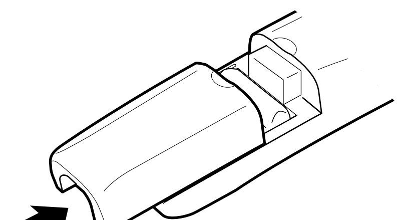


3 **新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける。**

新しい電池パックのプラグを差し込んでから、電池パックを押し込みます。







4 **充電器に置いて充電する。**

新しい電池パックは充電されていません。9時間以上、充電してください。

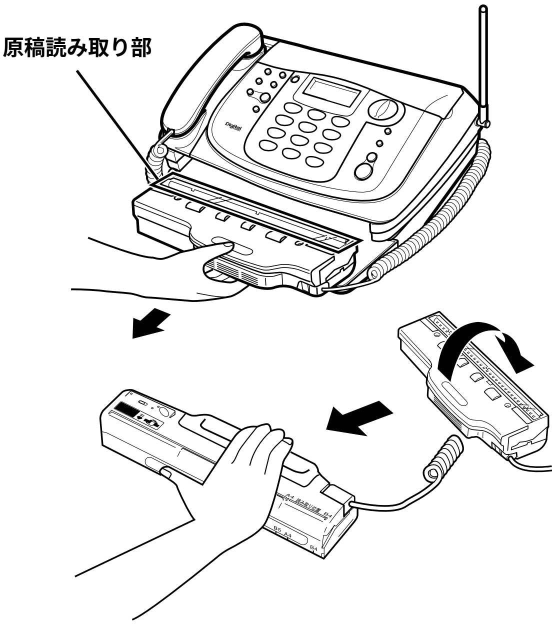
ハンドスキャナの電池パックを交換する

コードを外してハンドスキャナを使用するとき、電池パックが充電されていてもすぐに電池がなくなるようになったら、新しい電池パックと交換してください。電池パックの寿命は、通常の使用で約2年です。必ず本体の電源を切った状態で行ってください。

- ハンドスキャナ用電池パックは、2個セットです。交換するときは、必ず2個とも交換してください。
- 電池接続用のコードを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。

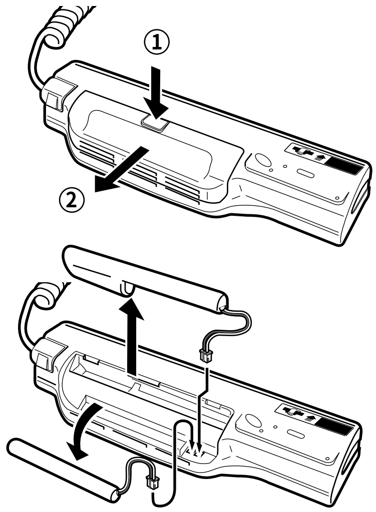
1 ハンドスキャナを本体から外して裏返す。

図の矢印の方向に引き抜いてください。
原稿読み取り部にはさわらないようにご注意ください。



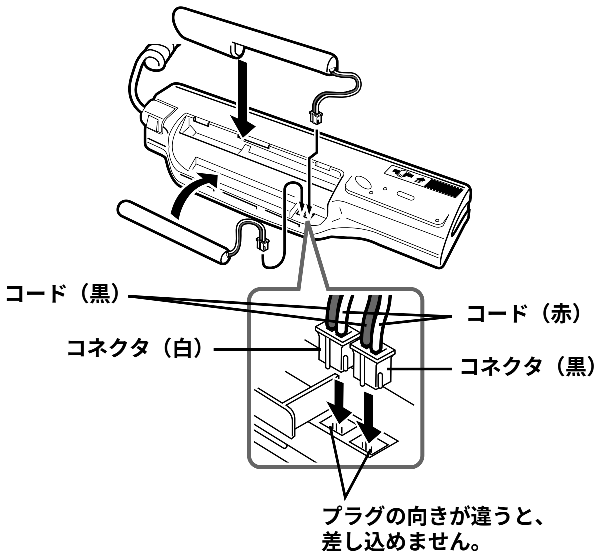
2 電池カバーを取り外し、古い電池パックを外す。

①の部分を押しながら、②の方向へスライドさせて、電池カバーを取り外します。



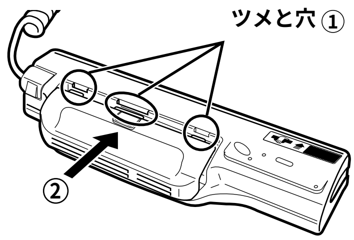
3 ハンドスキャナ用電池パックを入れる。

電池パックのプラグを奥まで確実に差し込んでから入れます。コードを挟まないように注意してください。



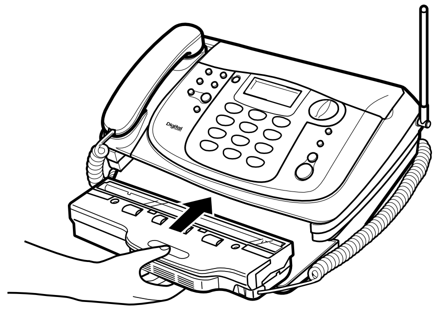
4 電池カバーを取り付ける。

ツメを①の穴に合わせ、②の方向へスライドさせて、電池カバーを取り付けます。コードを挟まないように注意してください。



5 ハンドスキャナを本体に戻す。

原稿読み取り部を上に向けて、本体に押し込みます。矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



- ハンドスキャナを本体に戻すときは、ハンドスキャナ用コードを挟まないように注意してください。断線の原因になることがあります。

お手入れのしかた

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

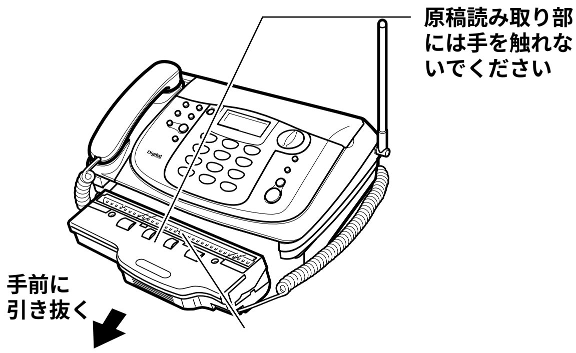
本体、コードレス電話機の外装の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞ってふき取り、最後に乾いた柔らかい布でふいてください。
水ぶきをするときは、布を固く絞ってからふいてください。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の方が受信した原稿に汚れが出てしまいます。原稿読み取り部は、定期的に月に1回程度清掃し、いつもきれいにしておいてください。

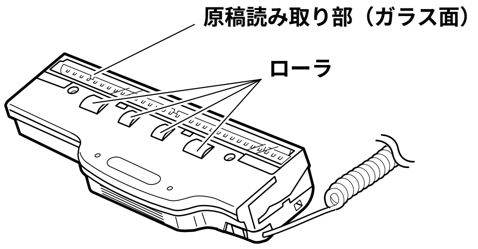
1 ハンドスキャナを外す。



2 ガラス面を柔らかい布でふく。

3 ローラをふく。

水にひたした布を固く絞って、ふいてください。



4 ハンドスキャナを戻す。

原稿読み取り部を上に向けて、本体に押し込みます。

記録紙カセットの清掃

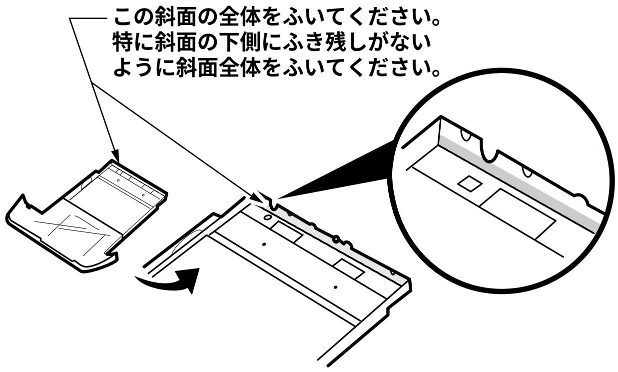
記録紙カセットが汚れると、記録紙給紙不良の原因となります。記録紙カセットは、定期的に（月に1回程度）清掃してください。

1 記録紙カセットを引き抜き、カセットのカバーを外す。

2 記録紙を取り出す。

3 記録紙カセットの下図の部分をふく。

水にひたした布を固く絞ってふいてください。
斜面に傷を付けないように、柔らかい布を使用してください。



4 記録紙を入れて、カセットのカバーを取り付ける。

5 記録紙カセットを取り付ける。

原稿送り用ローラの清掃

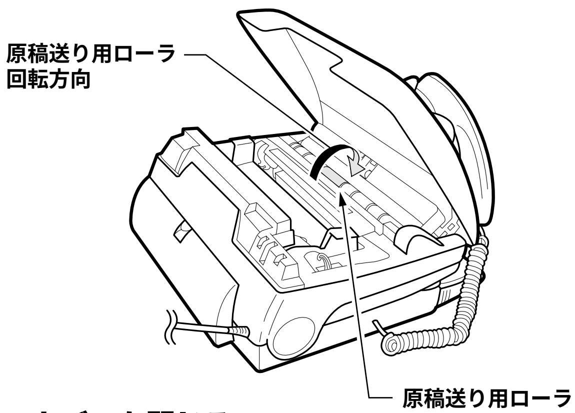
原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因になります。定期的に（月に1回程度）清掃してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 カバーを開ける。

3 原稿送り用ローラをふく。

水にひたした布を固く絞り、原稿送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体をふきます。



4 カバーを閉じる。

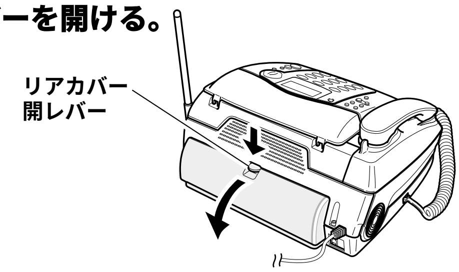
5 電源プラグをコンセントに差し込む。

記録紙送り用ローラの清掃

長い間使用していると記録紙送り用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。定期的に（月に1回程度）清掃してください。

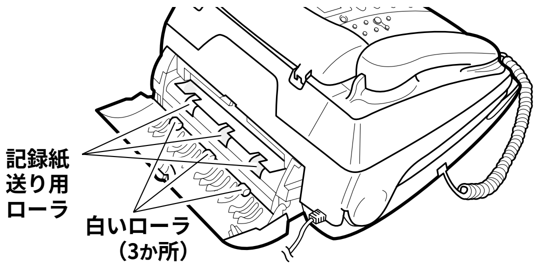
1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける。



3 記録紙送り用ローラをふく。

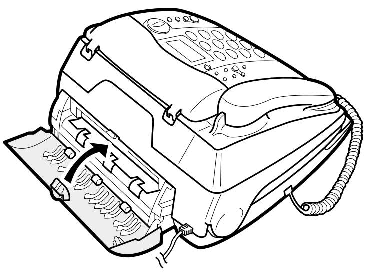
水にひたした布を固く絞り、記録紙送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体をふきます。



• 清掃の際、リアカバーの白いローラに触れないようにしてください。

4 リアカバーを閉じる。

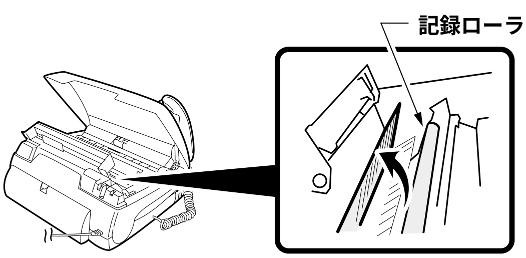
リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む。

記録ローラの清掃

記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。
水にひたした布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体をふきます。

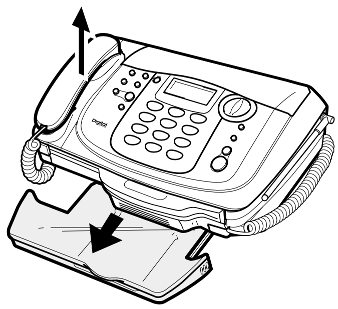


記録紙給紙用ローラの清掃

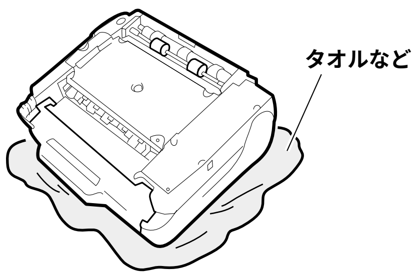
長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。定期的に（月に1回程度）清掃してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 記録紙カセットとハンドセットを取り外す。

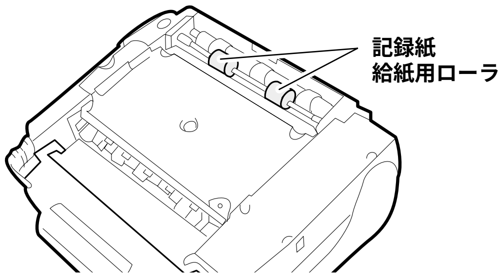


3 タオルなどを数枚重ねた上に、本体を裏返して置く。

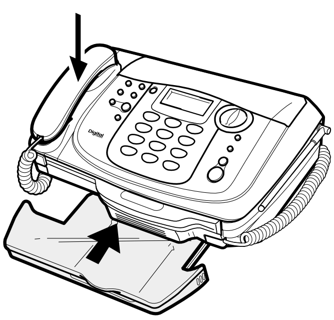


4 記録紙給紙用ローラをふく。

水にひたした布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体をふきます。



5 本体を表に戻し、記録紙カセットとハンドセットを取り付ける。



6 電源プラグをコンセントに差し込む。

“ ツウシン　イジョウ ” が表示されたとき

ファクス送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに “ ツウシン　イジョウ ” と表示されたり、不達レポートがプリントされます。主な通信異常（ツウシン　イジョウ）の対処方法は、次のとおりです。

- 原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。
  原稿を正しくセットし、もう一度送り直してください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P45）
- 記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P23）
- 記録紙がつまりました。取り除いてください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P87）
- 原稿がつまりました。セットし直してください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P89）
- カバーが開いています。カバーを閉めてください。

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。再度送受信してみてください。

停電したとき

停電したときや本体の電源プラグをコンセントから抜いたときは、本体、コードレス電話機ともに使用できません。停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	• コードを付けたままのハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書・・・（ ➔ P54） • 再ダイヤルに記憶されている電話番号（本体）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P31） • 時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P24、68） • メモリ送信でメモリに読み込んだ送信原稿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P47） • 着信履歴に記憶されている電話番号（本体）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P80）
消えない情報	• メモリ代行受信文書・・・（ ➔ P50） • 留守番電話に録音した応答メッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P62） • 留守番電話に録音された用件・・・（ ➔ P61） • 通話録音した内容・・・（ ➔ P44） • 登録した電話番号や各種の設定値 • 通信管理レポート・・・（ ➔ P73） • ハンドスキャナをコードレスで使用している場合のハンドスキャナのメモリに記憶されている文書・・・・（ ➔ P55） • 再ダイヤル／スタッキングダイヤルに記憶された電話番号（コードレス電話機）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（ ➔ P35）

停電が復旧したとき

- **停電が復旧すると、本商品は自動的に使用できる状態に戻ります。**
  ― 消えてしまった情報があるときは停電が復旧したときにメモリクリアレポートが自動的に出力されます。
- **停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化され、2000年1月1日0時0分になります。**
  この場合は、時刻を合わせてください。（ ➔ P24、68）

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア　レポ゜ート

カイシャ

イカノ　ナイヨウカ゛、テイテ゛ンニヨリ　クリア　サレマシタ。

ハント゛スキャナ　ソウシン　フ゛ンショ

ウケツケ　ニチジ	ツウシン　ジ゛カン	ア　イ　テ　サ　キ	モート゛	マイスウ	ツウシン　ケッカ
11．　9　12:06	0’00”	0697654321	ECM	1	テイテ゛ン

困ったときは（Q&A）

困ったときは、修理に出す前に次の点を確認してください。

	こんなときには	内　容	参照ページ
待機中	ディスプレイになにも表示されない	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	➔P24
	“カバー　カクニン”と表示が出た	• カバーが開いています	—
	“リアカバー　カクニン”と表示が出た	• リアカバーが開いています	—
	“キロクシガ　ツマリマシタ”“カバーヲアケテ　クダサイ”と交互に表示が出た	• 記録紙がつまっていませんか？ • 記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください • 記録紙がつまっている場合は、カバーを開けて記録紙を取り除いてください	➔P87 ➔P94 ➔P95 ➔P87
	“フツウシヲ　イレテクダサイ”(フツウシモード)“カンネツシヲ　イレテクダサイ”(カンネツシモード)と表示が出た	• 記録紙がなくなっています • 記録紙カセットが外れていませんか？	➔P23
	“インク　リボン　カクニン”と表示が出た（フツウシモード時）	• インクリボンがなくなっています	➔P90
	“インジモード　1：カンネツシ　2：フツウシ”または“キロク　カバー　カクニン”と表示が出た	• 記録カバーが開いている場合があります	➔P22
	“インクリボンヲトッテクダサイ”と表示が出た（カンネツシモード時）	•（感熱紙モードでは不要の）インクリボンがセットされています。（インクリボンが取り付けられた状態で）カートリッジを取り外してください	➔P71
電話（本体／コードレス電話機）	ハンドセットからなにも聞こえない	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ • 電話回線が接続されていますか？ • ハンドセットのコードは接続されていますか？ • コードレス電話機を使用中ではありませんか？	➔P24 ➔P29 ➔P23 ➔P31
	電話を受けられるが、かけることができない	• 回線種別の設定が合っていますか？ • ターミナルアダプタを使用していませんか？	➔P29 ➔P86
	電話をかけることはできるが、受けることができない	• ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にしてください。 • ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本体のダイヤルインの設定を「しない」にしてください	➔P77 ➔P85
	着信ベルが鳴らない	• 着信ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	➔P33
	着信ベルの音が小さい（大きい）	• 着信ベルの音量を調整してください	➔P33
	着信ベルが鳴り、電話を取りあげたがなにも聞こえない	• 相手先がファクスかもしれません。[スタート／コピー] ボタン（コードレス電話機では [内線／ドアホン／保留] ボタンを押したあと [6]）を押してみてください	➔P49
	相手の方の声が聞きとりにくい	• 音量調整をしてください	➔P31
	プッシュ信号の送出のしかたは？	• ➔ P39をご覧ください	—
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	• ➔ P49、68、69をご覧ください	—
	公衆電話で電話をかけた相手の方から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出ベルが少しおかしいと言われた	• ➔ P49、69をご覧ください	—
	電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか？	• 相手先が当社のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます • ファクス送信のときは、自分の電話番号を登録している場合、その番号が相手の機種に表示されます	➔P76 ➔P66
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルしたときはつながるが、電話帳ダイヤルではつながらない	• ➔ P32をご覧ください	—
	本体からコードレス電話機を呼び出せない	• コードレス電話機を本体に近づけてみてください • 本体のアンテナの向きを変えてみてください • テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください • 近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ • コードレス電話機は充電されていますか？	➔P27 ➔P26
	お話し中に雑音が入る	• メモリプリント中や、コピー中にハンドセットから本体の動作音が聞こえることがありますが故障ではありません。動作が終了するまでお待ちください	—

	こんなときには	内　容	参照ページ
電話（コードレス電話機）	コードレス電話機から「ツー」という音がしない 電話がかけられない	• 本体の電源プラグを確認してください • [通話] ボタンを押してください • コードレス電話機を充電してください • 本体の回線が接続されているか確認してください • 本体の回線種別の設定がご使用の回線の種別に合っているか確認してください	➔P24 ➔P25 ➔P29 ➔P29
	お話し中に声がとぎれたり雑音が入る	• 本体に近づいてみてください • 本体のアンテナの向きを変えてみてください • テレビやラジオなどから離れてみてください • 蛍光灯が近くにあったら離してください • コードレス電話機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してください	 ➔ P4
	電話を取りあげたがなにも聞こえない	• コードレス電話機を充電してください	➔P25
	着信ベルが鳴らない	• 着信ベルが鳴らないように設定していないか確認してください • [切] ボタンを押して一度電話を切ってください • 本体に近づいてみてください • 本体のアンテナの向きを変えてみてください • 本体の電源プラグを確認してください • コードレス電話機を充電してください • 着信先指定が設定されていると、相手先によっては着信ベルが鳴らないことがあります	➔P38 ➔P24 ➔P25 ➔P78
	お話し中にすぐに電池がなくなる	• 電池パックを交換してください	➔P92
	相手の方の声が聞き取りにくい	• 受話音量を調節してください	➔P34
	ハンズフリー通話のとき、相手の方の声が聞き取りにくい	• モニタスピーカ音量を調節してください	➔P35
	お話し中に「ピピッ・・ピピッ・・」という音が鳴り出した	• 本体から離れすぎています。本体に近づいてください • このまま約30秒たつと本体が保留となり、コードレス電話機ではお話しができなくなります。お話しを続けたいときは、コードレス電話機の [通話] ボタンと [ハンズフリー] ボタンと「☎」が低速で点滅するところまで本体に近づき、保留を解除してください。さらに1分以上たつと通話が切れます	➔P27 ➔P38 ➔P91
	電話をかけようとしたら「ピッピッ」という音が鳴りだした	• 本体から離れすぎています。本体に近づいてください	➔P91
	お話し中に「ピッ・・・ピッ・・・」という音が鳴りだした	• 電池が残り少なくなっています。充電器に置いて充電してください。お話しを続けたいときは、一度保留にして本体に転送して、ハンドセットでお話しをしてください	➔P25
	[着信／充電] ランプが点灯しない	• 充電器に正しく置いてください	➔P25
	増設したコードレス電話機が使えない	• 増設したコードレス電話機に対する識別番号（IDコード）の登録が必要です。詳しくは、局番なしの116番または当社の営業所等にお問い合わせください	➔P103
	キャッチホンの着信音が聞こえているときに [キャッチ／着信履歴] ボタンを押しても、お話しの相手が切り替わらない	• 本体でコピー中か登録中のときは、[ストップ] ボタンを押して、コピーや登録を止めてください	➔P82
ファクス（コピー）	コピーが白紙になる	• コピーする面を**裏に向けて**原稿をセットしましたか？ • 感熱紙モードで普通紙をセットしていませんか？ • 感熱紙の印字面を**裏に向けて**セットしましたか？	➔P45 ➔P71 ➔P23
	コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた	• [ストップ] ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります • 原稿がつまっています • 記録紙の給紙不良です • 記録紙がつまったか、なくなっています	 ➔P89 ➔P95 ➔P87
	コピーがかすれた コピーが薄い	• 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーを取ってください	➔P46
	コピーが鮮明でない	• 原稿読み取り部を清掃してください • 当社推奨品の記録紙を使用してください	➔P94 ➔P19、103
	コピーの左端が欠けて印字される	• A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせてコピーをすると、左側約2～3 cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください	➔P45
	記録紙の裏面が汚れる	• 記録ローラを清掃してください	➔P95

	こんなときには	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	原稿をセットすると“ゲンコウ　カクニン”の表示が出る	• いったんカバーを開け、カバーを閉じてください • 原稿送り用ローラを清掃してください	ー ➜P94
	原稿をセットしたのに“ゲンコウ　ガアリマセン”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	• 原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください • 原稿が厚すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください） • 原稿が薄すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください） • 原稿が小さすぎます（ハンドスキャナを使って送信してください） • 装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっていないか確認してください。引っかかっていたら戻してください • 原稿送り用ローラを清掃してください	➜P45 ➜P52 ➜P52 ➜P52 ➜P89 ➜P94
	原稿が斜めに入った	• 原稿を取り除き、もう一度やり直してください • 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください • 原稿送り用ローラを清掃してください	➜P45 ➜P94
	原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、“ゲンコウ　カクニン”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”という表示が交互に出た	• 原稿を取り除き、もう一度やり直してください • 原稿送り用ローラを清掃してください	➜P45 ➜P94
	原稿が送られず、“アイテサキ　ムオウトウ”と表示が出た	• 相手の電話番号を確認してください • 相手の方が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけ直してください • 相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください	ー
	原稿が送られず、“アイテサキ　ハナシチュウ”と表示が出た	• 相手先がお話し中です。しばらくしてから、かけ直してください • 回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください	ー
	何回送信しても“サイハッコ　マチ”になる	• 相手先がお話し中です • 電話がかけられるかを確認してください • 手動送信してみてください（手動送信とは、電話をかけてお話しをして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）	➜P47 ➜P31 ➜P47
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	• 相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました相手先に確認して、もう一度送り直してください	ー
	送信に時間がかかる	• 画質モードの設定が「コマカイ」、「シャシン」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります • 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります • 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります	➜P46
	海外への送信ができない	• 海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動送信するのが確実です（手動送信とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です） • 電話帳ダイヤルを使う場合は、国際電話番号のあとにポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください • 海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります	➜P47 ➜P32 ➜P70
	送ったファクスが縮小された	• 相手の機種（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4に縮小して送信されます • A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます	➜P47
	送受信でサイズが違う	• ファクスの場合は、送受信で少しの差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります • 上記の「送ったファクスが縮小された」も参照してください	ー
	送信した原稿が相手先で白紙になる	• 原稿を裏表逆にセットしませんでしたか？　送る面を「**裏向き**」にセットし、もう一度送り直してください • 相手の記録紙の向きが裏表、逆になっている場合があります。相手先に確認して、もう一度送り直してください	➜P45
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録が薄い	• 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください	➜P46
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	• 本体でコピーを取ってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください • 通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください • 画質モードを変えて送ってみてください	➜P51 ➜P94 ➜P46
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	• 本体でコピーを取ってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。相手先に確認しもう一度送り直してください	➜P51 ➜P94

	こんなときには	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	“ シバラク　オマチクダサイ ” と表示が出たままになった	• 電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください	—
	“ カバー　カクニン ” と表示が出た	• カバーが開いています	—
	“ リアカバー　カクニン ” と表示が出た	• リアカバーが開いています	—
	“ キロク　カバー　カクニン ” と表示が出た	• 記録カバーが開いています	➔P22
	“ キロクシガ　ツマリマシタ ” と表示が出た	• 記録紙の給紙不良です • 記録紙がつまっています • 普通紙モードで感熱紙を使用していませんか？	➔P95 ➔P87 ➔P71
	“ フツウシヲ　イレテクダサイ ”“ カンネツシヲ　イレテクダサイ ” と表示が出た	• 記録紙がなくなっています	➔P23
	着信ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	• 受信したファクスをプリント中は受信できません • コピー中や登録中のときは、［ストップ］ボタンを押して、コピーや登録をやめてください • 相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません • 着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手先が自動送信のファクスのときは受信できません • 電話モードに設定しているときは自動受信できません • 留守番電話などで、録音された用件によってメモリがいっぱいのときは、着信ベルが鳴り続けて受信できません	➔P68 ➔P69 ➔P62
	受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	• 相手のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してもらってください	—
	受信中に「ピー」という音が鳴り続けた	• [ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります • 記録紙の給紙不良です • 記録紙がつまったか、なくなっています • インクリボンがなくなっています	➔P95 ➔P87 ➔P90
	受信した記録紙が白紙になる	• 感熱紙の印字面を**裏に向けて**セットしましたか？ • 相手先が原稿を裏表逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください • 相手先から後端部分が白い（文字が書かれていない）原稿が送られてきた場合に、記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります • 感熱紙モードで普通紙をセットしていませんか？	➔P23 ➔P71
	受信した画像が鮮明でない	• お話し中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください • 本体でコピーを取ってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください	➔P39 ➔P51
	受信した記録紙に黒いすじが入る	• 本体でコピーを取ってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください • コピーに黒いすじが入るときは、局番なしの113番にご連絡ください	➔P51 ➔P112
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	• 当社推奨品の記録紙を使用してください • セットできる枚数は30枚までです • 記録紙は使い切ってから入れてください • しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください • 記録紙給紙用ローラ、記録紙送り用ローラを清掃してください • 記録紙カセットの奥の斜面を水ぶきしてください	➔P19、103 ➔P23 ➔P95 ➔P94
	プリントした記録紙が汚れるとき	• 記録ローラを清掃してください	➔P95
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	• 同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源をOFFにしてみてください • メモリがいっぱいのときは受信できません	➔P86 ➔P62
	メモリオーバによる通信異常が多発する	• 本商品は、ファクス受信中にインクリボンや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバとなり受信できません。このようなことが頻繁に起こるときは、以下の操作を行ってください • 不要な用件を消去する • メモリ受信「しない」に設定する	— ➔P62 ➔P71
	海外からの受信ができない	• 国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります • ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます • コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください	—

	こんなときには	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておくほうがよいのか？	• 海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません	―
	ノータッチ受信ができない	•「ノータッチ受信をする」に設定されていますか？ • ハンドセットから「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、ハンドセットを置いてください。メッセージが流れる前にハンドセットを置くと回線が切断されます • 周囲に騒音などがありませんか？ • 相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ノータッチ受信はできません。［スタート／コピー］ボタンを押してください • 受信したファクスをプリント中は受信できません	➔P68
	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	• 相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください	―
	記録紙がなくなったときはどうなるのか？	• 記録紙がなくなったページからメモリ代行受信します（メモリ受信をするとき）	➔P50 ➔P71
	ファクス専用モードにならない	• 電話モードに設定されているとファクス専用モードの設定は無効になります。電話モードの設定を解除してください（着信ベル回数の設定を1～19回にしてください）	➔P68
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	• ➔ P50をご覧ください	―
	コードレス電話機で出たときのファクスの受信方法は？	• ➔ P50をご覧ください	―
留守番電話	留守設定ができない	• 用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください	➔P62
	留守設定しているのに留守番電話が応答しない	•「電話モード」でお使いの場合、「トールセイバしない」に設定すると、留守番電話が応答しません。「電話モード」を解除するか「トールセイバする」に設定してください	➔P67 ➔P69
	留守設定にしているが、着信ベル回数を常に一定にしたい	•「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります	➔P67 ➔P68
	留守番電話の内容が聞こえない（用件件数は表示されている）	• モニタスピーカ音量が「切」になっています	➔P61
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	• 着信ベル回数を9回以下に設定してください	➔P68
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	• 記録紙がなくなっていませんか？	➔P23
	外出先から操作（リモート操作）できない	• 留守設定にしてありますか？ • パスワードは登録しましたか？ • プッシュ信号の送信ができる電話機で操作していますか？ •「リモート操作する」に設定してありますか？	➔P60 ➔P63 ➔P63 ➔P63
	用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	• 転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています	➔P65
ハンドスキャナ	“ハンドスキャナ　カクニン”と表示が出た	• ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください	➔P53
	ハンドスキャナでコピーできない	• 普通に原稿をセットしてコピーできるか確認してください • 凹凸のある原稿は読み取らないでください	➔P51 ➔P52
	読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした	• 動かしかたが速すぎます。ゆっくり動かしてください	➔P54
	記録位置がずれる	• 原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください	➔P52
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	• 拡大／縮小の設定を確認してください	➔P59
	「ハンドスキャナノ　コードヲ　セツゾク　シテクダサイ」と表示が出た	• ハンドスキャナ用コードを接続してからハンドスキャナをセットしてください	➔P53
	コードレスで使用時、電池ランプが点灯しない	• 電池が正しく入っていますか？　電池が正しく入っているか確認してください • 電池の容量がありません。ハンドスキャナ用コードを接続してください	➔P28 ➔P92 ➔P53
	コードレス電話機を使用時にメモリランプが点滅している	• ハンドスキャナのメモリがいっぱいです。メモリに記憶されている原稿を消去してください	➔P58

	こんなときには	内　容	参照ページ
いろいろなサービス	ポケットベル呼び出しができない	• 用件転送がセットされていますか？	➜P64
	キャッチホンを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	• ➜ P39をご覧ください	―
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	• 使用できません	➜P83
	ダイヤルインを利用しているが、用件転送はできるか？	• 用件転送はできます	―
	当社のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	• 無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らす着信ベル回数より多い回数に設定してください（本商品が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません）	➜P68、69
	当社のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、ファクスの自動受信はできるか？	• ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません	―
	ナンバー･ディスプレイに加入し、使用しているが、コードレス電話機にかかってきた電話がコードレス電話機の着信履歴として記憶されない	• コードレス電話機が本体の電波の届かない場所に置かれていませんか？　コードレス電話機を本体に近づけてみてください	➜P27
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	• 接続できません	―
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	• ➜ P86をご覧ください	―
	パソコンと接続しているが、ときどきファクスが動作し、パソコン通信ができない	• パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください • パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください	―
その他	“ゲンコウ　カクニン”と表示されるが、原稿が取り出せない	• カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください	➜P89
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	• 数字は文字の入力のしかたに従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません	➜ P113
	NTTFAX P-261DCLのどのボタンを押してもなにも反応しない	• 本体での場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください • コードレス電話機の場合は、電池パックのプラグをいったん抜いて、再度取り付けてください	➜P24 ➜P25

本体のメモリランプが点灯したとき

本体のメモリランプが点灯しているときは、次のそれぞれの場合の処置に従い、メモリ内の文書をプリントしてください。

「フツウシヲ　イレテクダ゛サイ」「カンネツシヲ　イレテクダ゛サイ」と表示されているとき

• 記録紙がなくなっています。記録紙をセットしてください。（ ➜P23）

「キロクシガ゛　ツマリマシタ」と表示されているとき

• 記録紙がつまっています。つまった部分を取り除いてください。（ ➜ P87）

「インク　リボ゛ン　カクニン」と表示されているとき

• インクリボンがなくなっています。インクリボンを交換してください。（ ➜ P90）

メモリの容量について

メモリには、「フツウ」モードで送られてきた、A4版に約700字の文字が書かれた原稿で、最大約20枚記憶することができます。ただし、受信文書を記憶するメモリは、留守番電話の用件を録音するメモリと同じものなので、留守番電話の用件がたくさん入っていると記憶できる文章が少なくなってしまいます。不要な用件は、こまめに消去するようにしてください。

消耗品・別売品の購入について

記録紙

ファクシミリ用P形A4記録紙（1）
A4サイズ（100枚1組）

記録紙は、記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。

インクリボン

ファクシミリ用P形A4インクリボン（2）

電池パック（コードレス電話機用）

（電池パック－064）

電池パック（ハンドスキャナ用・2個セット）

（電池パック－067）

●NTT-ME/DOパーツサービスセンタ（☎ 0120-86-8289）またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

コードレス電話機

（ディジタルコードレス電話機「N2」）

●コードレス電話機は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

感熱カット紙

FUJIFILM　Economyリボン不要のワープロ用紙
EC　A4 x100 C

●感熱カット紙は市販品であり、当社およびNTT-ME/DOパーツサービスセンタでは扱っておりません。

コードレス電話機の増設

別売のコードレス電話機を増設できます。

- 増設できるコードレス電話機：
  ディジタルコードレス電話機「N2」
  「N2」の他にPHS対応のディジタルコードレス電話機が増設できます。
  増設用コードレス電話機については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 増設できる台数：
  最大3台（本体に付属のコードレス電話機を合わせて4台）までです。
  内線番号3～5（➔ P40）になります（付属のコードレス電話機が内線番号2です）。
- 識別番号の登録：
  ご使用前に識別番号（IDコード）の登録が必要です。
  登録には、増設するコードレス電話機とファクス本体が必要です。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- コードレス電話機を増設すると：
  本体からコードレス電話機を指定して、内線電話ができます。
  コードレス電話機どうしで内線電話ができます。
  コードレス電話機からコードレス電話機へ外線電話を転送できます。

仕様

ファクス

原稿サイズ	最大：257（幅）×1 000（長さ） mm 最小：128（幅）× 128（長さ） mm
記録紙サイズ	普通紙、感熱紙 • A4サイズ（210 ×297 mm） • 紙質55～70 kg（厚さ0.08～0.1 mm）
記憶容量*1	A4（700文字程度）の原稿で約20枚（最大10文書）
有効読取幅	B4のとき：250 mm　A4のとき：208 mm
有効記録幅	205 mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査、または、ハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査　8 ドット /mm 副走査　細かい：15.4 line/mm 小さい：　7.7 line/mm 普　通：　3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	14 400/12 000/9 600/7 200/ 4 800/2 400 bit/s
電送時間*2	G3：約15秒　ECM：約6秒
記録方式	• 熱転写記録方式 • 感熱記録方式
適用回線	• 一般電話回線 • NCC回線
自動受信	有（ファクス/電話自動切替機能内蔵）
電　源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	待機時：約 5.5 W 送信時：約 20 W（標準的原稿） 受信時：約 22 W（標準的原稿） コピー時：約 33 W（標準的原稿） 最大時：約 105 W
直流抵抗	97 Ω（20 mA）
外形寸法	約350(横幅)×330(奥行き)×158(高さ）mm (突起部を除く)
質　量	約4.8 kg（記録紙、インクリボンを除く）
使用環境	温度：　5～35 ℃ 湿度：35～85 %
推奨環境	温度：15～30 ℃ 湿度：35～70 %
ハンドスキャナ メモリ容量	0.5 MBフラッシュメモリ A4サイズに約700文字の原稿 （文字モード時）：約12枚 A4サイズに写真原稿（写真モード時）：約1枚
ハンドスキャナ 充電時間	約6時間
ハンドスキャナ 使用時間	約1時間（フル充電時）

コードレス電話

〈コードレス電話機〉

使用可能距離	見通し距離約100 m
電源 （コードレス電話機）	DC3.6 V （ニカド電池使用）
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約300時間 連続通話時：約 3.5時間
外形寸法	48(横幅)×52(奥行き)×194(高さ）mm (突起部を除く)
質　量	約210 g（電池パックを含む）

〈充電器〉

外形寸法	66(横幅)×235(奥行き)×72(高さ）mm
質　量	約260 g
消費電力	4 VA（充電時）
電　源	AC 100 ± 10 V 50/60 Hz

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき約3分
合計録音時間	約15分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2　内蔵：1

*1：記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。

*2：電送時間は、A4判約700字の原稿を標準的画質（8×3.85 line/mm）で高速モード（14 400 bit/s）で送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手の機種、回線の状態により変化します。

• 本商品の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

操作早わかりガイド

本体で

：ハンドセットを取る　：ハンドセットを戻す
：ボタンを押す

電話

電話をかける	➡ 相手の電話番号 ➡ 通話 ➡ オンフック ➡ 相手の電話番号 ➡ ➡ 通話 ➡
再ダイヤルする	➡ 再送/ポーズ ➡ 通話 ➡
電話を受ける	着信音 ➡ ➡ 通話 ➡
保留する	通話中 ➡ 保留 ➡
通話に戻る	保留中 ➡ ➡ 通話
コードレス電話機で話す	保留中 ➡ または 通話 ➡ コードレス電話機で通話
転送 コードレス電話機へ	外線と通話中 ➡ 内線 ➡ 内線番号* ➡ コードレス電話機と通話 ➡ ※コードレス電話機が出ないときは［内線］ボタンを押します。
〈コードレス電話機〉	本体からの呼出 ➡ または 通話 ➡ 本体と通話 ➡ 外線と通話
内線電話	➡ 内線 ➡ 内線番号* ➡ コードレス電話機と通話 ➡
〈コードレス電話機〉	本体からの呼出 ➡ または 通話 ➡ 本体と通話 ➡ または 切
電話帳ダイヤルでかける	電話帳 相手を選ぶ ➡ ➡ 通話
通話録音	外線と通話中 ➡ 留守 ➡ 録音 ➡ ストップ
録音内容を聞く	▶再生 ➡ 再生 ➡ ストップ ※ 外線とお話し中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守番電話の用件を相手の方と一緒に聞けます。
音量調整 ベル音量	待機中 ➡ 音量 切 → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6
音量調整 受話音量	通話中 ➡ 音量 小 → 標準 → 大
音量調整 用件再生音量	用件再生中 ➡ 音量 切 → 小 → 標準 → 大 ※ モニタスピーカ音量も同じ音量に調整されます。
プッシュ信号を送る	電話をかける ➡ PB ＊ 以後のダイヤルはプッシュ信号で送出される

*内線番号 •付属のコードレス電話機…内線2　•増設コードレス電話機…1台目：内線3、2台目：内線4、3台目：内線5
•すべてのコードレス電話機を一斉に呼ぶとき…＊

電話

キャッチホンの利用	外線通話中 ➡「プルルー・プップッ」➡ キャッチ/着信履歴 ➡ あとの人と通話 ➡ キャッチ/着信履歴 ➡ 最初の人と通話 ➡（繰り返し）

ファクス／コピー

画質モード	画質 フツウ → チイサイ → コマカイ → シャシン
自動送信	原稿セット ➡ 画質 画質モードを選ぶ ➡ 相手の電話番号 ➡ スタート/コピー
電話帳で送信	原稿セット ➡ 画質 画質モードを選ぶ ➡ 電話帳 相手を選ぶ ➡ スタート/コピー
手動送信	原稿セット ➡ ➡ 相手の電話番号 ➡ 通話 ➡ 相手が受信操作 ➡ スタート/コピー ➡
メモリ送信	原稿セット ➡ 相手の電話番号 ➡ メモリ送信
手動受信	➡「ポー・ポー…」➡ スタート/コピー ➡ 通話中 ➡ 相手が送信操作 ➡ スタート/コピー ➡
コピー	原稿セット ➡ スタート/コピー ➡（複数部コピーするときは部数を指定）➡ スタート/コピー

ハンドスキャナ

コードを付けたままでコピーする	ハンドスキャナを外す ➡ 画質選択 ➡ 原稿の上に置く ➡ スタート／ストップ または スタート/コピー ➡ 原稿を読み取る ➡ スタート／ストップ または ストップ ➡ ハンドスキャナを戻す
コードレスでコピーする	ハンドスキャナを外す ➡ コードを外す ➡ 画質選択 ➡ 原稿の上に置く ➡ スタート／ストップ ➡ 原稿を読み取る ➡ スタート／ストップ ➡ コードをつなぐ ➡ ハンドスキャナを戻す
コードを付けたままで送信する	ハンドスキャナを外す ➡ 画質選択 ➡ 相手の電話番号 ➡ 原稿の上に置く ➡ スタート/コピー ➡ 原稿を読み取る ➡ ストップ ➡ プリント内容を確認する ➡ 1 ア ➡ ハンドスキャナを戻す
メモリに記憶されている原稿を送信する	原稿をコピー ➡ メニュー ➡ 8 ヤ TUV ➡ 電話帳登録/セット ➡ 1 ア ／ 2 カ ABC ／ 3 サ DEF（➡ページ指定 ➡ 電話帳登録/セット）➡ 2 カ ABC ➡ 相手の電話番号 ➡ スタート/コピー
メモリに記憶されている原稿をプリントする	メニュー ➡ 8 ヤ TUV ➡ 電話帳登録/セット ➡ 1 ア ／ 2 カ ABC ／ 3 サ DEF（➡ページ指定 ➡ 電話帳登録/セット）➡ 1 ア

ハンドスキャナ

メモリに記憶されている原稿を消去する	画質選択／消去スイッチを「消去」 ▶ スタート／ストップ ▶ （「ピッ」、「ピー」と鳴るまで押し続ける）
〈本体〉	メニュー ▶ 8 ヤ TUV ▶ 電話帳登録/セット ▶ メニュー ▶ 電話帳登録/セット ▶ 電話帳登録/セット

留守番電話

留守のセット／解除	留守	
用件の再生	▶再生 ▶ 再生	※ 聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと［消去］ボタンを押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 ▶ 消去 ▶ ストップ	

コードレス電話機で

（取る）：充電器から取る　（戻す）：充電器に戻す

（○）：ボタンを押す

電話

電話をかける	（取る）または 通話 ▶ 相手の電話番号 ▶ 通話 ▶ （戻す）または 切
再ダイヤルする	（取る）▶ 切 ▶ 再送/ポーズ ▶ 通話 ▶ 通話
電話を受ける	着信音 ▶ （取る）▶ 通話 ▶ （戻す）または 切
保留する	通話中 ▶ 保留（内線 ドアホン）▶ （戻す）または 切
通話に戻る	保留中 ▶ （取る）または 保留（内線 ドアホン）▶ 通話
本体で話す	保留中 ▶ （受話器を取る）▶ 本体で通話
転送　本体へ	外線と通話中 ▶ 保留（内線 ドアホン）▶ 1 ア ▶ 本体と通話 ▶ （戻す）または 切
〈本体〉	コードレス電話機からの呼び出し ▶ （受話器を取る）▶ コードレス電話機と通話 ▶ 外線と通話
他のコードレス電話機へ	外線と通話中 ▶ 保留（内線 ドアホン）▶ 内線番号* ▶ 転送を伝える ▶ （戻す）または 切
〈コードレス電話機〉	コードレス電話機からの呼び出し ▶ （取る）▶ 相手の声を聞く ▶ 外線と通話
内線電話　本体へ	（取る）▶ 切 ▶ 保留（内線 ドアホン）▶ 1 ア ▶ 本体と通話 ▶ （戻す）または 切
〈本体〉	コードレス電話機からの呼び出し ▶ （受話器を取る）▶ コードレス電話機と通話 ▶ （受話器を置く）

電話

内線電話　他のコードレス電話機へ	（取る）▶ 切 ▶ 保留（内線 ドアホン）▶ 内線番号* ▶ 内線電話 ▶ （戻す）または 切
〈コードレス電話機〉	コードレス電話機からの呼び出し ▶ （取る）▶ 内線電話 ▶ （戻す）または 切
電話帳ダイヤルでかける	（取る）▶ 切 ▶ 電話帳 ▶ # または ✳（PB）▶ 相手を選ぶ 通話 ▶ 通話
素早く探してかける	（取る）▶ 切 ▶ 電話帳 ▶ 該当する行のダイヤルボタンを押して、相手を表示させる ▶ 通話 ▶ 通話
音量調整　受話音量	通話中 ▶ 音量 → 標準 → 大 → 特大
音量調整　ベル音量	待ち受け中 ▶ 音量 → 切 → 小 → 中 → 大
音量調整　モニタスピーカ音量	ハンズフリー通話中 ▶ 音量 → 標準 → 大 → 特大
プッシュ信号を送る	電話をかける ▶ ✳（PB） 以後のダイヤルはプッシュ信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 ▶「プルルー・プップッ」▶ キャッチ（着信履歴）▶ あとの人と通話 → キャッチ（着信履歴）▶ 最初の人と通話

ファクス

手動受信	（取る）▶「ポー・ポー」▶ 保留（内線 ドアホン）▶ 6 ハ MNO ▶ （戻す）
	通話中 ▶ 相手が送信操作 ▶ 保留（内線 ドアホン）▶ 6 ハ MNO ▶ （戻す）

リモート操作コード表

本商品に電話をかける ▶ # パスワード # ▶ 操作コード（下記）

└──── プッシュ信号 ────┘

・巻き戻し………	# 1 #	・留守設定………	# 7 #
・用件再生………	# 2 #	・留守設定解除…	# 9 #
・早送り…………	# 3 #	・用件消去………	# 8 #
・用件転送設定…	# 6 1 #	・用件転送解除…	# 6 2 #

*内線番号　・付属のコードレス電話機…内線2　・増設コードレス電話機…1台目：内線3、2台目：内線4、3台目：内線5
・本体と他のコードレス電話機を一斉に呼ぶとき…✳

機能設定／登録早見表

〈手順〉 メインメニュー選択 　機能メニュー選択 　設定／登録

メニュー ➡ ダイヤルボタンまたは［メニュー］ボタンまたは ➡ 電話帳登録/セット ➡ メニュー ➡ 操作

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録内容（　　はお買い求め時の状態です）	参照ページ
1 リストプリント	デンワリストプリント	本体の電話番号リストをプリントする	➡P72
	チャクシンリレキプリント	本体に記憶された着信履歴をプリントする	➡P72
	システムリストプリント	各種設定内容をプリントする	➡P73
	ツウシンカンリレポート	通信管理レポートをプリントする	➡P73
2 ジュシンセッテイ	ムメイドウチャクシン	○（する）、×（しない）	➡P69
	オンセイメッセージ	○（流す）、×（流さない）	➡P70
	チャクシンベル	1～19回、＊＊（無制限）	➡P68
	ヨビダシベル	1～19回、10回	➡P69
	ファクスセンヨウ	○（する）、×（しない）	➡P69
3 セッテイモード	ハッシンモトキロク	○（させる）、×（させない）	➡P67
	カイガイツウシン	○（する）、×（しない）	➡P70
	ノータッチジュシン	○（する）、×（しない）	➡P68
	カイセンシュベツ	PB、DP	➡P29
	フタツレポート	○（する）、×（しない）	➡P70
	ボイスコール	○（する）、×（しない）	➡P71
	エコーサプレス	○（する）、×（しない）	➡P91
4 トウロクモード	デンワバンゴウトウロク	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	➡P66
	ハッシンモトトウロク	自分の名前（最大40文字）を登録する	➡P67
	リモートソウサ	○（する）、×（しない）、リモートパスワード（4桁）の登録	➡P63
	テンソウサキトウロク	○（する）、×（しない）、用件転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1～10回）、10回	➡P64
	ダイヤルイン	○（する）、×（しない）、FAX専用（○（する）、×（しない））、ファクスと本体の番号（4桁）の登録、共通鳴動（○（する）、×（しない））、コードレス電話機の番号（4桁）の登録	➡P85
	ジコクセット	年月日と時刻の登録	➡P68
5 ルスデンキノウ	ゼンヨウケンショウキョ	すべての用件を消去する	➡P62
	オウトウメッセージロクオン	応答メッセージの録音（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	➡P62
	オウトウメッセージショウキョ	応答メッセージの消去（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	➡P63
	トールセイバ	○（する）、×（しない）	➡P67
6 ナンバーディスプレイセット	ナンバーディスプレイ	○（する）、×（しない）	➡P77
	以下はナンバーディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
	チャクシンサキ　シテイ	すべて、内線番号	➡P78
	チャクシンオン　セッテイ	○（する）、×（しない）	➡P78
	バンゴウリクエスト	○（する）、×（しない）	➡P78
	チャクシンキョヒ	○（する）、×（しない）	➡P79
	オウトウメッセージセンタク	○（する）、×（しない）	➡P77
	キャッチホン	○（する）、×（しない）	➡P82
	チャクシンキョヒリストヘンシュウ	着信拒否リストの登録／確認／消去	➡P79
7 プリントセッテイ	テイケイジュシン	○（する）、×（しない）	➡P70
	メモリジュシン	○（する）、×（しない）	➡P71
8 ハンドスキャナキノウ	ハンドスキャナページシテイ	コードレスハンドスキャナのメモリに記憶された原稿を指定する	➡P57
	ハンドスキャナメモリショウキョ	コードレスハンドスキャナのメモリに記憶された原稿を消去する	➡P58
0 ファクスジョウホウサービス		ファクス情報サービスの利用（ポーリング方式）	➡P50
ハンドスキャナを外したとき	ヨミトリキロクハバ	B4→A4、A4→A4、B5→A4、A5→A4	➡P59
	メロディハンドスキャナ	○（流す）、×（流さない）	➡P59

索　引

数　字

アルファベット

ア　行

カ　行

サ　行

タ 行

ナ　行

ハ　行

マ　行

ヤ　行

ラ　行

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：　0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

文字の入力のしかた

発信元（自分の名前）を登録するときや、電話帳ダイヤルに相手の名前を登録するときなどの文字の入力のしかたを説明します。カタカナ、数字、アルファベット、記号が入力できます。

文字の選びかた

文字は、ダイヤルボタンで選びます。どのボタンを何回押すと、どの文字が表示されるのかは、下記の表をご覧ください。

ダイヤルボタン	押した回数と表示する文字															（回）
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
[1]	ア	イ	ウ	エ	オ	1	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ					
[2]	カ	キ	ク	ケ	コ	2	A	B	C							
[3]	サ	シ	ス	セ	ソ	3	D	E	F							
[4]	タ	チ	ツ	テ	ト	4	G	H	I	ッ						
[5]	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5	J	K	L							
[6]	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6	M	N	O							
[7]	マ	ミ	ム	メ	モ	7	P	Q	R	S						
[8]	ヤ	ユ	ヨ	8	T	U	V	ャ	ュ	ョ						
[9]	ラ	リ	ル	レ	ロ	9	W	X	Y	Z						
[0]	ワ	ヲ	ン	0	゛	゜	ー	.	空白	(	)	・	’	＊	#	&

- ダイヤルボタンを押すごとに、上の表に示す順に文字を表示します。例えば、［1］ボタンを押すごとに、次のような順で文字を表示します。

ア → イ → ウ → エ → オ → 1 → ァ → ィ → ゥ → ェ → ォ（→ アに戻る）

- スペース（空白）を入れるときは、［0］ボタンを9回押します。

文字の入力のしかた

〈例〉「スズ゛キ」と入力する場合

1 ［3］ボタンを3回押します。

ｽ

「ス」を表示します。

2 ［>］ボタン（または［#］ボタン）を押して、［3］ボタンを3回押します。

ｽ_

▼

ｽｽ

「ス」を表示します。
同じダイヤルボタンを押して次の文字を表示させる場合は、［>］ボタン（または［#］ボタン）を押してカーソルを右へ移動させてから、ダイヤルボタンを押してください。
コードレス電話機のときは［#／▶］ボタンを押します。

3 ［0］ボタンを5回押します。

ｽｽﾞ_

「゛」を表示します。

4 ［2］ボタンを2回押します。

ｽｽﾞｷ

「キ」を表示します。

5 ［セット］ボタンを押します。

ｶﾝﾘｮｳ

「スズキ」が入力されます。
コードレス電話機のときは［登録］ボタンを押します。

文字を間違えたときは

［<］ボタン、［>］ボタン（または［#］ボタン）で間違えたところにカーソルを移動して訂正します（コードレス電話機のときは［⁎／◀］ボタン、［#／▶］ボタンでカーソルを移動します）。
文字を削除したいときは、スペース（空白）を入力します。

メ　　モ

メ　モ

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：☎ 0120–109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

NTT

本2147-2(2000.10)
P-261DCLトリセツ
ND-022643(J)　第2版